

橋本道路垂井高架橋 供用後モニタリング
(2007. 8. 1～2012. 5. 31)

委 員 会 資 料

2012年9月19日

目次

モニタリング概要 -----	1	2. 外観目視調査結果	-----	14
1) モニタリングの目的 -----	1	2-1. 支承 -----	14	
2) 計測器配置図 -----	2	2-2. 剥落防止シートの状態 -----	14	
3) ひび割れ点検箇所図 -----	3			
4) システム構成図 -----	4			
5) 閾値の設定 -----	5			
計測結果および点検結果 -----	7	計測管理結果 -----	15	
I 計測管理結果 -----	7	計測器配置イメージ図 -----	16	
1. 閾値設定項目 -----	7	①桁たわみ計測結果 -----	17	
1) 桁たわみ（水管式沈下計） -----	7	②橋脚付け根部ウェブ変形計測結果 -----	19	
2) 橋脚付け根部ウェブ変形（光ファイバー） -----	7	③支承の変位計測結果 -----	21	
2. 参考計測項目 -----	8	④ひび割れ幅計測結果 -----	23	
1) 支承の変位（変位計） -----	8	⑤上下床版平均ひずみ計測結果 -----	25	
2) ひび割れ幅（亀裂変位計） -----	8	⑥外ケーブル張力計測結果 -----	27	
3) 上下床版平均ひずみ（光ファイバー） -----	8	⑦桁内外の温度計測結果 -----	29	
4) 外ケーブル張力（ロードセル） -----	8	計測データ分析結果 -----	31	
5) 桁内外の温度（熱電対） -----	8	温度－桁たわみ相関関係図 -----	32	
		温度－桁たわみ分布図（履歴） -----	34	
II 定期点検結果（供用後4年目） -----	9	定期点検結果 -----	36	
1. 主桁内面目視調査 -----	9	ひび割れ分析結果 -----	37	
1-1. 点検要領 -----	9	ひび割れ点検結果 -----	40	
1-2. 点検結果とりまとめ要領 -----	9	①A1～P1 ひび割れ点検結果 -----	41	
1-3. ひび割れ分析 -----	10	②P1～P2 ひび割れ点検結果 -----	45	
1-3-1. 径間ごとの比較 -----	10	③P2～P3 ひび割れ点検結果 -----	50	
1-3-2. 部位ごとの比較 -----	10	④P3～P4 ひび割れ点検結果 -----	55	
1-3-3. ひび割れ幅ごとの分類 -----	11	⑤P4～P5 ひび割れ点検結果 -----	60	
1-3-4. 総括 -----	13	⑥P5～P6 ひび割れ点検結果 -----	65	
1-3-5. 上床版下面の変状 -----	14	⑦P6～A2 ひび割れ点検結果 -----	69	
		沓座点検結果（写真） -----	75	
		外観点検結果（写真） -----	77	

モニタリング概要

1) モニタリングの目的

モニタリングは、下記に示す目的のために実施し、変状、変位、損傷状況の把握を行うことである。

- ①対策効果の持続性の確認
- ②供用後における想定外の事象に対する備え
- ③周辺住民に対する安全情報の提供

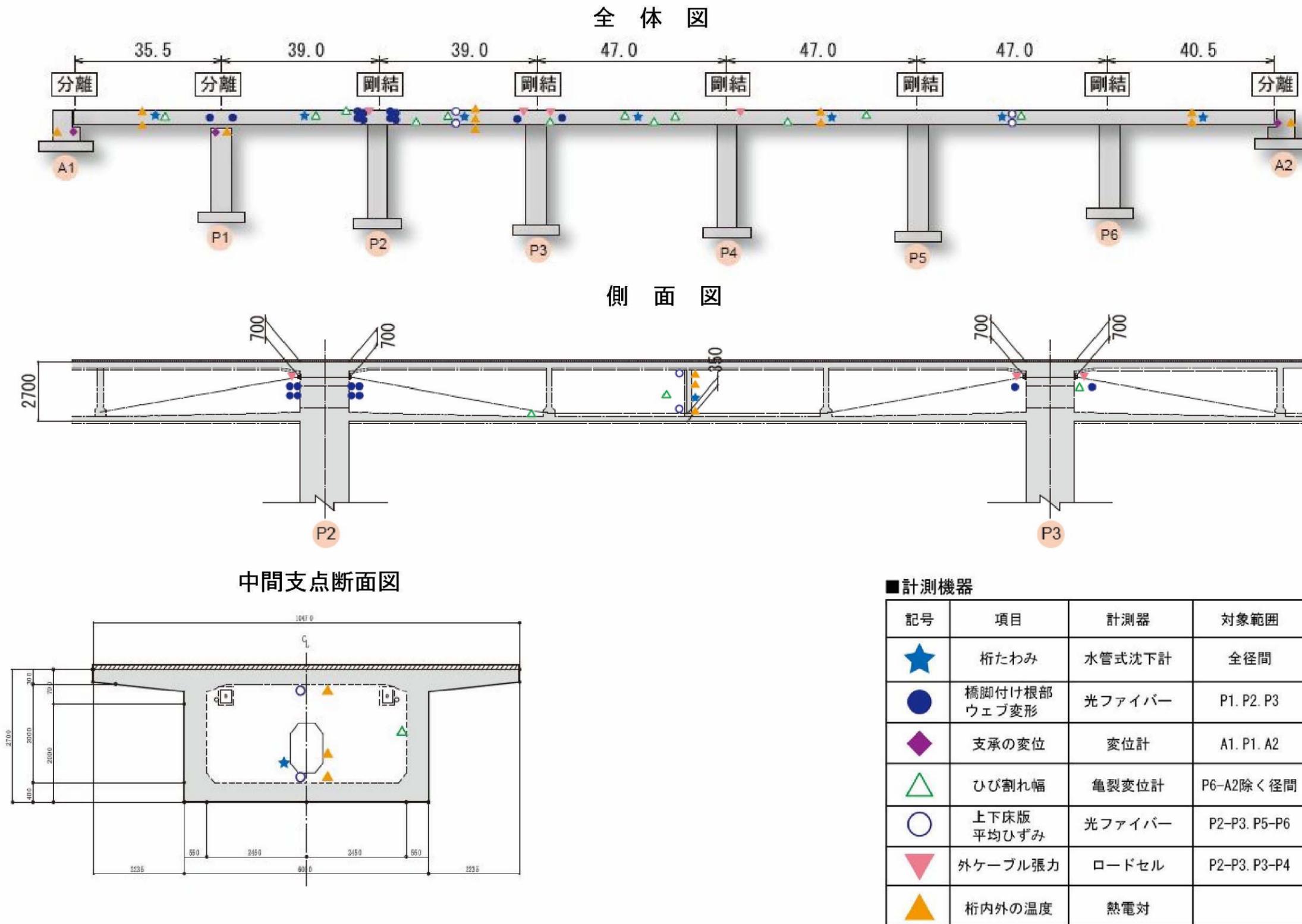
表-1 モニタリング項目一覧

種類	測定部位	主な目的	方法	頻度
常時監視	桁たわみ	桁のたわみの変化により変位を確認	水管式沈下計（7点）	常時 1時間毎 赤枠は当初から閾値を設定し監視する項目
	橋脚付け根部ウェブ変形	P2橋脚ウェブ付近の斜めひびわれの動きを観察し、変形の有無を確認	光ファイバー（12点）	
	支承の変位	支承の変位量により状態を確認	変位計（9点）	
	ひび割れ幅	新たなひびわれ発生の把握、既存ひびわれの進展を確認	亀裂変位計（12点）※1)	
	上下床版平均ひずみ	上下床版のひずみの動きを確認	光ファイバー（上下各2点）※1)	
	外ケーブル張力	張力の変動を測定、予備ケーブル緊張の有無を判断	ロードセル（4点）	
	桁内外の温度	各種計測データへ温度影響をインプット	熱電対（12点）	
定期点検	ひび割れ幅	新たなひびわれ発生の把握、既存ひびわれの進展を確認	目視	1回/年
	上床版下面の変位	上床版下面の変位から床版の状態を確認	目視 デジカメ	
	支承	支承本体・変位制限装置の状態確認	目視	
	剥落防止シートの状態	剥落防止シートの状態を確認	目視	
	鉄筋の腐食	鉄筋の腐食を計測する事により耐久性を確認	自然電位	2年に1回実施、また、臨時点検において異常があった場合にも実施
	橋体の振動特性	橋の振動特性を計測する事により剛性低下の有無を確認	加速度計	
臨時点検 *震度4以上の地震時及び異常時	上床版下面の変位	上床版下面の変位から床版の状態を確認	目視	随時
	支承	支承本体・変位制限装置の状態確認	目視	
	剥落防止シートの状態	剥落防止シートの状態を確認	目視	

※1) 初年度実施した初期（1年程度）の状態確認から引き続いて計測を行っている項目。
これらは、計器が故障または寿命を迎えるなどして欠測となった時点で計測を終了する。

モニタリング項目を計画書第二版と同じものにする。
青枠は供用後5年に実施された点検項目を示す。

2) 計測器配置図



3) ひび割れ点検箇所図

ひび割れ点検（目視）は、P2～P3・P6～A2を代表区間として1回/年、代表区間以外では1回/2年の頻度で点検を行う。

代表区間および代表区間以外の半断面（南側）においては、幅0.1mm以上のひび割れを記録する。また、代表区間以外の残りの半断面（北側）についても、既存の調査結果を元に概略的に調査を行い、幅の大きいひび割れ（0.2mm以上）を記録する。

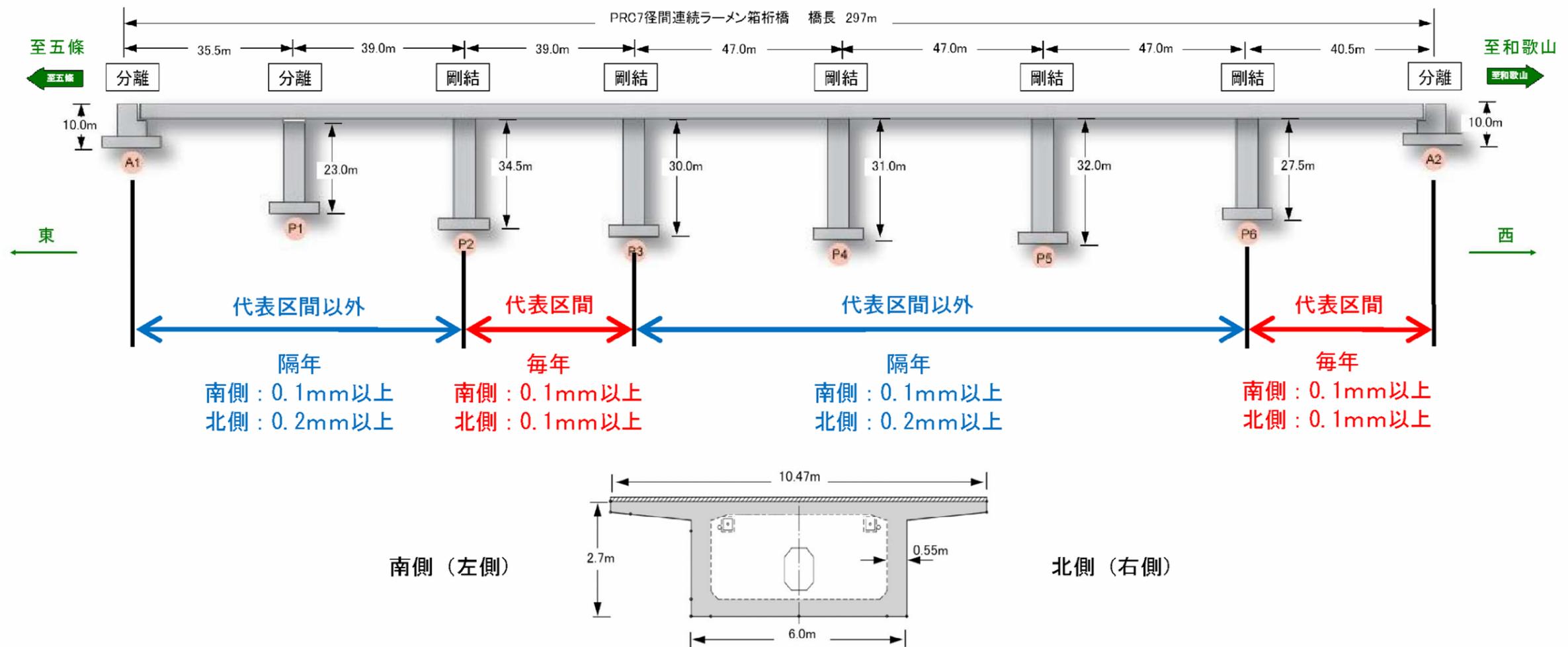


図-2 ひび割れ点検箇所図

4) システム構成図

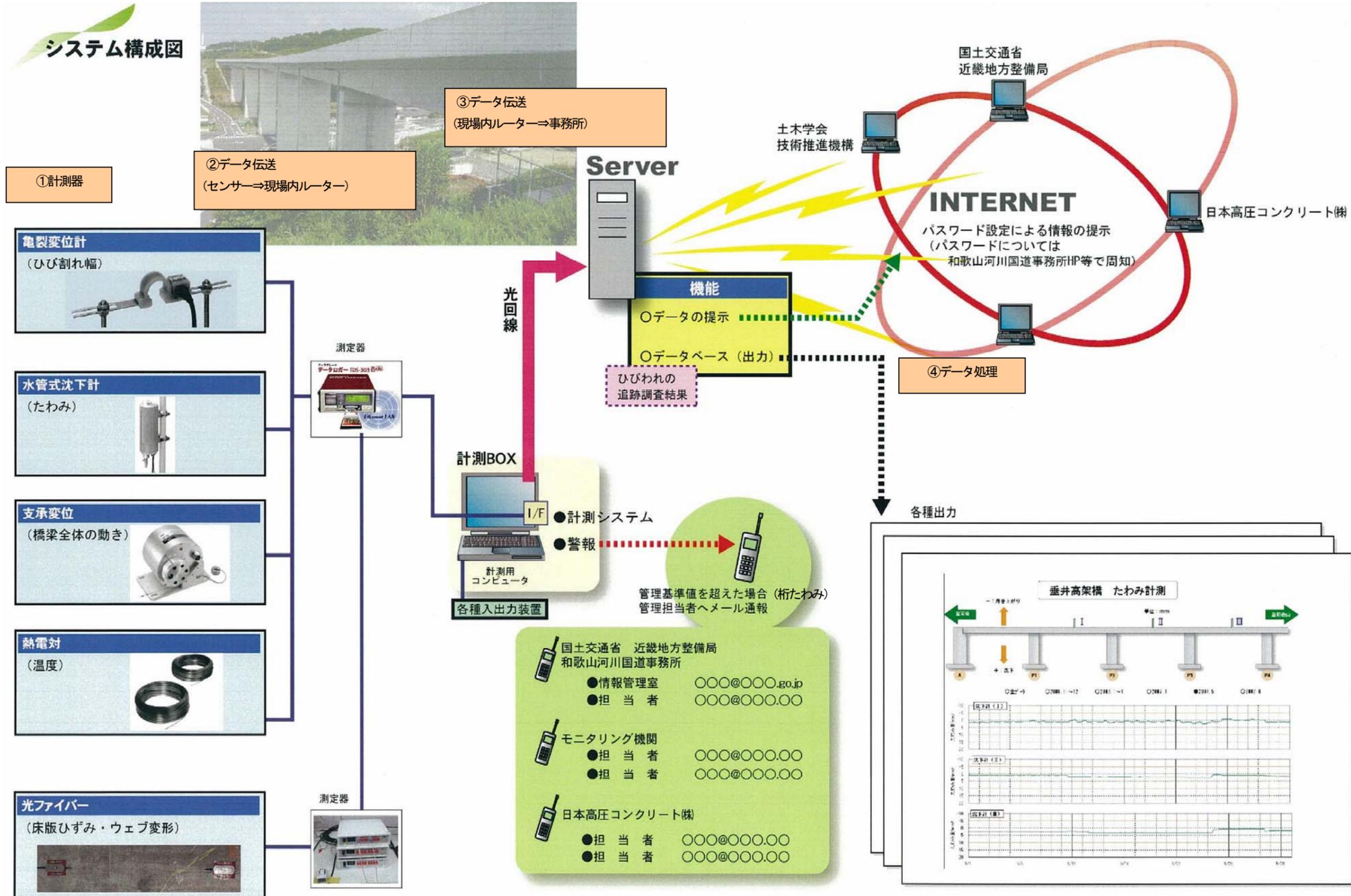
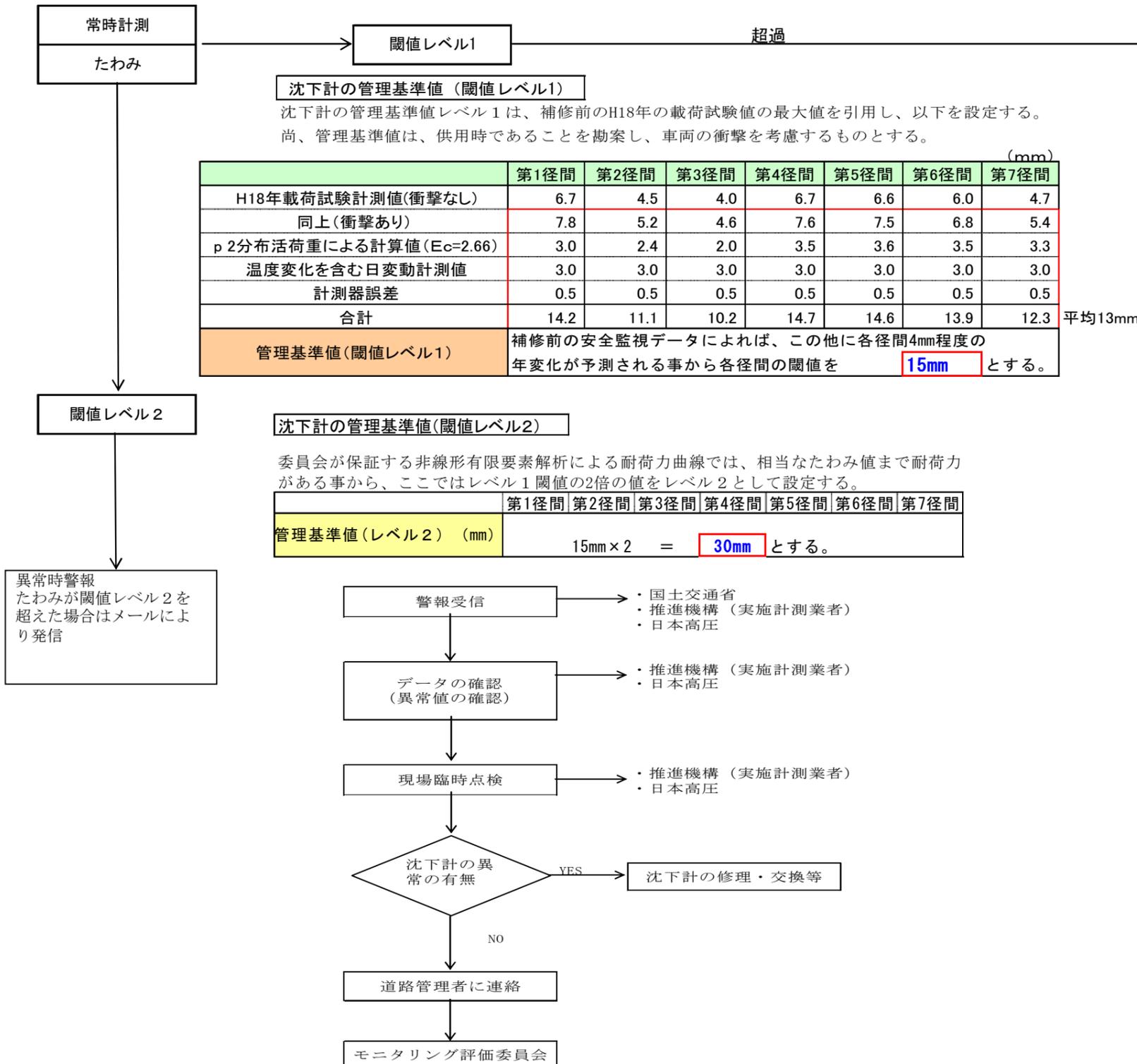


図-3 システム構成図

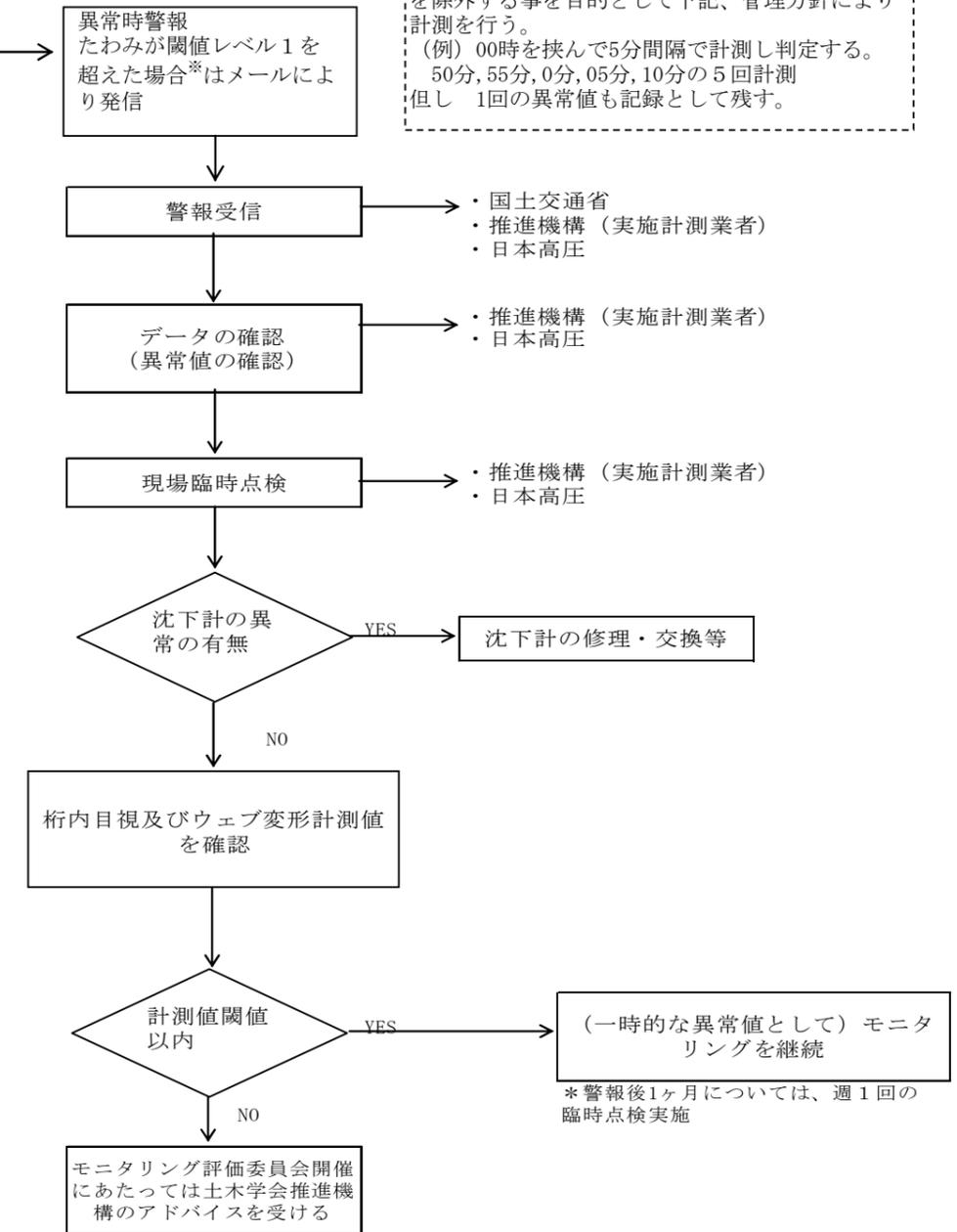
5) 閾値の設定

供用後のモニタリングに際しては、常時計測における「たわみ測定値」を警報発信の指標としてシステムを構築する。

閾値レベル1:	本閾値を超えた場合には、何らかの変状が起きている可能性があるとして、その後の橋の状態を注意深く監視するための値
閾値レベル2:	本閾値を超えた場合には、モニタリング評価委員会を開催し対応を検討する値 レベル1超過により、橋の状態を注意して監視し、変状に対処するため実際には超過する事は無いと考えられる値
*今回設定の閾値については、供用後1年程度の状況を見て修正を判断する。	



※たわみ計測手法
たわみ計測にあたっては、過積載車による影響を除外する事を目的として下記、管理方針により計測を行う。
(例) 00時を挟んで5分間隔で計測し判定する。
50分, 55分, 0分, 05分, 10分の5回計測
但し 1回の異常値も記録として残す。



たわみ以外の項目については、橋脚付け根付近の斜めひび割れが入っていた箇所についてのウェブ変形について以下の様に閾値を設定し、監視
その他の項目についても、計測を行いデータを収集する。

測定機器	初期値	管理基準値				補足	設定根拠	備考
		下限値	下限注意値	上限注意値	上限値			
光ファイバー (ウェブの変形)	舗装完了後に設置しゼロセット	-	-	0.10	0.20		0.2mm以上のひび割れが入る可能性を検知する事を目的とし上限値を設定、その1/2の値を注意値とする。	閾値設定項目
支 承 変 位 計	A1 気温8℃時→0 その時の変形50mm(-50mm)		-30	55		桁が伸びる 方向を+	施工中の計測値及び設計計算書	参考計測項目
	P1 気温8℃時→0 その時の変形15mm(15mm)		-45	30		A2方向を+		
	A2 気温8℃時→0 その時の変形60mm(-60mm)		-30	50		桁が伸びる 方向を+		
亀裂変位計(ハンチ部水 平ひび割れ)	舗装完了後に設置しゼロセット	-	-	0.10	0.20	-	※ 0.2mm以上のひび割れが入る可能性を検知する事を目的とし上限値を設定、その1/2の値を注意値とする。	参考計測項目
光ファイバー(上下床版ひ ずみ)	舗装完了後に設置しゼロセット	-	-	0.10	0.20	-		
ロードセル	舗装完了後の2日間の平均値 を初期値とする。			0.6Pu	0.84Pu		上限値、上限注意値：道示Ⅲ4.2.4、3.4	
		0	660kN	1163kN	1628kN		Pu=1938kN(SEEE F-200PH)	

※H20年度モニタリング評価委員会で、温度変化により0.2mmを超えた測点があったが、戻っているため
閾値の変更はしなかった。

計測管理および点検結果

供用後5年間の計測結果から、全計測項目において、年間の変動傾向に大きな変化は見られなかった。
 一方、目視によるひび割れ点検においては、全径間のひび割れの新規・進展に着目した経過測定を実施した。
 今年度は寒冷化の影響で、調査対象となるひび割れが増えたため、総延長が増加したと考えられる。
 和歌山県内では、震度5強を1回(7/5)、震度4を2回(7/5, 8/10)観測したが、橋本市では供用後5年間で震度3以上の地震は発生しておらず、地震によるデータに不規則な動きなどの異常は認められなかった。
 今後も計測を継続することにより、安全監視とともに残留変形やひび割れの進行などの経年変化を確認する。

I 計測管理結果

以下に項目ごとの計測管理結果を述べる。なお、データの期間は以下とする。

供用後1年目 2007/8/1～2008/7/31
 供用後2年目 2008/8/1～2009/7/31
 供用後3年目 2009/8/1～2010/7/31
 供用後4年目 2010/8/1～2011/7/31
 供用後5年目 2011/8/1～2012/5/31 (※5/31までの10ヶ月分のデータで評価)

1. 閾値設定項目

1) 桁たわみ(水管式沈下計) → 計測結果 P. 17, 18

1～4 径間の水タンクの故障(2011.7)を契機に、全径間の部分装置(ポンプ等)の更新、メンテナンスを行った(2011.9)。ポンプを交換した場合、流量に若干違いがでてくるため、水頭高さが変化することにより、更新後は1～2mm程度の計測値の変動がみられたが、その後、データは安定している。

前回委員会での意見を鑑み、これらの水タンクの故障やメンテナンス等の影響によるデータシフトは、コメントを記載した上で、そのままの値を計測結果とした。

桁たわみは、管理基準値内であった。また、例年と同様、温度と相関があり、変位は主に温度による影響と考えられる。

各年のデータを比較すると、年間0.5mm程度の残留分が認められるが、これらの変化率は急激なものではなく、前年とほぼ同様または減少傾向を示している。

①5年間の全7測点のたわみは-8.6mm～7.8mmであり、閾値レベル1(15mm)内であった。

(シフト期間のデータは除外する)

②水タンク故障前後において、温度との相関関係をもとにたわみを算出すると、補正後のたわみと現状の計測値との差は、1mm～2mm程度であった。

単位：(mm)

	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7
補正による加減値	1.64	2.00	-0.80	0.29	-0.73	-1.02	-0.95

※補正による加減値：計測値に対して、加減する値(+：沈下側、-：浮上り側)
 例) D-2の補正後のたわみは、(計測値+2.0)mm

③5:00のデータにおける温度(T-4)との相関係数は、D-1においてはばらつきが見られるが、D-1以外の年傾向はほぼ同様であった。→ 温度-桁たわみ相関関係図 P. 32, 33

温度-桁たわみ 相関係数

	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7
供用後1年	-0.17	0.94	-0.70	-0.75	-0.83	-0.89	0.99
供用後2年	0.13	0.93	-0.87	-0.74	-0.81	-0.90	0.99
供用後3年	-0.24	0.92	-0.86	-0.79	-0.87	-0.94	0.99
供用後4年	-0.72	0.88	-0.89	-0.80	-0.91	-0.93	1.00
供用後5年	-0.46	0.93	-0.79	-0.77	-0.91	-0.94	1.00

※供用後4年,5年は桁たわみ補正後の値

④供用後1年～5年の温度-桁たわみの分布からは、年間0.5mm程度の変位が認められた。但し、これらの変化率は急激なものではなく、前年とほぼ同様または減少傾向を示している。

今後のモニタリングにおいて、残留変形等の状況を確認する。

→ 温度-桁たわみ分布図(履歴) P. 34, 35

※温度に対するたわみの分析については、前年まで(4年間)との傾向を確認するため、本年度は補正後のたわみを算出し比較を行った。その結果、温度との相関関係や残留変形等の傾向はこれまでとほぼ同様であることが確認できたため、来年度からは、前年の計測値(補正していない値)との比較により分析する。

2) 橋脚付け根部ウェブ変形(光ファイバー) → 計測結果 P. 19, 20

オプトボックス(光-電気変換機)の取替え(2010.10)後、S-1～S-4で温度が上がる夏期にこれまでにあったような上下変動は見られず、他の径間とほぼ同様の傾向を示しており、安定している。

供用後5年のデータの変動傾向は、前年とほぼ同様であった。夏期にかけての気温の上昇により、一部で上限注意値を上回ったが、その後、気温の低下に伴いデータは管理基準値内に戻った。また、温度との相関があり、変位は主に温度による影響と考えられる。

①5年間の全12測点のウェブ変形は-0.780mm～0.152mm(-780 μ ～152 μ)であり、P2(S-10)で一時的に上限注意値(0.10(100 μ))を上回ったが、主に温度による影響と考えられる。

※参考値としてひずみに変換した値を()内に示した。光ファイバーの長さは1m。

②供用後5年間のデータを年ごとに比較すると、S-1～S-4以外は、供用後2年以降ほぼ同様の年変動を繰り返している。S-1～S-4は若干縮み傾向であったが、オプトボックス取替え後は前年とほぼ同様の傾向が見られる。S-3のみ冬期の縮み傾向が小さいが、夏期の伸びの最大値には大きな差は見られず、年間の変動は小さくなっている。

2. 参考計測項目

1) 支承の変位（変位計） → 計測結果 P. 21, 22

支承の橋軸方向の変位は、A1で冬期の温度低下による縮み側の注意値を一時的に下回ったが、その後すぐに管理基準値内に戻った。また、温度と相関があり、変位は主に温度による影響と考えられる。桁直角方向及び桁鉛直方向の変位は小さく、データは安定している。供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

①5年間のA1支承の橋軸方向の変位は、-30.8 mm～44.0mmであり、管理値（-30mm～55mm）内である。

5年間のP1支承の橋軸方向の変位は、-28.6mm～15.4mmであり、管理値（-45mm～30mm）内である。

5年間のA2支承の橋軸方向の変位は、-24.9mm～43.1mmであり、管理値（-30mm～50mm）内である。

②供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

2) ひび割れ幅（亀裂変位計） → 計測結果 P. 23, 24

ひび割れ幅は、冬期にかけての気温の低下により、一部で上限値を上回ったが、その後、気温の上昇に伴いデータは管理基準値内にもどった。また、温度と相関があり、変位は主に温度による影響と考えられる。供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

①5年間の全12測点のひび割れ幅は-0.105mm～0.268mmであり、管理基準値（注意値0.10mm、上限値0.20mm）を上回ったが、主に温度による影響と考えられる。

②供用後5年間のデータは、毎年同様の変動を繰り返しており、残留変位は認められない。

3) 上下床版平均ひずみ（光ファイバー） → 計測結果 P. 25, 26

上下床版の平均ひずみは、夏期にかけての気温の上昇により、一部で上限値を上回ったが、その後、気温の低下に伴いデータは管理基準値内にもどった。また、温度との相関があり、変位は主に温度による影響と考えられる。供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

①5年間の全4測点の床版のひずみは、-732.7 μ ～112.6 μ であり、一部で管理基準値（注意値50 μ 、上限値100 μ ）を上回った。

※管理値は変位量として設定してあるため、ひずみに変換した。光ファイバーの長さは2m。

②供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

4) 外ケーブルの張力（ロードセル） → 計測結果 P. 27, 28

外ケーブルの張力は、管理基準値内であった。また、温度と相関があり、変位は主に温度による影響と考えられる。供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

①5年間の全4測点の張力は1017 kN～1087 kNであり、管理基準値内（下限注意値660 kN、上限注意値1163kN、上限値1628kN）である。

②供用後5年間のデータの変動傾向は、ほぼ同様であった。

5) 桁内外の温度（熱電対） → 計測結果 P. 29, 30

各項目の計測データの変動はそれぞれ温度による影響が考えられるが、供用後5年間の桁内外の温度の変動傾向はほぼ同様であった。

①供用後5年間の外気温（T-1）の変化は、年間約40℃であり、毎年ほぼ同様である。

②供用後5年間の桁内温度（T-4）の変化は、年間約36.5℃であり、毎年ほぼ同様である。

※供用後5年目のデータは、2011/8/1～2012/5/31の10ヶ月間のデータとする。

II 定期点検結果（供用後5年目）

平成24年度垂井高架橋モニタリング業務定期点検（2012/2/6～2/18）において確認された事項を以下に示す。

1. 主桁内面目視調査

1-1. 点検要領

平成24年の定期点検では、全径間を対象として点検を行った。今年度で代表区間は3回目、その他の径間は2回目の計測となり、全径間ひびわれの新規・進展に着目した経過測定を実施した。

点検するひび割れ幅および調査断面は、表-1.1に示す通りである。

表-1.1 ひび割れ調査幅

	調査断面	調査回数	記録ひび割れ幅	調査ひび割れ幅
A1-P1	北側	2回目	0.2mm以上	0.1mm以上
	南側		0.1mm以上	
P1-P2	北側	2回目	0.2mm以上	
	南側		0.1mm以上	
P2-P3(代表区間)	全断面	3回目	0.1mm以上	
P3-P4	北側	2回目	0.2mm以上	
	南側		0.1mm以上	
P4-P5	北側	2回目	0.2mm以上	
	南側		0.1mm以上	
P5-P6	北側	2回目	0.2mm以上	
	南側		0.1mm以上	
P6-A2(代表区間)	全断面	3回目	0.1mm以上	
追跡モニタリングひび割れ	全径間	3回目	0.1mm以上	

点検方法はこれまでと同様、目視及びクラックスケール等の簡易な測定器を用いて測定し、図面に記録する。

また、供用前に設定した測定点の追跡モニタリングひび割れについても、図面や点検調書に状況写真、長さ及び幅等の測定結果を記録し、これらの変化については、経時的かつ定量的に監視する。

1-2. 点検結果取りまとめ要領

点検結果は、これまでの点検結果を基にして以下の要領にて取りまとめる。

1. ひび割れ図→ひびわれ点検結果 P.40
2. ひび割れ計測調書（追跡モニタリングひび割れ）
3. ひび割れ分析
 - 1) 径間ごとの比較
 - ① ひび割れ総延長
 - ② ひび割れ長さ密度
 - ③ ひび割れ面積密度

2) 部位ごとの比較

- ① ひび割れ総延長
- ② ひび割れ長さ密度
- ③ ひび割れ面積密度

3) ひび割れ幅ごとの比較

- ① ひび割れ総延長
- ② ひび割れ長さ密度
- ③ ひび割れ面積密度

ひび割れ長さ密度および面積密度の算出方法は、以下の通りとする。

① ひび割れ長さ密度

ひび割れ長さ密度は、ひび割れの総延長を対象面の面積で除したものである。なお、下部ハンチはウェブに、上部ハンチは上床版に含めるものとする。

$$\text{ひび割れ長さ密度 (m/m}^2\text{)} = \text{対象面のひび割れ総延長 (m)} / \text{対象面の面積 (m}^2\text{)}$$

② ひび割れ面積密度

ひび割れ面積密度は、ひび割れの幅と長さを乗じたものの総計を対象面の面積で除したものである。なお、①同様に下部ハンチはウェブに、上部ハンチは上床版に含めるものとする。

$$\text{ひび割れ面積密度 (m}^2\text{/m}^2\text{)} = \text{対象面のひび割れ総面積 (m}^2\text{)} / \text{対象面の面積 (m}^2\text{)}$$

1-3. ひび割れ分析

1-3-1. 径間ごとの比較

①ひび割れ総延長

表-1.2 径間ごとのひび割れ総延長

径間	ひび割れ総延長			初期値との割合	前年度との割合
	H. 22	H. 23	H. 24		
A1-P1	-	72523	74168	1.023	1.023
P1-P2	-	120966	126116	1.043	1.043
P2-P3	1096638	1096558	1097268	1.001	1.001
P3-P4	-	167005	171520	1.027	1.027
P4-P5	-	141230	147085	1.041	1.041
P5-P6	-	123794	127979	1.034	1.034
P6-A2	414245	414175	420010	1.014	1.014
合計	1510883	2136251	2164146		

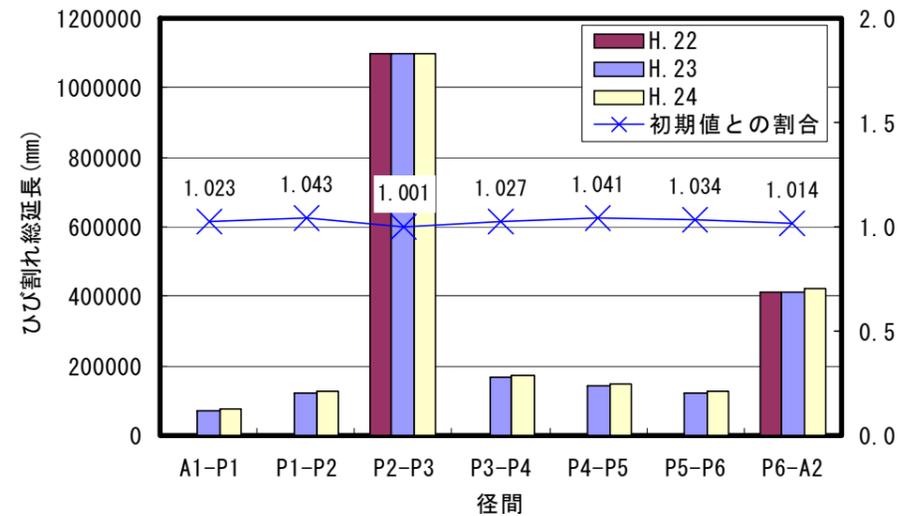


図-1.1 径間ごとのひび割れ総延長グラフ

②ひび割れ長さ密度→ひびわれ分析結果 P. 37

③ひび割れ面積密度→ひびわれ分析結果 P. 37

径間ごとの比較(ひび割れ総延長)では、初期値(P2-P3径間とP6-A2径間はH. 22年度、それ以外はH. 23年度)との割合で見ると、最も増加した径間はP1-P2径間の4.3%、次にP4-P5径間の4.1%という結果になった。

1-3-2. 部位ごとの比較

①ひび割れ総延長

表-1.3 部位ごとのひび割れ総延長

径間	年度	ウェブ		上床版下面		下床版上面		隔壁		総延長 (mm)
		長さ (mm)	総延長に対する割合%							
A1-P1	H23	33314	46	15780	22	13569	19	9860	14	72523
	H24	33884	46	15780	21	13569	18	10935	15	74168
	差 (H24-H23)	570	35	0	0	0	0	1075	65	1645
P1-P2	H23	51494	43	32868	27	24109	20	12495	10	120966
	H24	53954	43	34658	27	25009	20	12495	10	126116
	差 (H24-H23)	2460	48	1790	35	900	17	0	0	5150
P2-P3	H23	259840	24	572805	52	246563	22	17350	2	1096558
	H24	260550	24	572805	52	246563	22	17350	2	1097268
	差 (H24-H23)	710	100	0	0	0	0	0	0	710
P3-P4	H23	99310	59	16640	10	38305	23	12750	8	167005
	H24	105985	61	16920	10	38305	22	12750	7	173960
	差 (H24-H23)	6675	96	280	4	0	0	0	0	6955
P4-P5	H23	20600	15	62550	44	54830	39	3250	2	141230
	H24	26240	18	62550	43	54830	37	3250	2	146870
	差 (H24-H23)	5640	100	0	0	0	0	0	0	5640
P5-P6	H23	40113	32	56480	46	22156	18	5045	4	123794
	H24	40858	33	56480	45	22156	18	5045	4	124539
	差 (H24-H23)	745	100	0	0	0	0	0	0	745
P6-A2	H23	118850	29	200740	48	68725	17	25860	6	414175
	H24	118980	28	206325	49	68845	16	25860	6	420010
	差 (H24-H23)	130	2	5585	96	120	2	0	0	5835
差の平均			2419		1094		146		154	

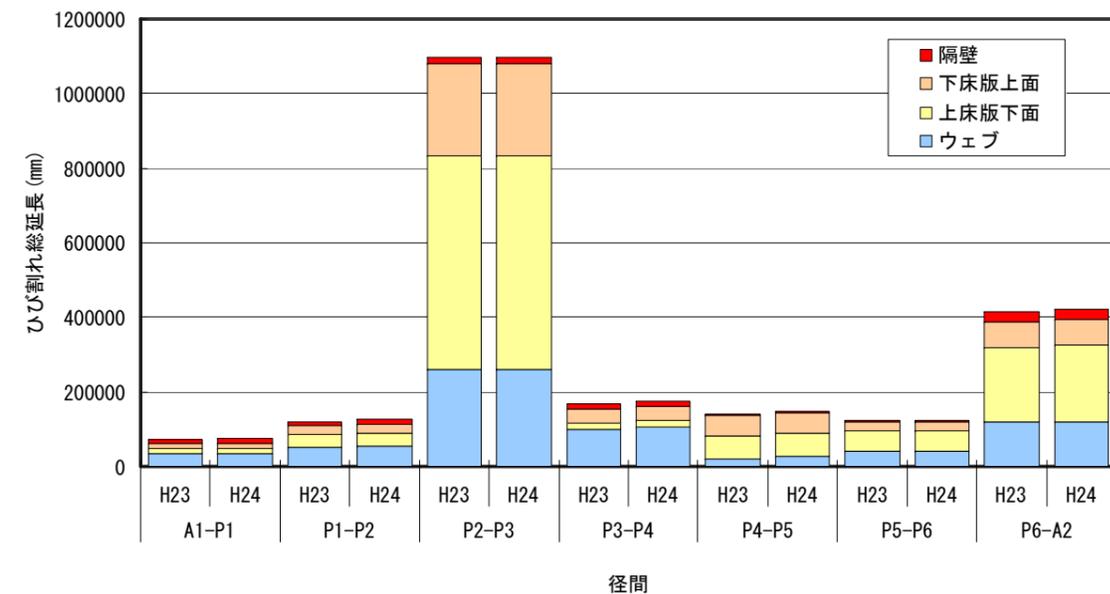


図-1.2 部位ごとのひび割れ総延長グラフ

部位ごとで見ると、ウェブと上床版下面が特に増加している傾向にあることがわかる。

②ひび割れ長さ密度→ひびわれ分析結果 P. 38

③ひび割れ面積密度→ひびわれ分析結果 P. 38

1-3-3. ひび割れ幅ごとの分類

①ひび割れ長さ

表-1.4 ひび割れ幅ごとのひび割れ総延長

径間	年度	0.1~0.15未満		0.15~0.20未満		0.20~0.25未満		0.25~		総延長(mm)
		長さ(mm)	総延長に対する割合%	長さ(mm)	総延長に対する割合%	長さ(mm)	総延長に対する割合%	長さ(mm)	総延長に対する割合%	
A1-P1	H23	53868	74	12937	18	5173	7	545	1	72523
	H24	54433	73	13102	18	6088	8	545	1	74168
	差(H24-H23)	565	34	165	10	915	56	0	0	1645
P1-P2	H23	63196	52	26014	22	21371	18	10385	9	120966
	H24	64631	51	26489	21	23891	19	11105	9	126116
	差(H24-H23)	1435	28	475	9	2520	49	720	14	5150
P2-P3	H23	768685	70	241783	22	63345	6	22745	2	1096558
	H24	768435	70	242333	22	63755	6	22745	2	1097268
	差(H24-H23)	-250	-35	550	77	410	58	0	0	710
P3-P4	H23	84915	51	37390	22	33350	20	11350	7	167005
	H24	91645	53	37540	22	31645	18	13130	8	173960
	差(H24-H23)	6730	97	150	2	-1705	-25	1780	26	6955
P4-P5	H23	85685	61	33871	24	18521	13	3153	2	141230
	H24	89925	61	33301	23	21111	14	2533	2	146870
	差(H24-H23)	4240	75	-570	-10	2590	46	-620	-11	5640
P5-P6	H23	96776	78	16607	13	10191	8	220	0	123794
	H24	96776	78	16567	13	10591	9	605	0	124539
	差(H24-H23)	0	0	-40	-5	400	54	385	52	745
P6-A2	H23	318270	77	52080	13	28375	7	15450	4	414175
	H24	323290	77	52895	13	29515	7	14310	3	420010
	差(H24-H23)	5020	86	815	14	1140	20	-1140	-20	5835
差の平均		2534		221		896		161		

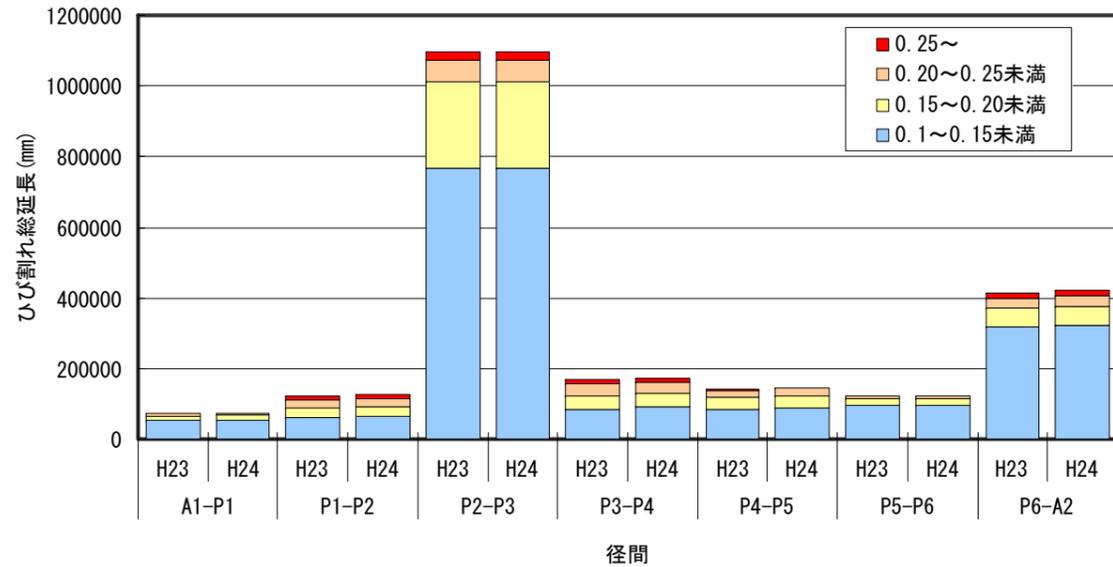
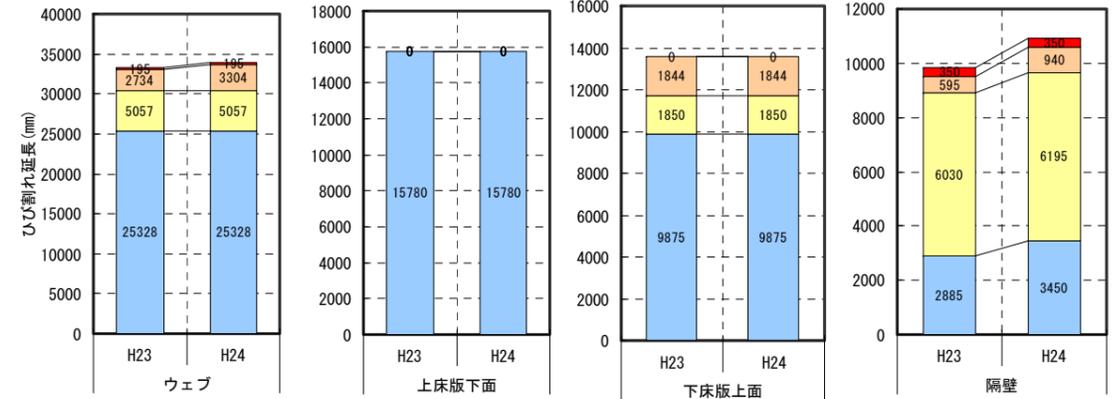


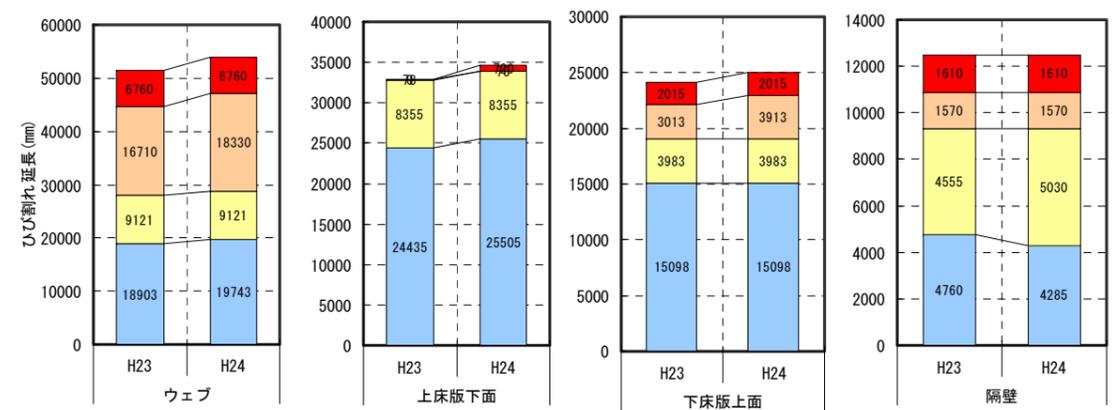
図-1.3 ひび割れ幅ごとのひび割れ総延長グラフ

ひび割れ幅区分でみると、変化したひび割れ幅区分が顕著だった区分は「0.1~0.15未満」、次に「0.2~0.25未満」であることがわかった。

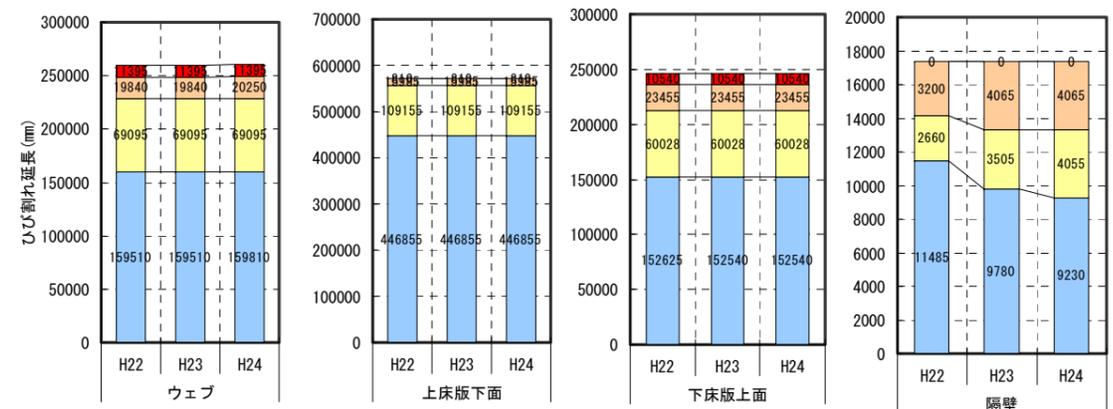
①-1 A1-P1



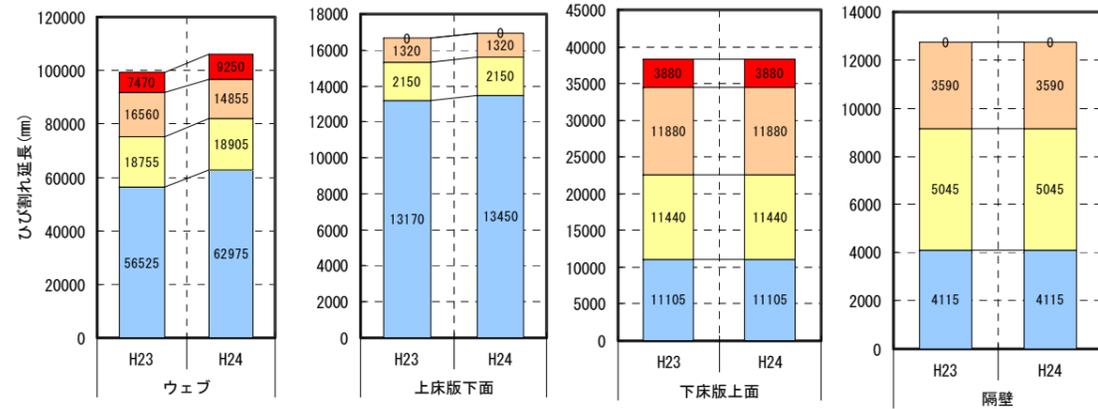
①-2 P1-P2



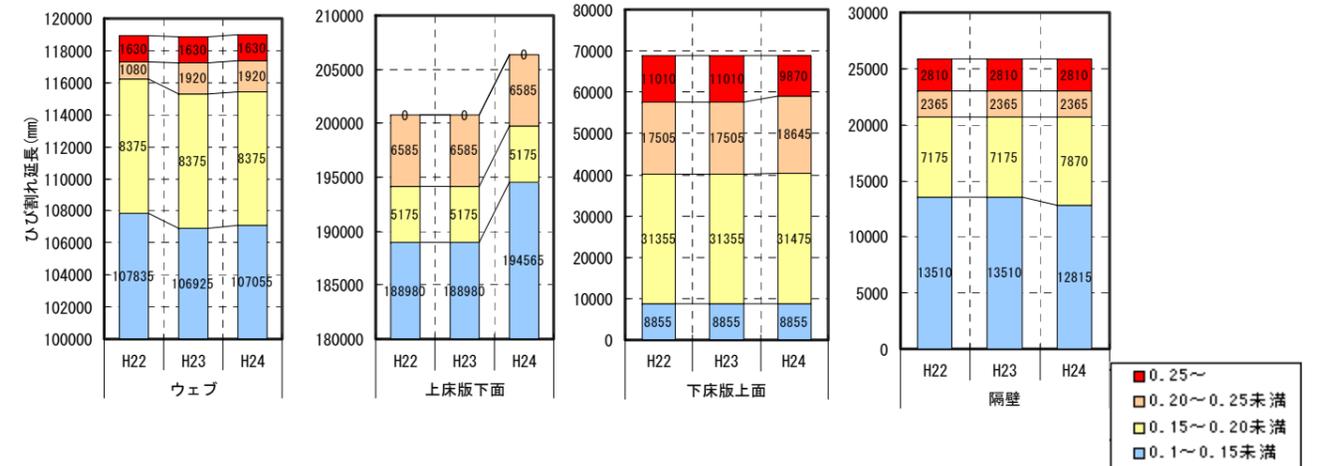
①-3 P2-P3



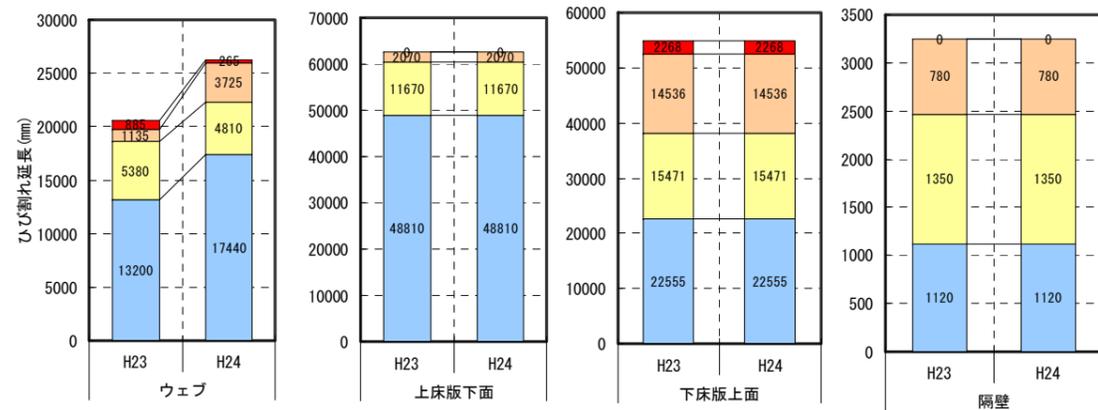
①-4 P3-P4



①-7 P6-A2



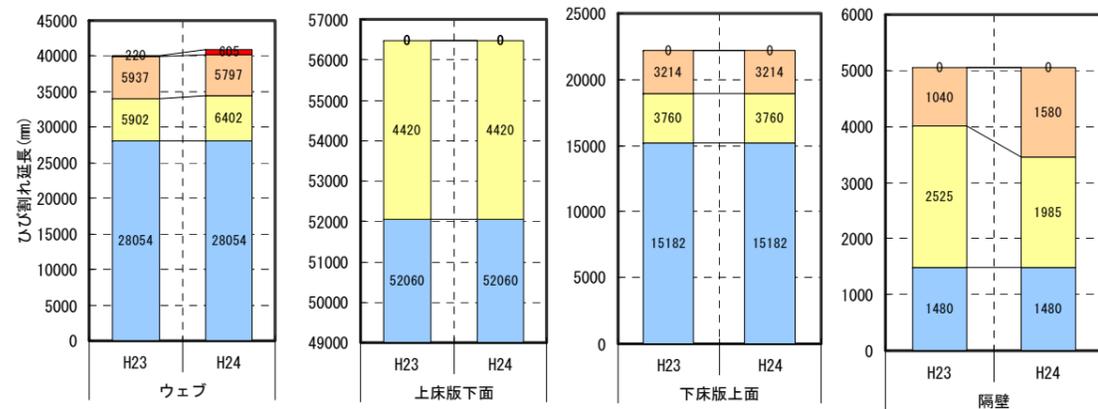
①-5 P4-P5



まとめ

- A1-P1 隔壁(0.1~0.15, 0.15~0.20, 0.2~)で増加。ウェブは微増。
- P1-P2 ウェブ(0.1~0.15, 0.20~0.25)、上床版下面(0.10~0.15, 0.25~)、下床版上面(0.20~0.25)で増加。
- P2-P3 総数としてはほとんど変化無し。
- P3-P4 ウェブ(0.10~0.15)が増加、0.15~0.20, 0.25~が微増。
- P4-P5 ウェブ(0.10~0.15, 0.20~0.25)が増加。
- P5-P6 ウェブ(0.15~0.20, 0.25~)が微増。隔壁は0.15~0.20が減少、0.20~0.25が増加。総数としては変化無し。
- P6-A2 上床版下面(0.10~0.15)が増加。その他は総数としてはほとんど変化無し。

①-6 P5-P6



②ひび割れ長さ密度→ひびわれ分析結果 P.39

③ひび割れ面積密度→ひびわれ分析結果 P.39

1-3-4. 総括

今年度のひび割れ調査結果を総括すると、以下のようにまとめることができる。

1. ひび割れの総延長は増加した。(初期値と比較して最大で約4%)
2. 増加した部位では、ウェブと上床版下面が顕著であった。
3. 増加したひび割れ幅区分は、「0.1~0.15未満」、「0.2~0.25未満」が顕著であった。

これらの結果に対する要因の推定を以下に示す。

要因の推定

1. ひび割れの総延長は増加した。(初期値と比較して最大で約4%)

今年度は例年と比較すると寒冷化の傾向にあった(図-1.4)。具体的にはH.23の2月の平均気温は約6.7℃、今年度では約4.2℃で約2.5℃低い。このことから、コンクリートの収縮が例年より大きくなりこれまで0.1mm未満や0.2mm未満として記録の対象外であったひび割れが、今年度になって対象ひび割れとして新たに加算・計上されたためと考えられる。

図-1.5からも、「前年度まで確認されていたが、調査対象ではなかったもの(今年度新たに調査対象となったひび割れ)」が、増加したひび割れ長さの大半(89%)を占めることがわかる。

2. 増加した部位では、ウェブと上床版下面が顕著であった

ウェブと上床版下面に影響が顕著に現れたのは、当該箇所には全体ひび割れの59~78%が集中(H.23年度の委員会報告書)しており、コンクリートの収縮等の動きに対して影響を受けやすかったためと考えられる。

3. 増加したひび割れ幅区分は、「0.1~0.15未満」、「0.2~0.25未満」が顕著であった。

今年度、ひび割れ総延長は増加しており、図-1.5からもその大半(89%)が「前年度まで確認されていたが、調査対象ではなかったもの(今年度新たに調査対象となったひび割れ)」であることがわかる。

ひび割れ点検において記録の対象となるひび割れ幅は、代表区間で0.1mm以上、それ以外の径間では、北側で0.2mm以上、南側で0.1mm以上としている。

そのため、代表区間およびその他の径間の南側の「0.1mm~0.15mm未満」と、代表区間以外の径間の北側の「0.2mm~0.25mm未満」において、前年度まで対象外であったひび割れが加算・計上されたものと考えられる。

増加したひび割れの内訳を図-1.5に示す。

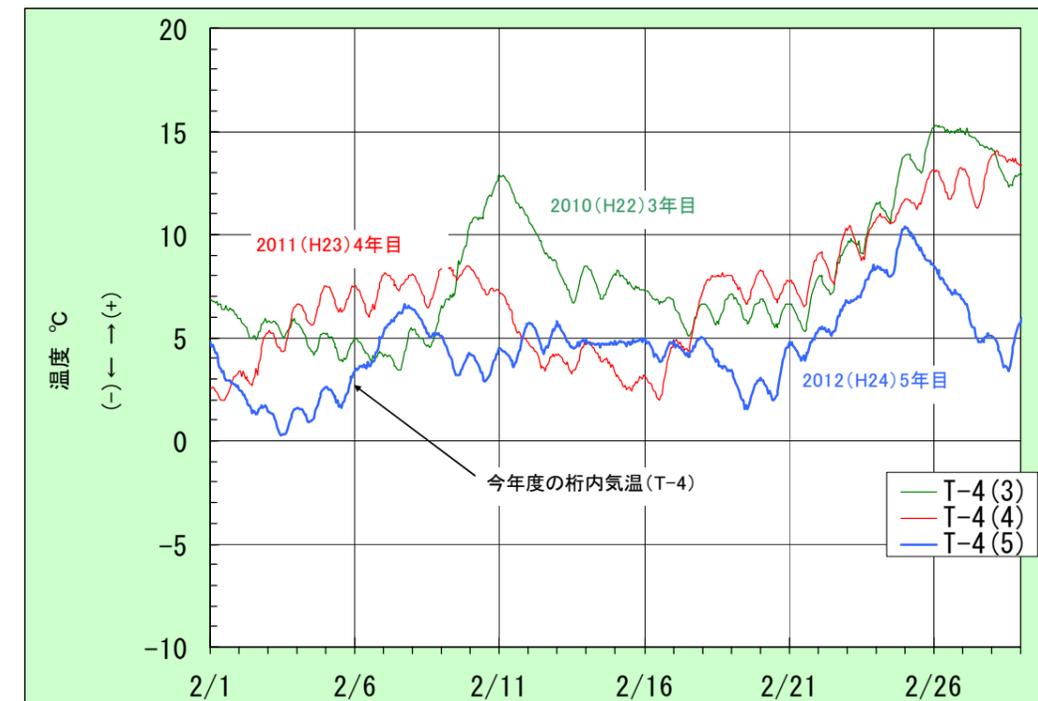
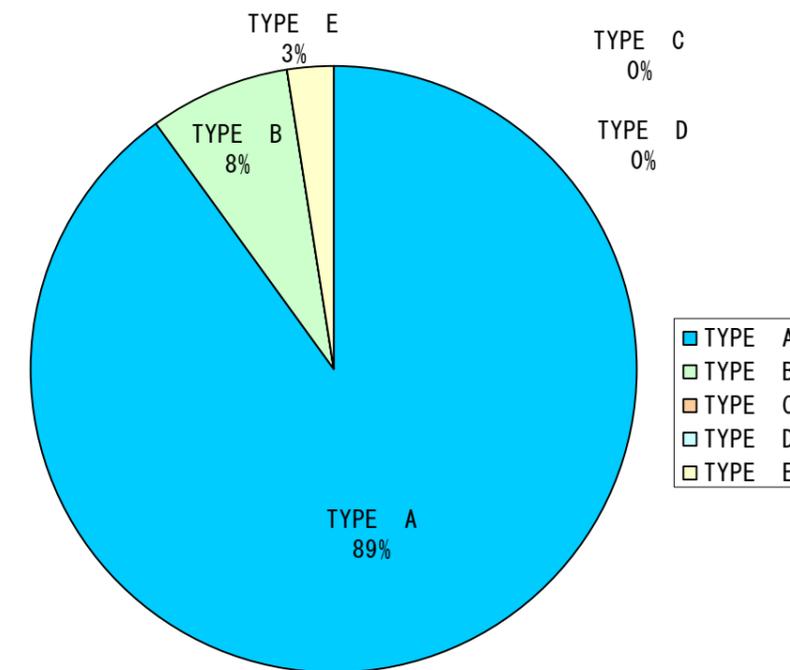


図-1.4 2月の気温の比較(3年間)



凡 例	
TYPE A	: 前年度まで確認されていたが、調査対象ではなかったもの。
TYPE B	: ひび割れ幅がランクアップしたもの。(長さは変わらず)
TYPE C	: 幅と長さが増えたもの。
TYPE D	: 今年度新たに発生したもの。
TYPE E	: 縮小したもの。

図-1.5 増加したひび割れの内訳

1-3-5. 上床版下面の変状

H21年度調査において、上床版下面にひび割れと白色の汚れが確認された。経過観察で今年度目視にて確認したが、新たな白色付着物や漏水等は見られなかった。



図-1.6 上床版状況 (P2-P3)



図-1.7 上床版状況 (P6-A2)

2. 外観目視調査結果

2-1. 支承 →沓座点検結果 (写真) P. 75

目視において、ゴム支承の機能障害や沓座モルタルおよび変位制御装置の損傷は認められなかった。

2-2. 剥落防止シートの状態 →外観点検結果 P. 77

桁下からの遠方目視において、剥落防止シートの剥離、浮きの損傷は認められなかった。

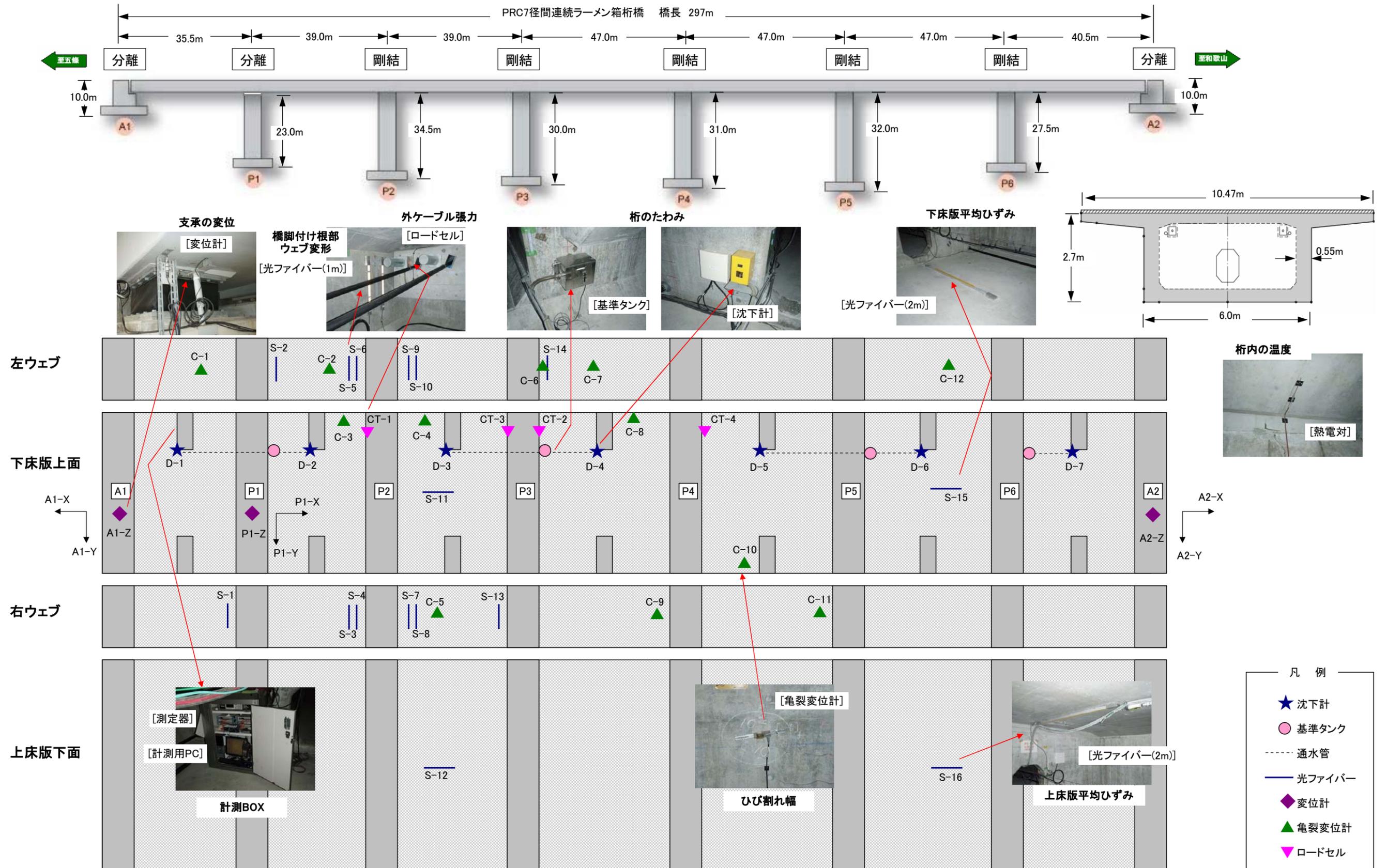
※垂井Webモニター

<http://www.tarui-monitor.jp/>

ユーザー名：route24、パスワード：route24

計 測 管 理 結 果

垂井高架橋 計測器配置イメージ図



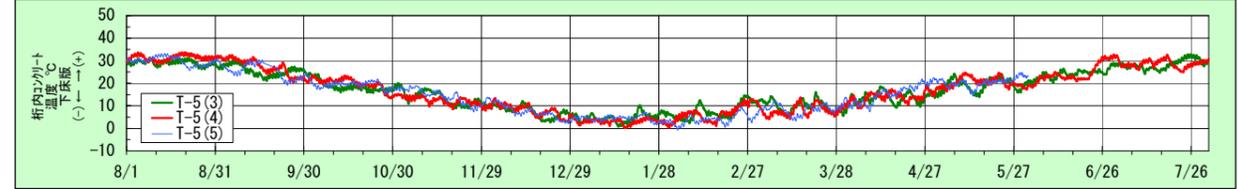
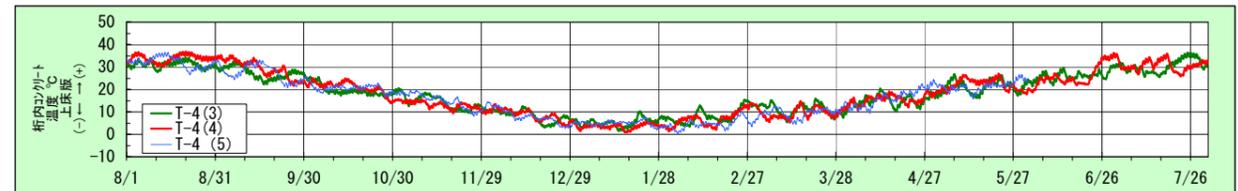
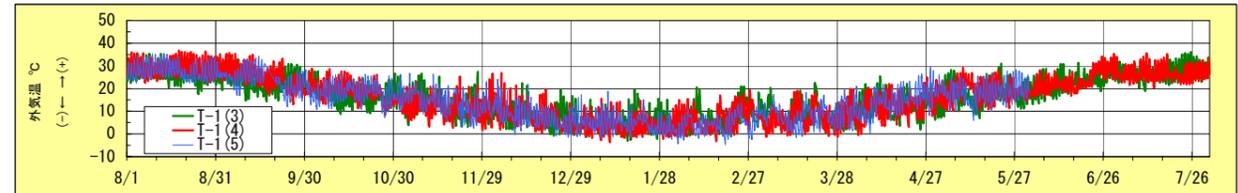
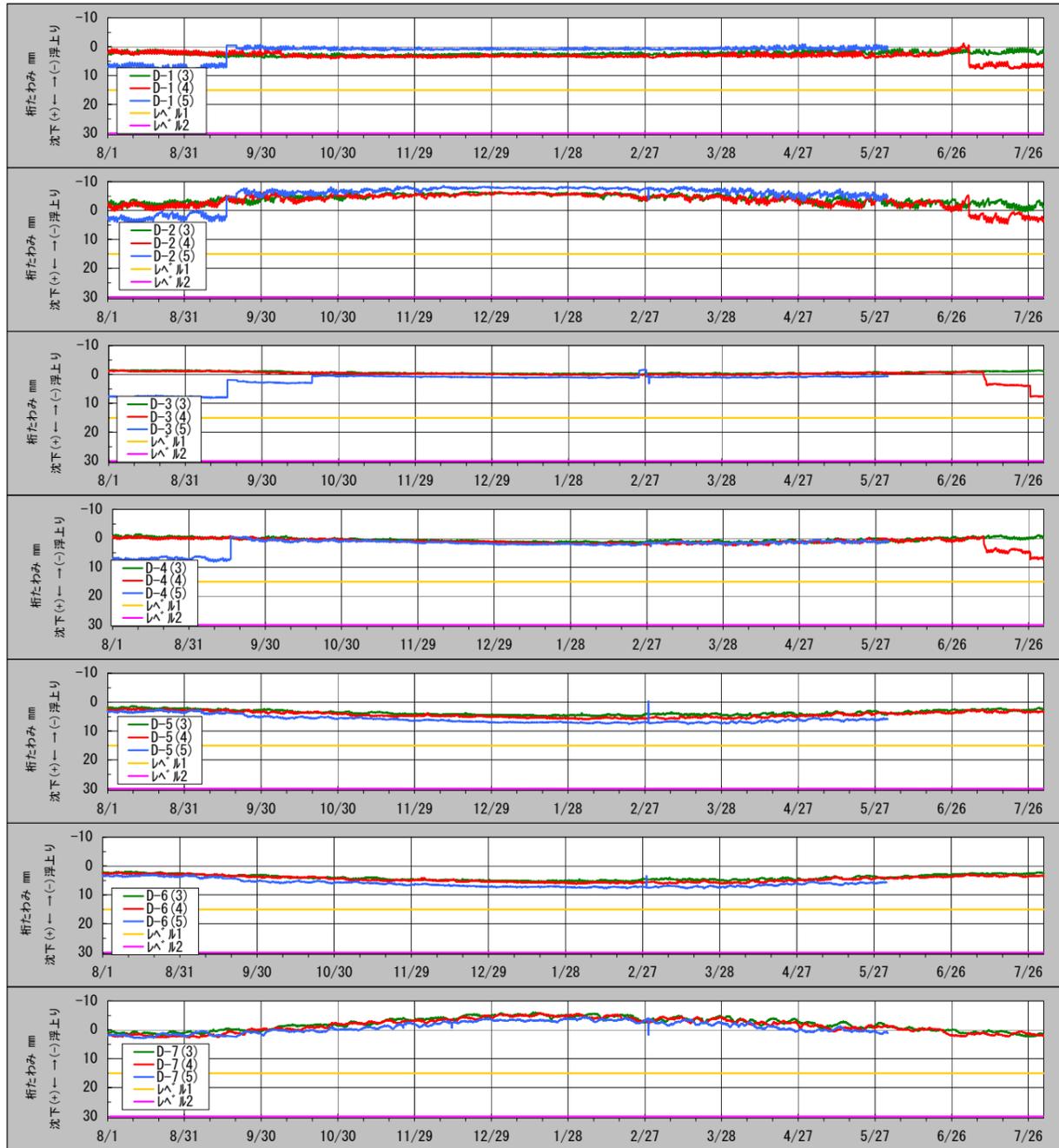
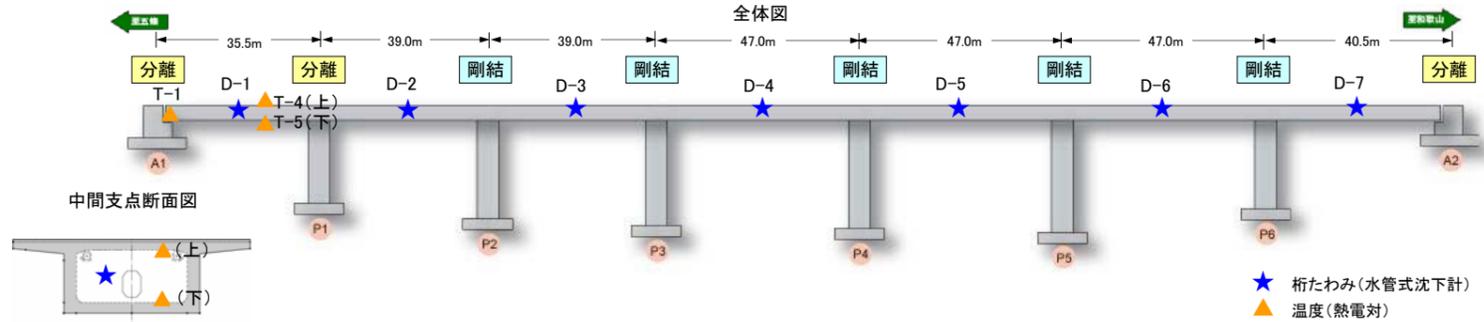
① 垂井高架橋 桁のたわみ 計測結果

※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値(メンテナンス期間等は除外)

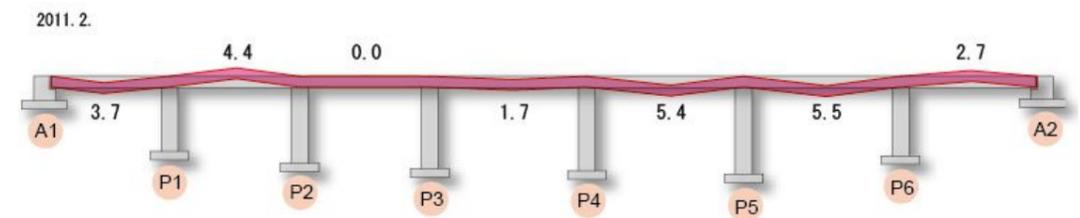
最終計測日時: 2012/5/31 23:00

桁たわみ(mm)	計測データ	計測データ			管理値		備考
		最終計測値	最小値*	最大値*	レベル1	レベル2	
(水管式沈下計)	D-1	0.7	-1.1	4.1	15	30	
	D-2	-5.2	-8.6	1.4			
	D-3	0.6	-2.0	3.2			
	D-4	0.9	-1.7	2.8			
	D-5	5.7	-0.7	7.6			
	D-6	5.6	-0.4	7.8			
	D-7	1.1	-7.0	2.9			

グラフ表示: 2009/8/1～2012/5/31 凡例()内数値は供用後経過年

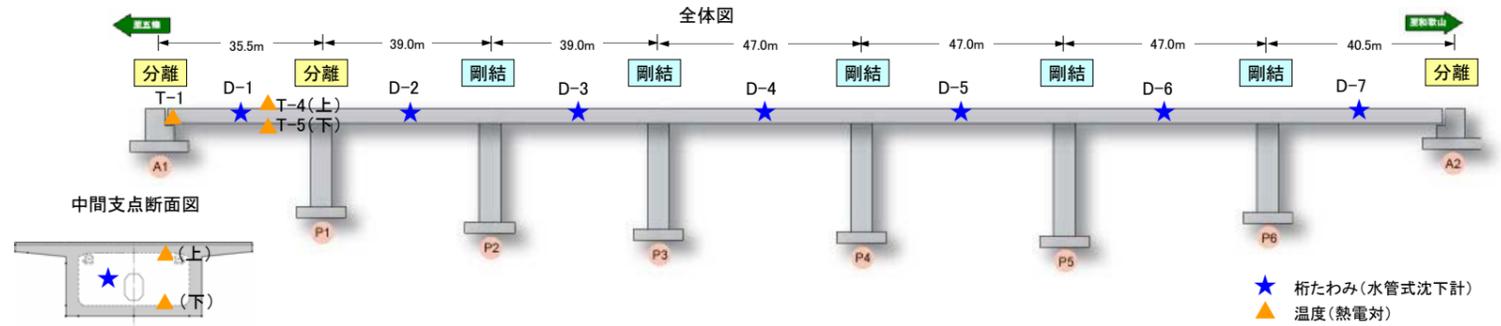


たわみイメージ図

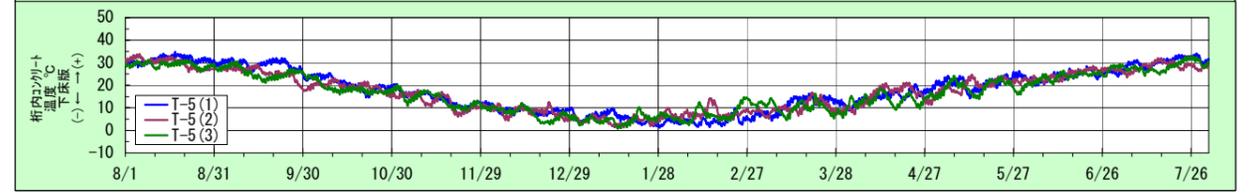
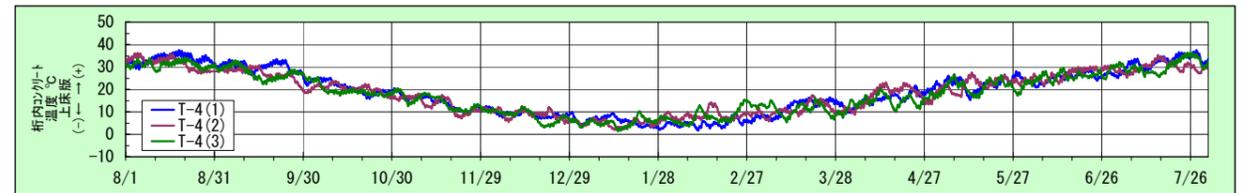
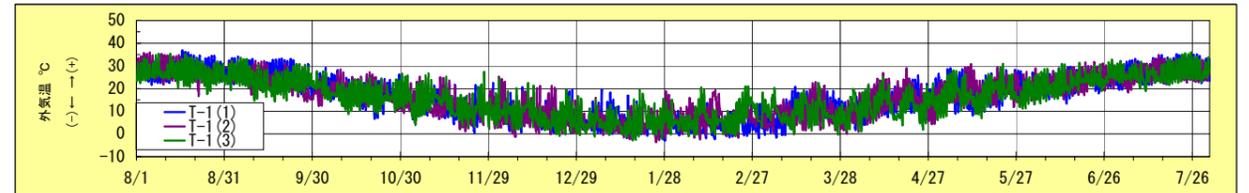
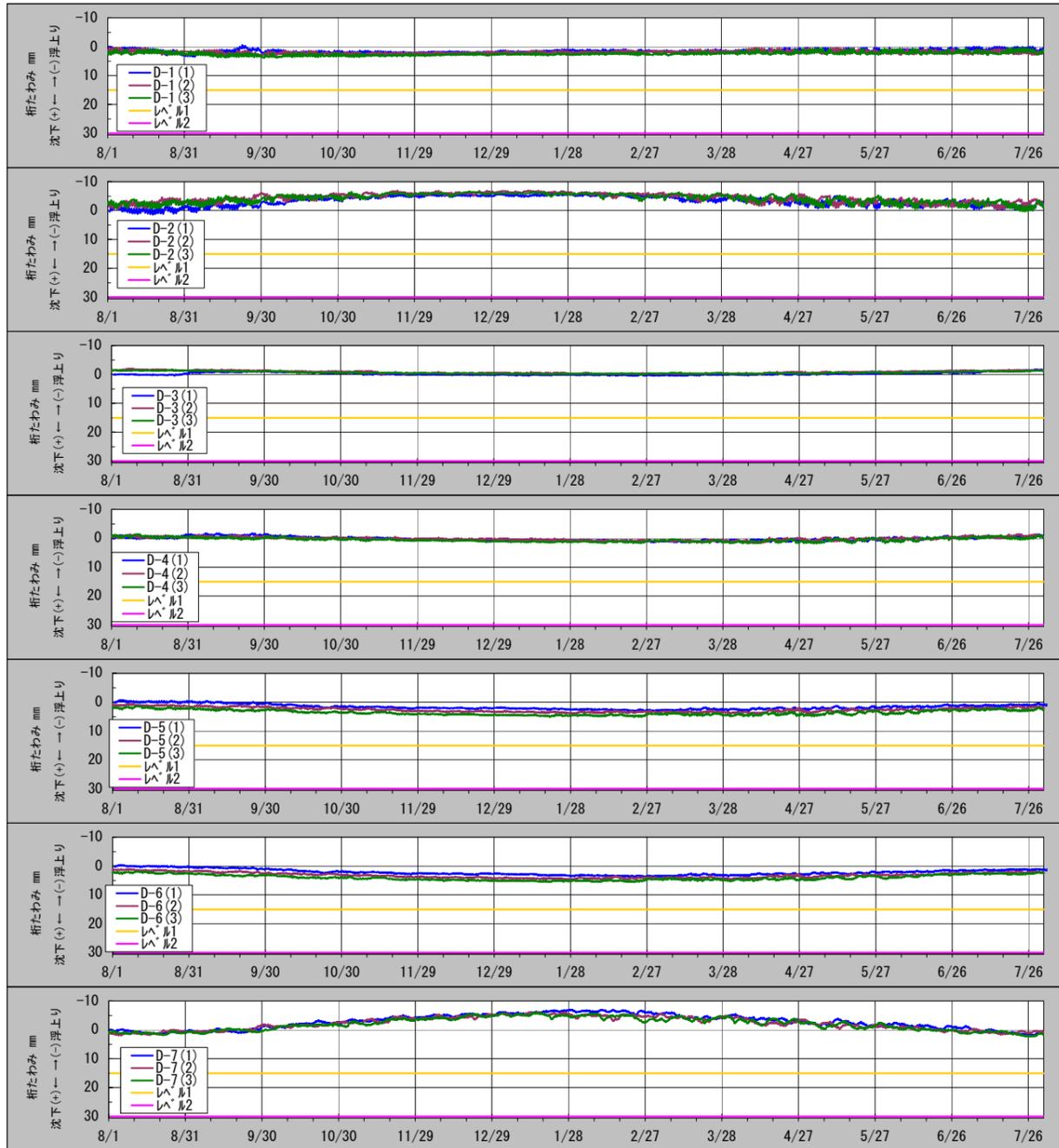


・D-1～D-4は、水管式沈下計の水タンクの故障により2011/7/2～9/20のデータ値がシフトしたため、9/20に計測器の交換修理を行った。また、D-3のみ、2011/10/19に再調整を行った。
 ・ポンプを交換した場合、流量に若干違いがでるため、更新後は1～2mm程度の計測値の変動がみられた。
 ・2012/2/24～28 計測器メンテナンス期間

① 垂井高架橋 桁のたわみ 計測結果



グラフ表示: 2007/8/1~2010/5/31 凡例()内数値は供用後経過年



2008.8.29~2008.9.1期間、全測点欠測

— 供用後1年, — 供用後2年, — 供用後3年

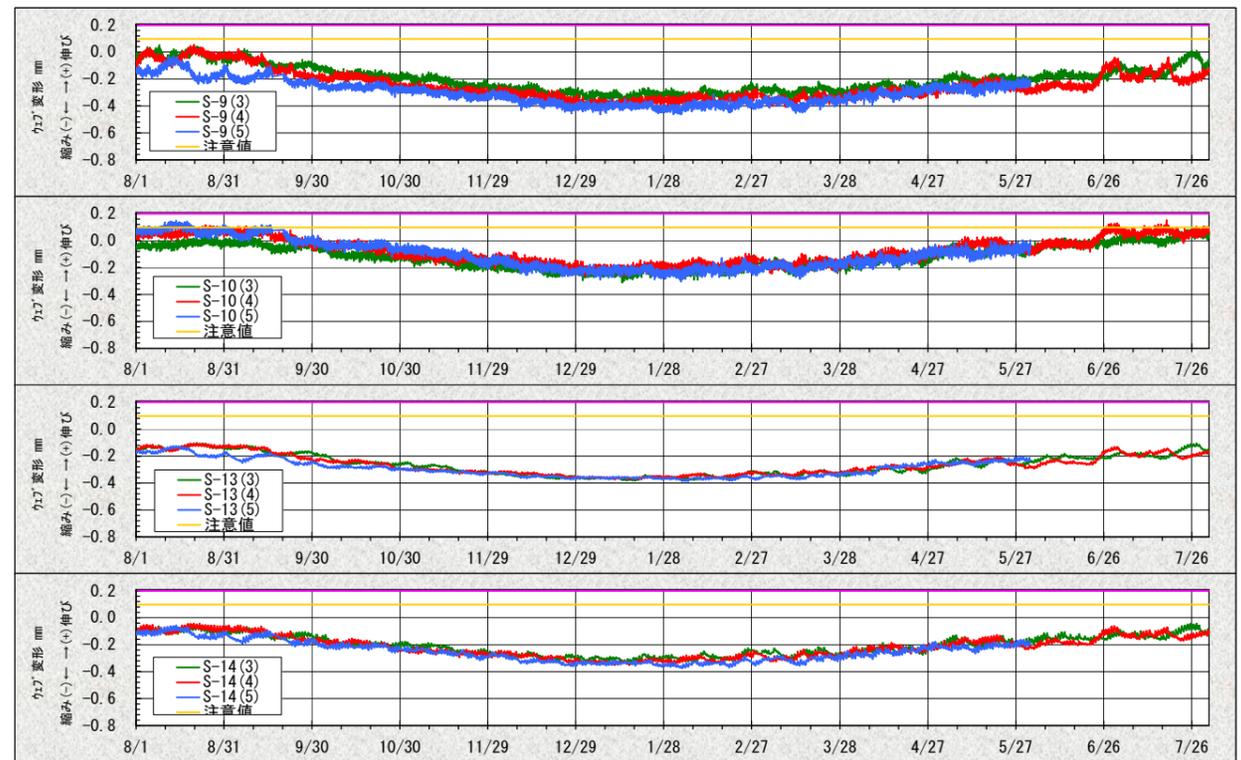
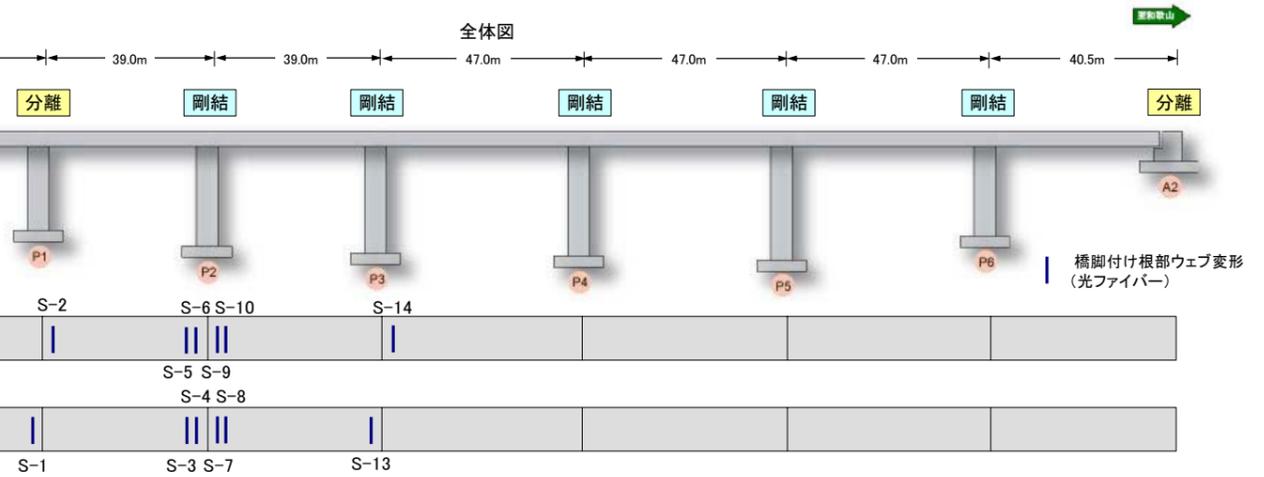
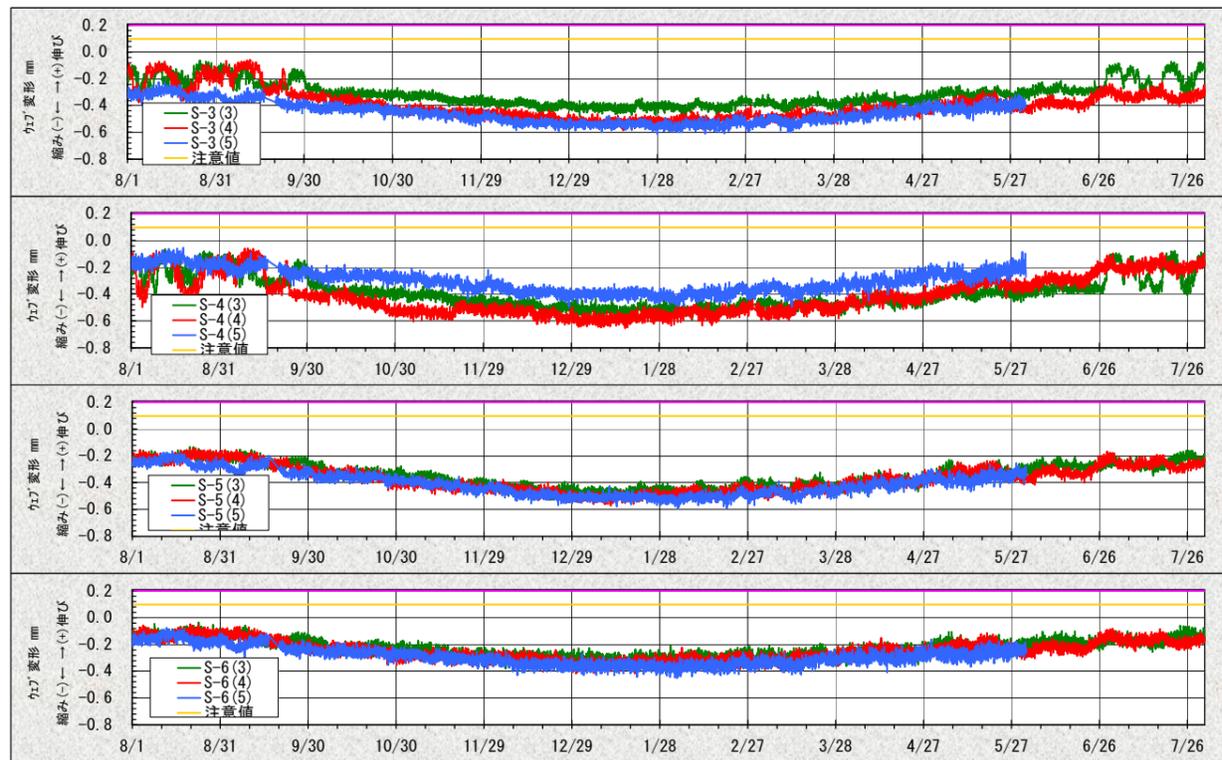
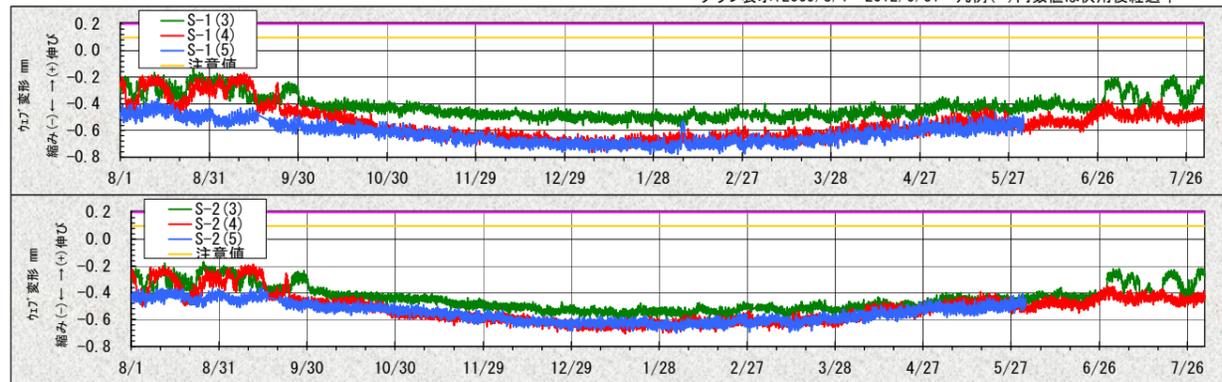
② 垂井高架橋 橋脚付け根部ウェブ変形 計測結果

※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値

最終計測日時: 2012/5/31 23:00

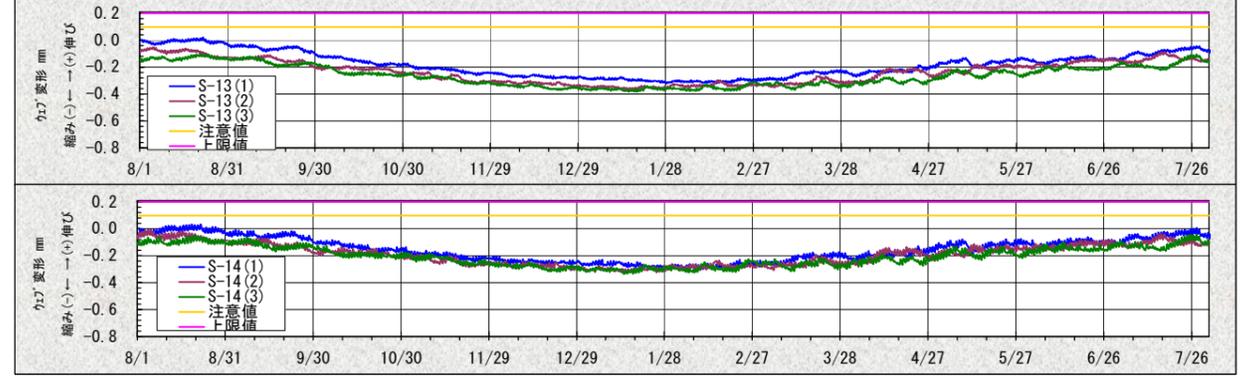
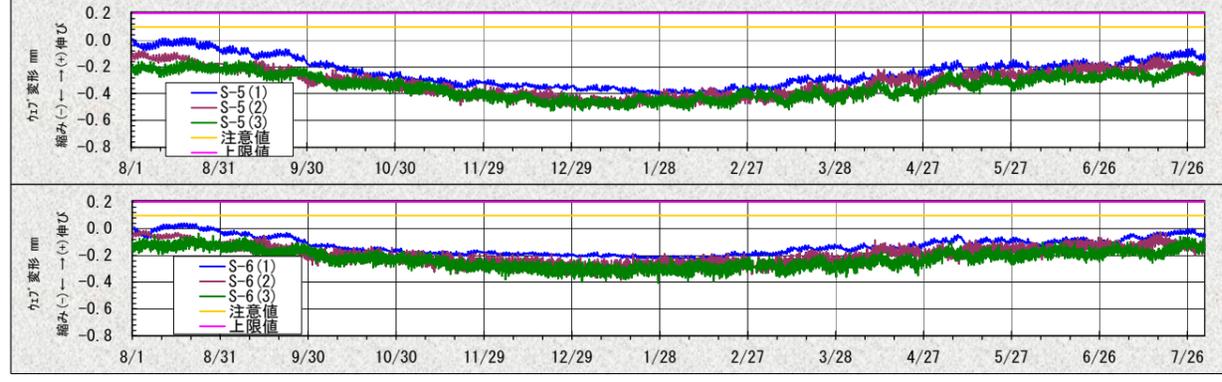
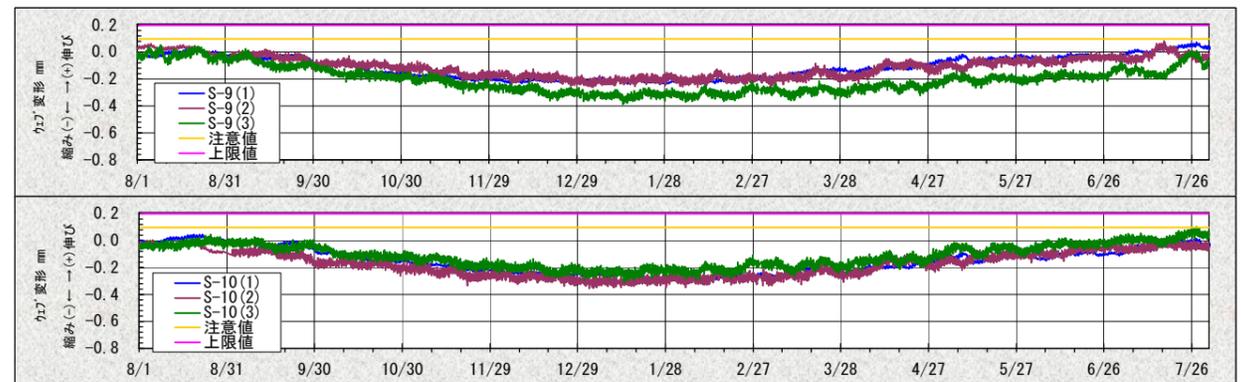
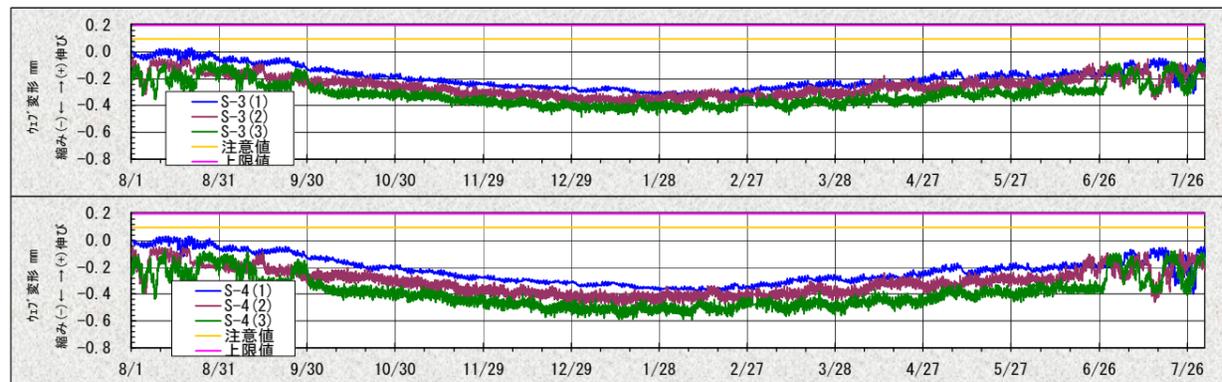
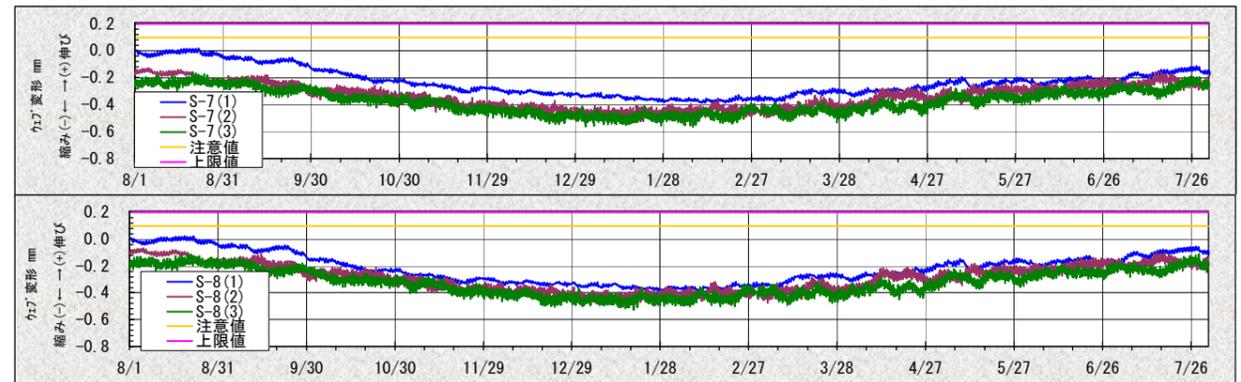
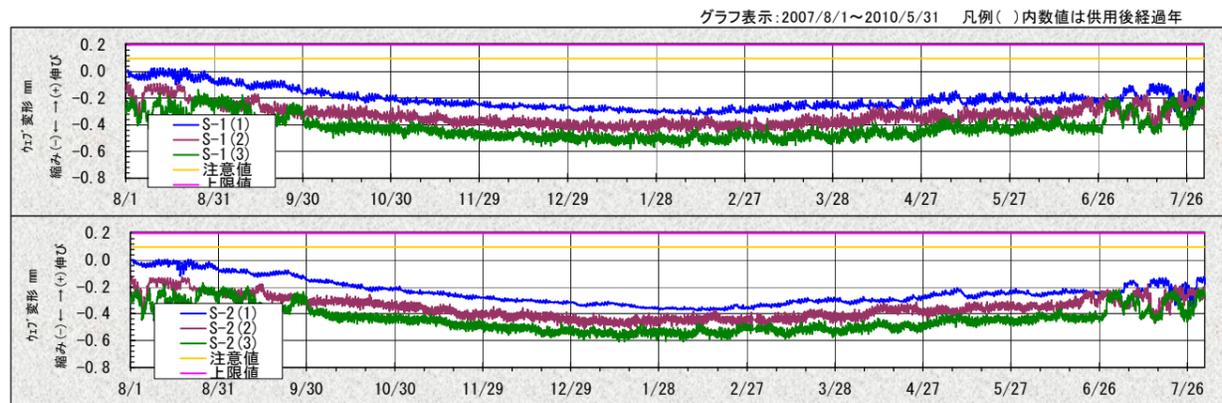
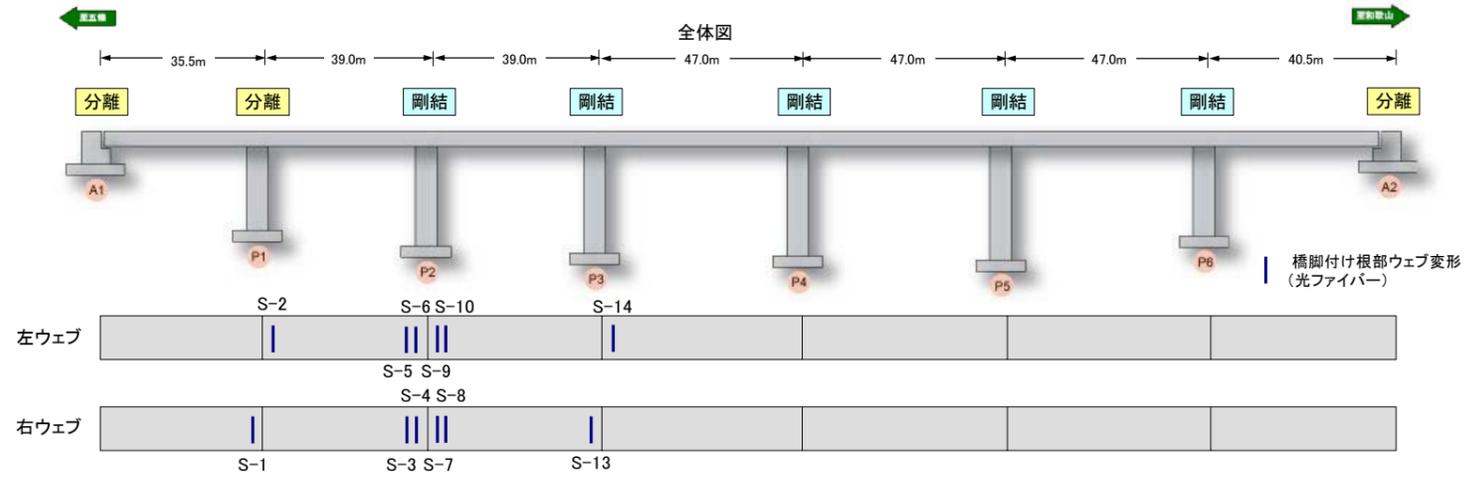
橋脚付け根部ウェブ変形 (mm)	P1	S-1	計測データ			管理値		備考
			最終計測値	最小値※	最大値※	注意値	上限値	
(光ファイバー)	P1	S-1	-0.559	-0.780	0.027	0.10	0.20	
		S-2	-0.486	-0.706	0.006			
		S-3	-0.377	-0.610	0.031			
		S-4	-0.271	-0.653	0.033			
		S-5	-0.338	-0.593	0.017			
	P2	S-6	-0.253	-0.450	0.042			
		S-7	-0.375	-0.608	0.016			
		S-8	-0.339	-0.576	0.022			
		S-9	-0.219	-0.462	0.082			
		S-10	0.007	-0.357	0.152			
P3	S-13	-0.231	-0.386	0.017				
	S-14	-0.201	-0.373	0.031				

グラフ表示: 2009/8/1～2012/5/31 凡例()内数値は供用後経過年



・S-1～S-4は同じオプトボックス(光-電気変換機)と繋がれており、温度が上がる夏期になると大きな上下変動が見られたため、2010.10.7～8期間でオプトボックスの取替えを行った。

② 垂井高架橋 橋脚付け根部ウェブ変形 計測結果



2008.7.5~2008.8.21期間、S-1~S-4の測定器一時故障
2008.8.29~2008.9.1期間、全測点欠測

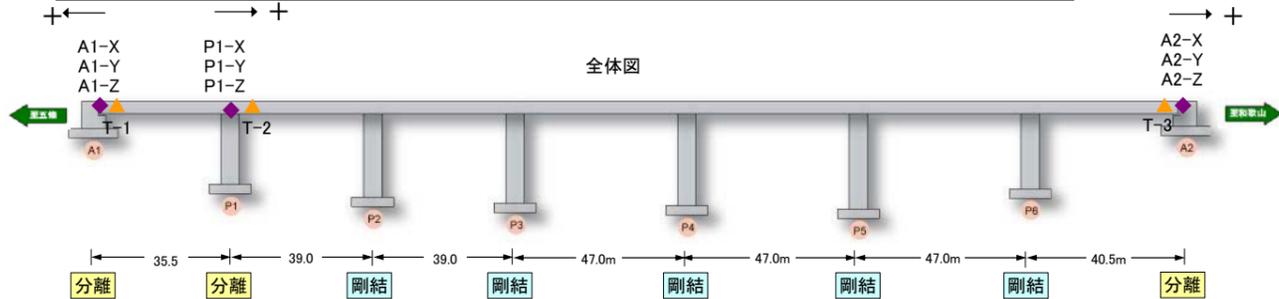
— 供用後1年, — 供用後2年, — 供用後3年

③ 垂井高架橋 支承の変位 計測結果

※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値

最終計測日時: 2012/5/31 23:00

支承の変位 (変位計)	測点	計測データ	計測データ		管理値		備考		
			最終計測値	最小値※	最大値※	下限 注意値		上限 注意値	
A1	橋軸(X)	最終計測値	11.4	-30.8	44.0	-30	55	桁が伸びる方向を+	
		直角(Y)	0.0	-1.4	7.7				
		鉛直(Z)	-1.0	-3.0	0.6				
	P1	橋軸(X)	-11.8	-28.6	15.4	-45	30		A2方向を+
		直角(Y)	-7.6	-10.3	1.7				
		鉛直(Z)	-1.6	-4.8	0.8				
A2	橋軸(X)	14.7	-24.9	43.1	-30	50	桁が伸びる方向を+		
	直角(Y)	3.3	-1.4	17.2					
	鉛直(Z)	-1.1	-3.1	0.7					

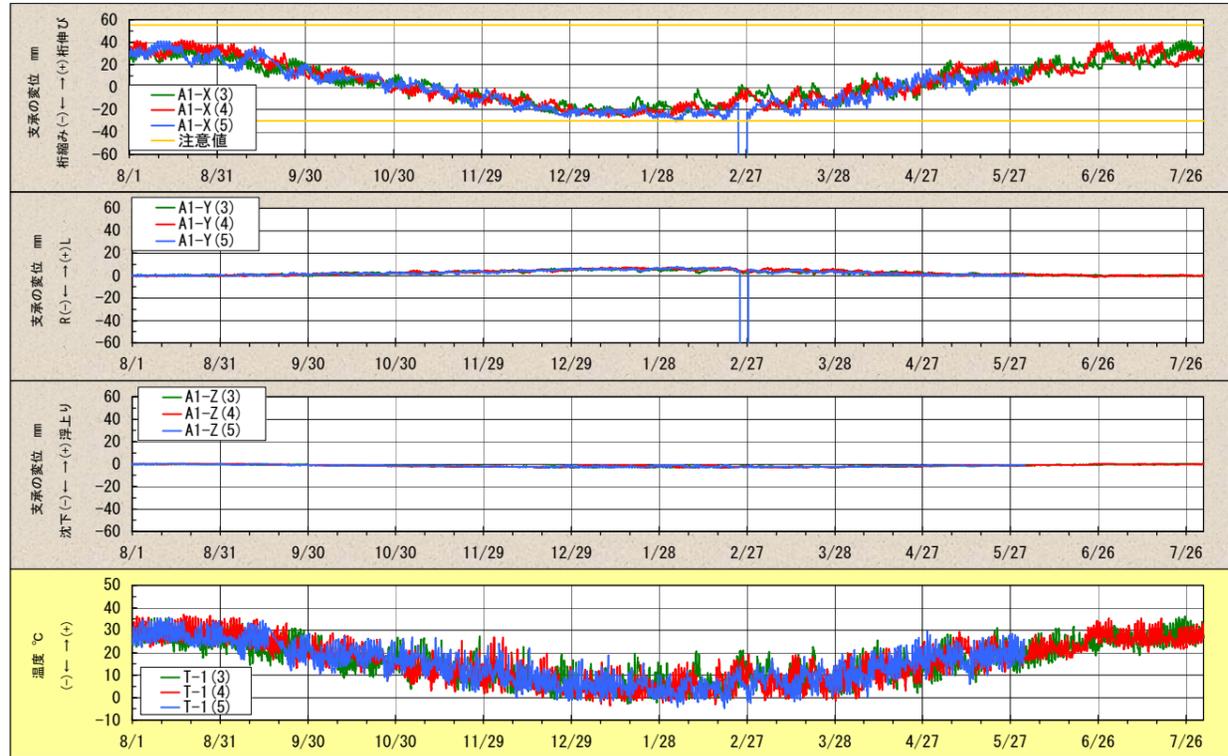


※初期値について
 支承変位の初期値は、
 橋軸方向については 2006/12/13(右表)、
 直角方向及び鉛直方向については 2007/7/28
 のデータを0として設定する。

支承変位 (橋軸方向)	初期値
A1	気温8℃時→0 -50mm →0
P1	気温8℃時→0 15mm →0
A2	気温8℃時→0 -60mm →0

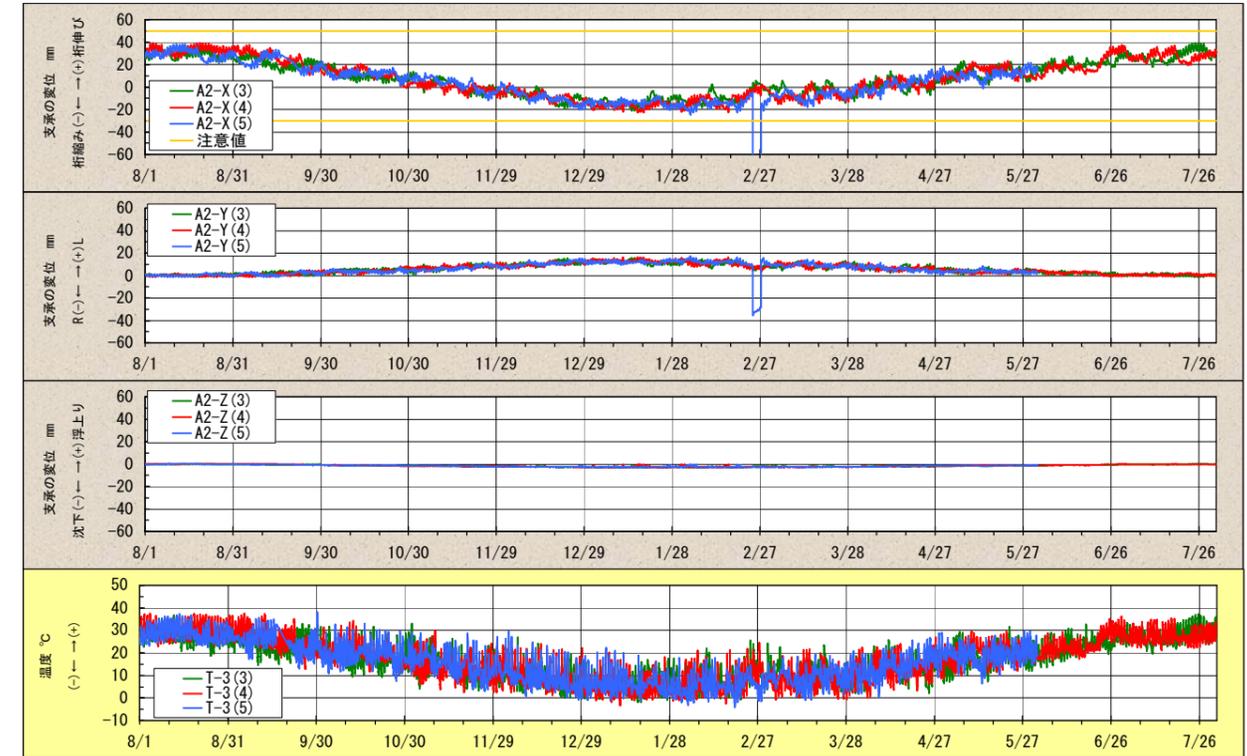
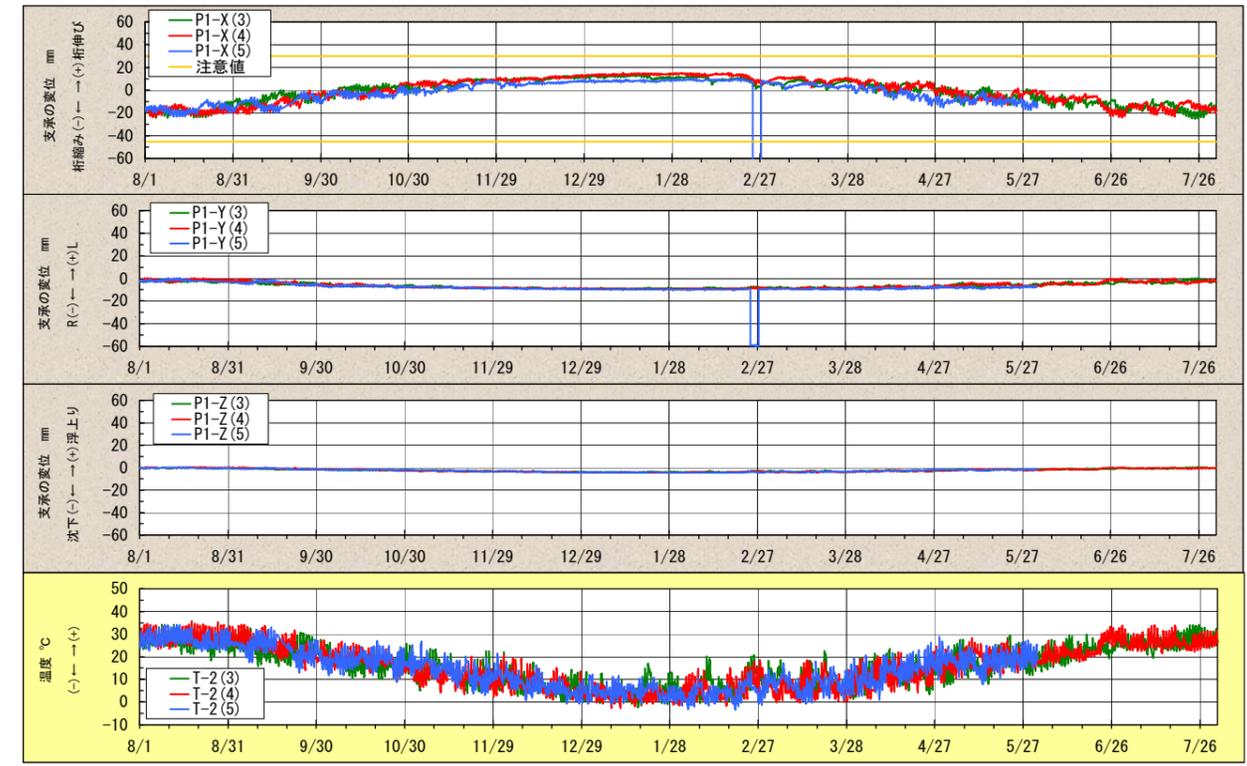
◆ 支承の変位(変位計)
 ▲ 温度(熱電対)

グラフ表示: 2009/8/1～2012/5/31 凡例()内数値は供用後経過年

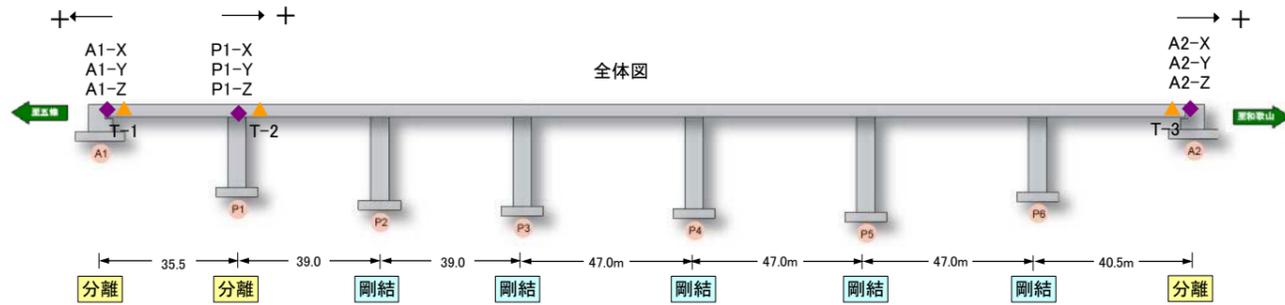


・2012/2/24～28 計測器メンテナンス期間

— 供用後3年, — 供用後4年, — 供用後5年



③ 垂井高架橋 支承の変位 計測結果



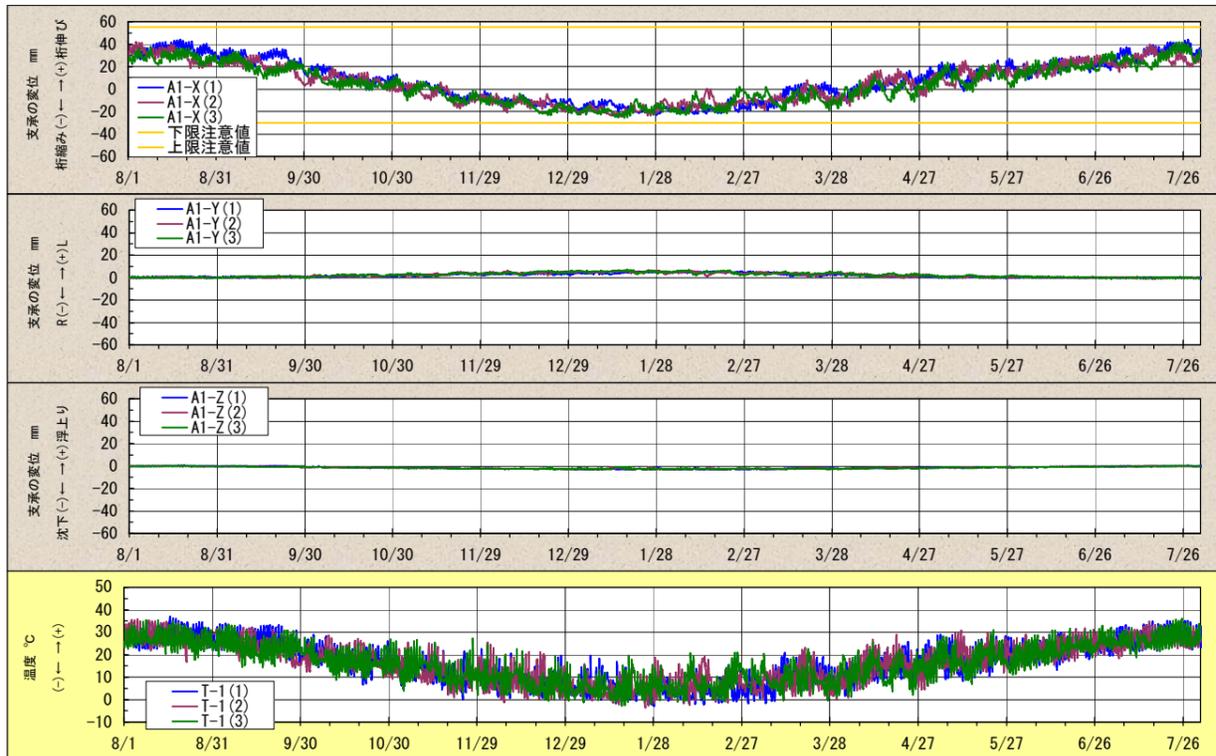
※初期値について

支承変位の初期値は、橋軸方向については 2006/12/13(右表)、直角方向及び鉛直方向については 2007/7/28のデータを0として設定する。

支承変位 (橋軸方向)	初期値
A1	気温8℃時→0 -50mm →0
P1	気温8℃時→0 15mm →0
A2	気温8℃時→0 -60mm →0

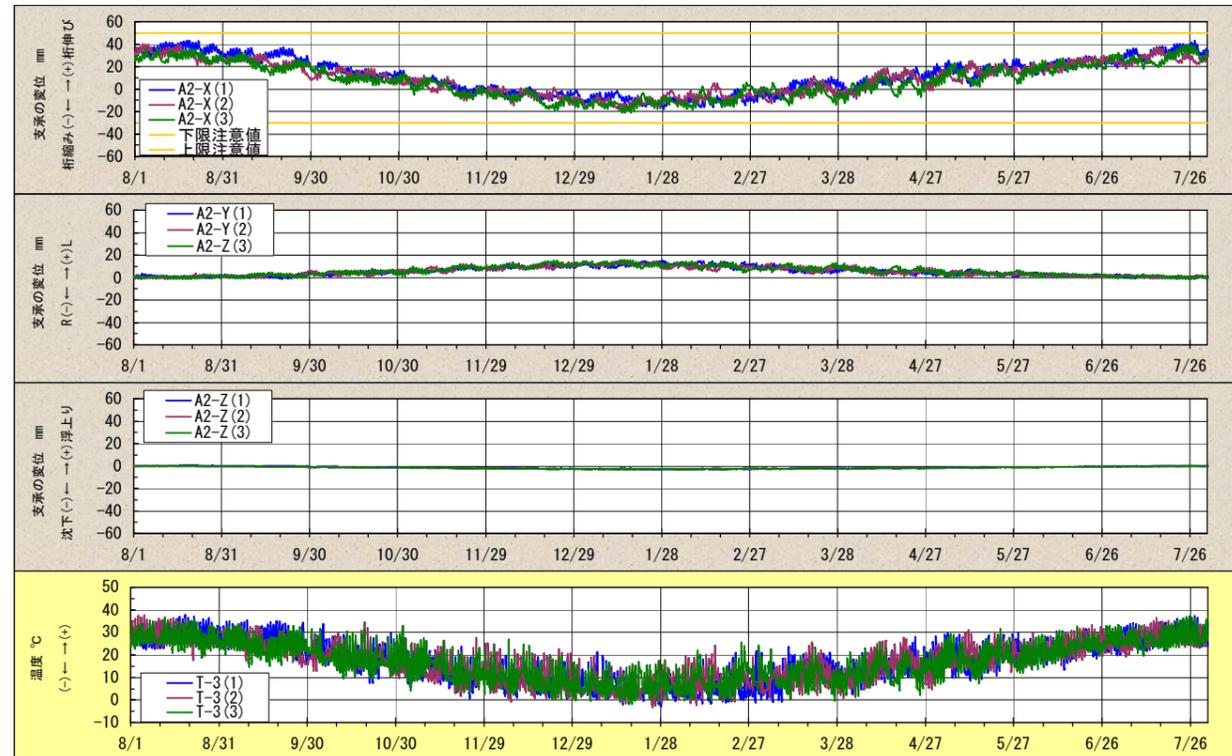
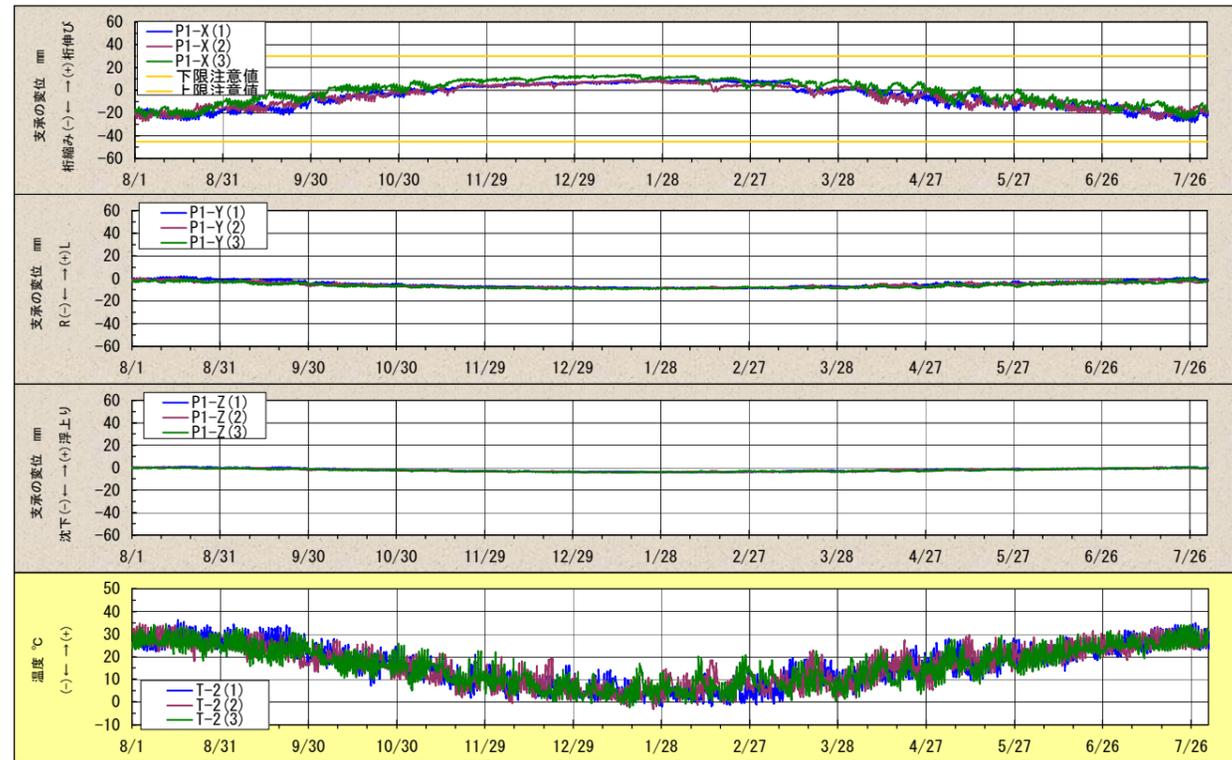
◆ 支承の変位(変位計)
▲ 温度(熱電対)

グラフ表示: 2007/8/1~2010/5/31 凡例 ()内数値は供用後経過年



2008.8.29~2008.9.1期間、全測点欠測

— 供用後1年, — 供用後2年, — 供用後3年



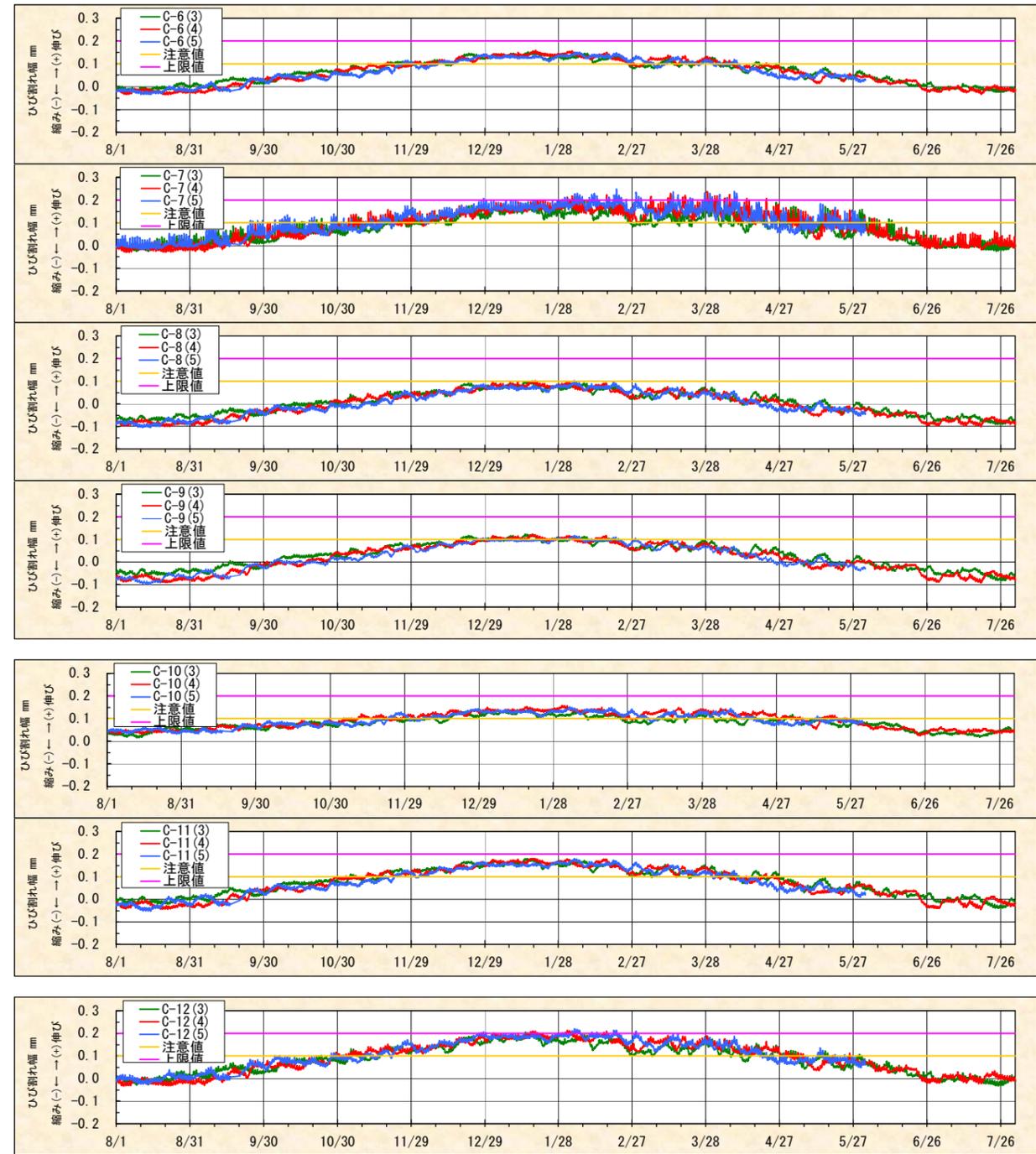
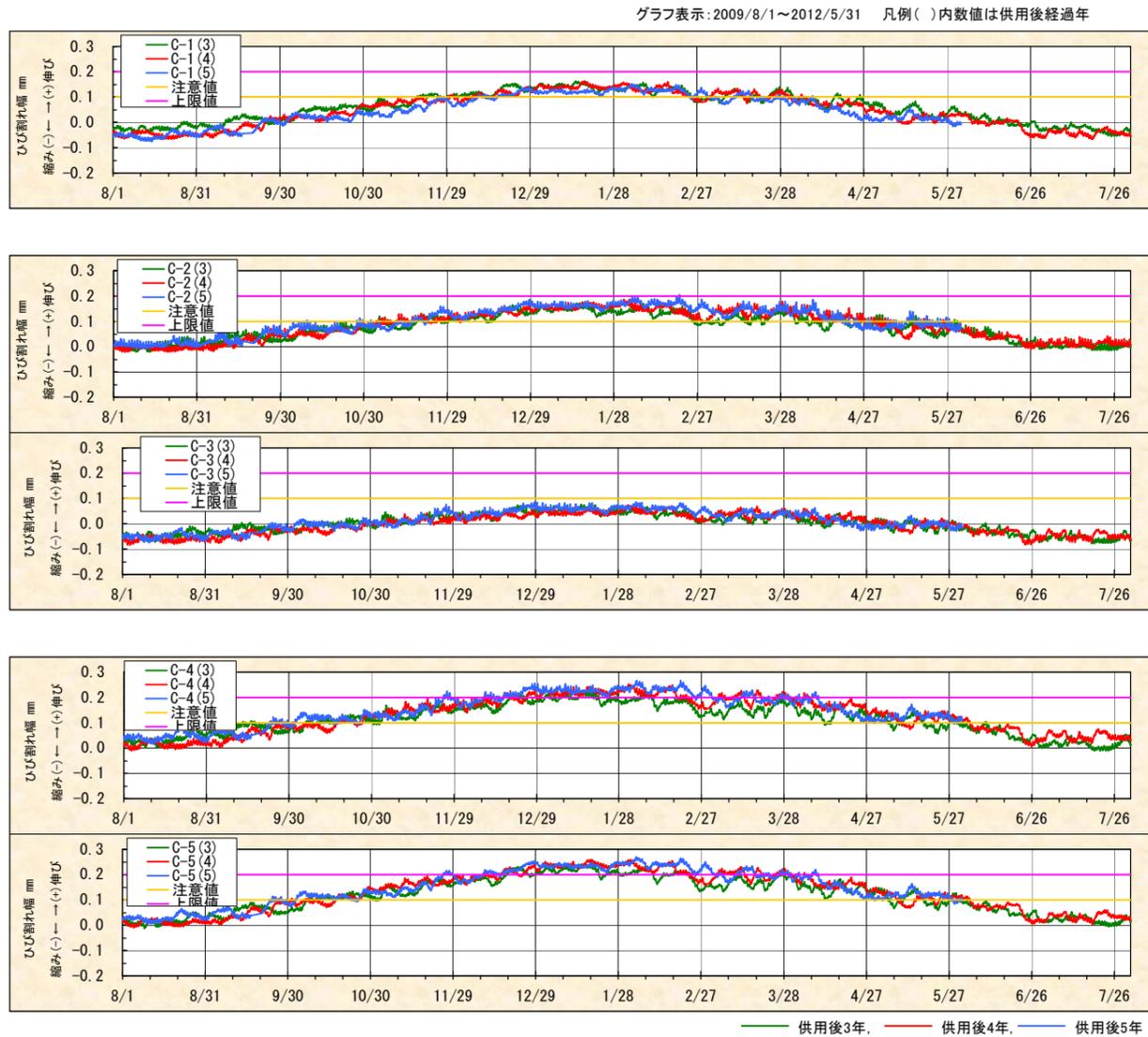
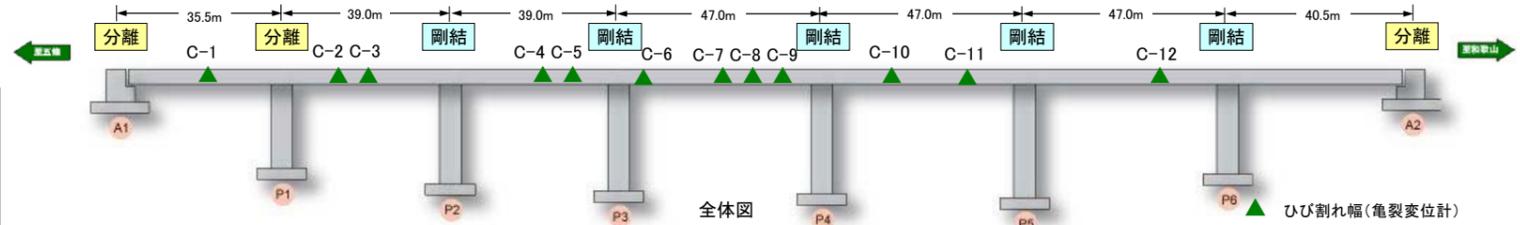
④ 垂井高架橋 ひび割れ幅 計測結果

※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値

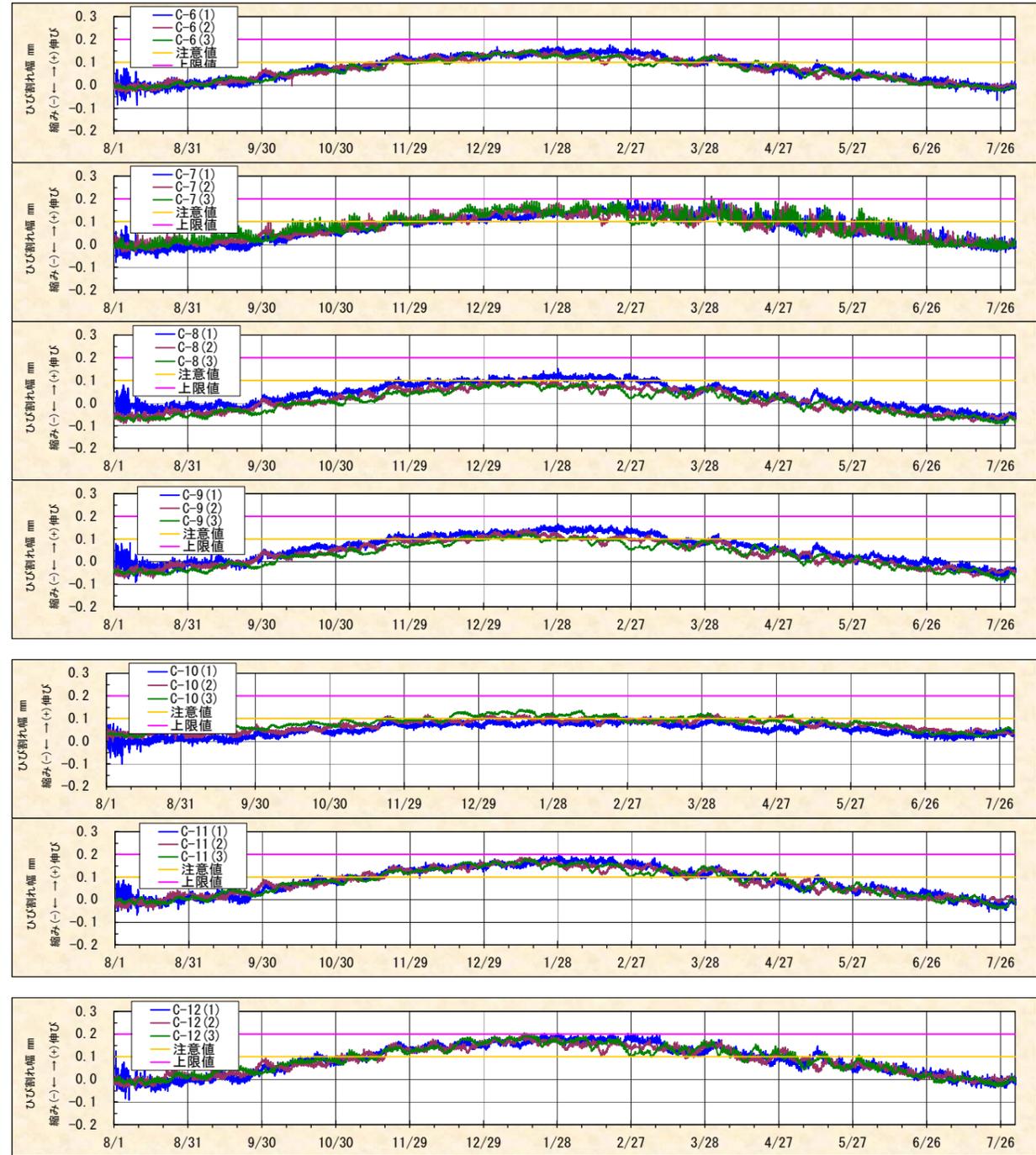
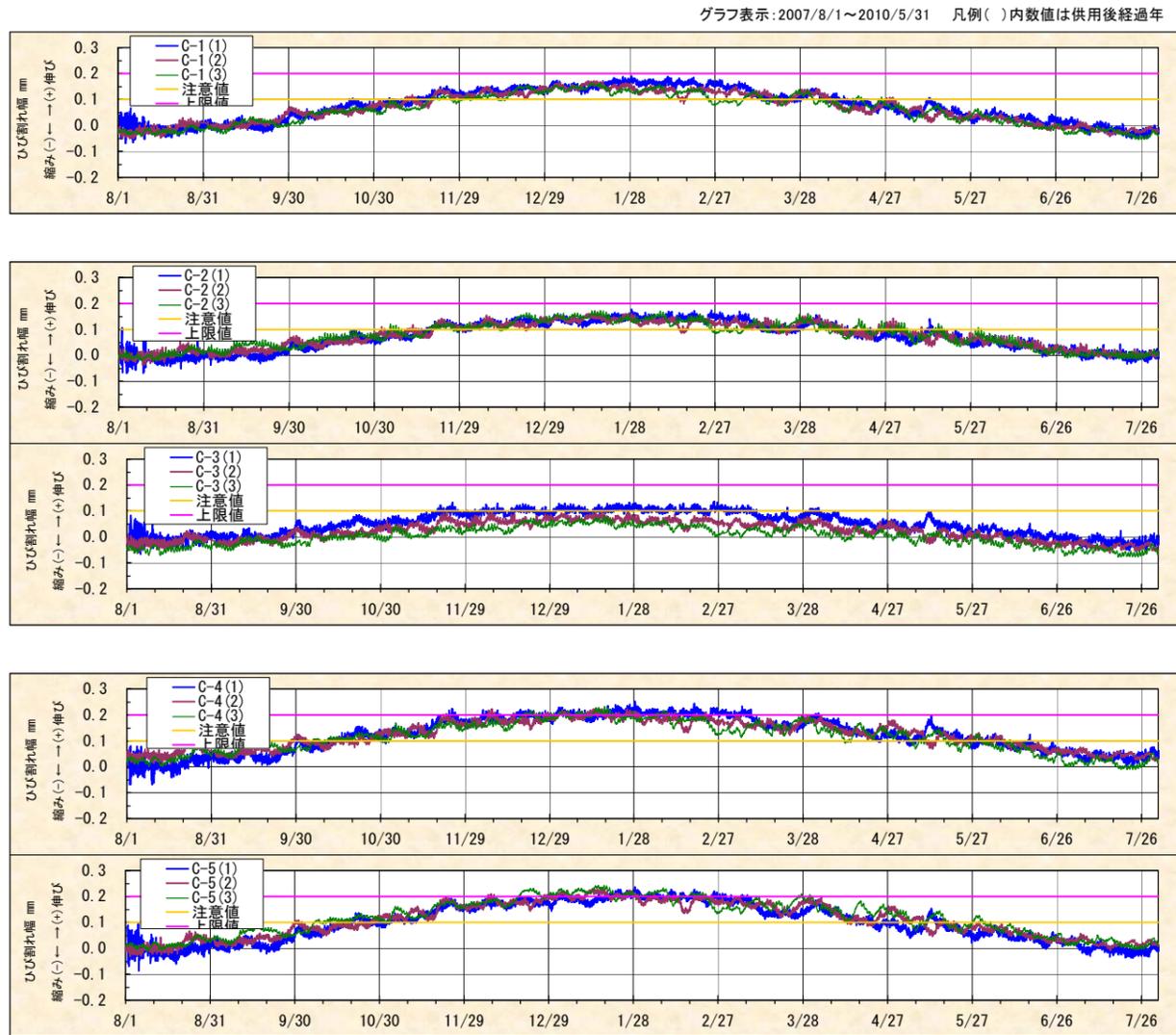
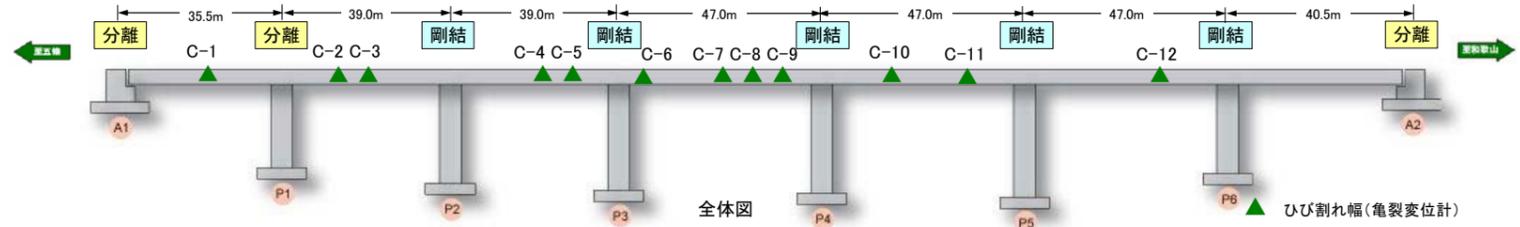
最終計測日時: 2012/5/31 23:00

ひび割れ幅 (mm)	計測データ	計測データ		管理値		備考	
		最終計測値	最小値※	最大値※	注意値		上限値
ひび割れ幅 (亀裂変位計)	A1P1	C-1	左ウェブ	-0.008	-0.075	0.191	0.10 0.20
	P1P2	C-2	左ウェブ	0.068	-0.070	0.204	
		C-3	下床版	-0.015	-0.084	0.135	
	P2P3	C-4	下床版	0.110	-0.070	0.266	
		C-5	右ウェブ	0.096	-0.086	0.268	
	P3P4	C-6	左ウェブ	0.028	-0.087	0.176	
		C-7	左ウェブ	0.064	-0.078	0.250	
	P4P5	C-8	下床版	-0.045	-0.105	0.150	
		C-9	右ウェブ	-0.028	-0.101	0.166	
	P5P6	C-10	下床版	0.078	-0.101	0.157	
		C-11	右ウェブ	0.021	-0.067	0.198	
			C-12	左ウェブ	0.061	-0.091	

※左右方向は、起点(A1)側→終点(A2)側に見た方向



④ 垂井高架橋 ひび割れ幅 計測結果



2007.7.30~2007.8.10期間、全測点落雷(7/30)によるノイズ
2008.8.29~2008.9.1期間、全測点欠測

— 供用後1年、— 供用後2年、— 供用後3年

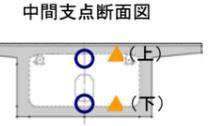
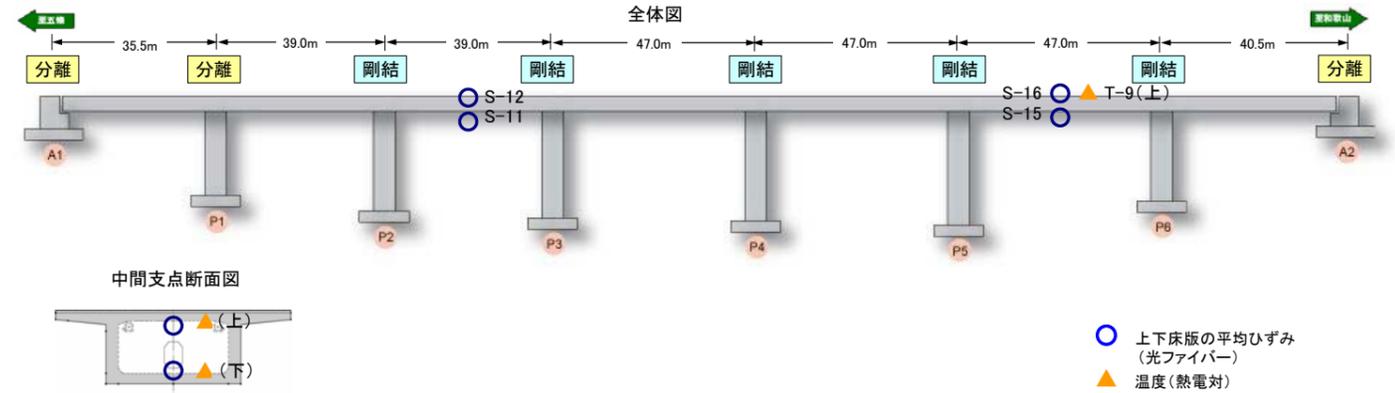
⑤ 垂井高架橋 上下床版平均ひずみ 計測結果

※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値

最終計測日時: 2012/5/31 23:00

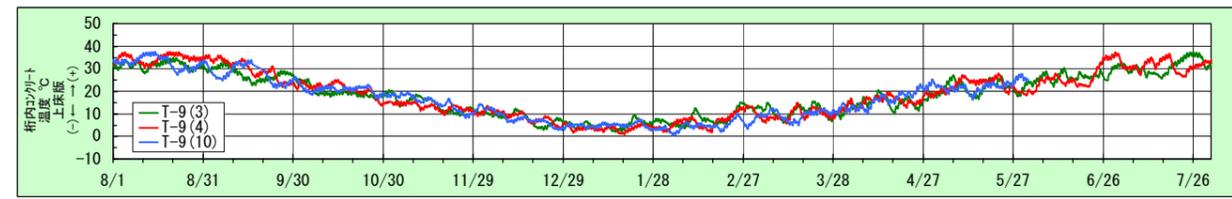
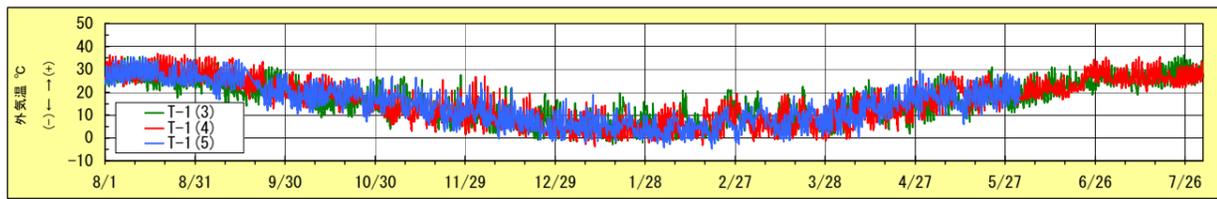
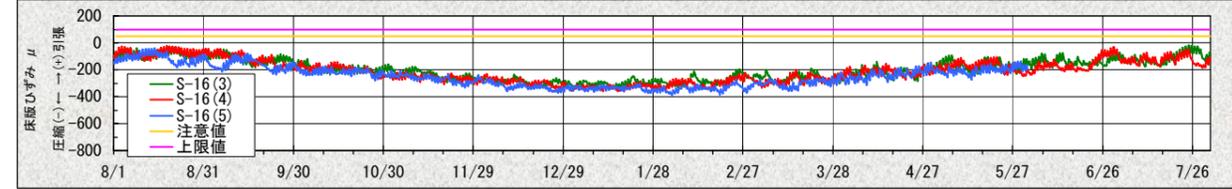
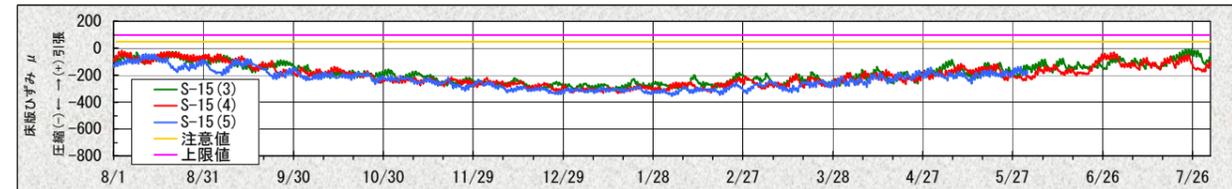
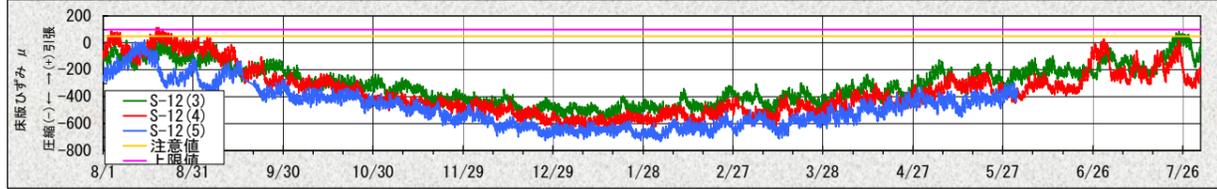
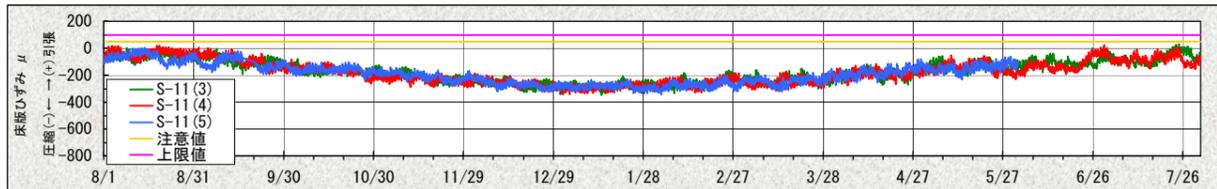
床版のひずみ (μ) (光ファイバー)	P2P3	S-11	下床版上面	計測データ			管理値		備考
				最終計測値	最小値※	最大値※	注意値	上限値	
	P2P3	S-11	下床版上面	-95.6	-345.2	66.6	50	100	
		S-12	上床版下面	-373.7	-732.7	112.6			
	P5P6	S-15	下床版上面	-188.7	-355.4	48.7			
		S-16	上床版下面	-193.5	-389.9	37.0			

平均ひずみ
スポット的なひずみでなく、2mの光ファイバーのひずみであることから、平均ひずみと表現されている



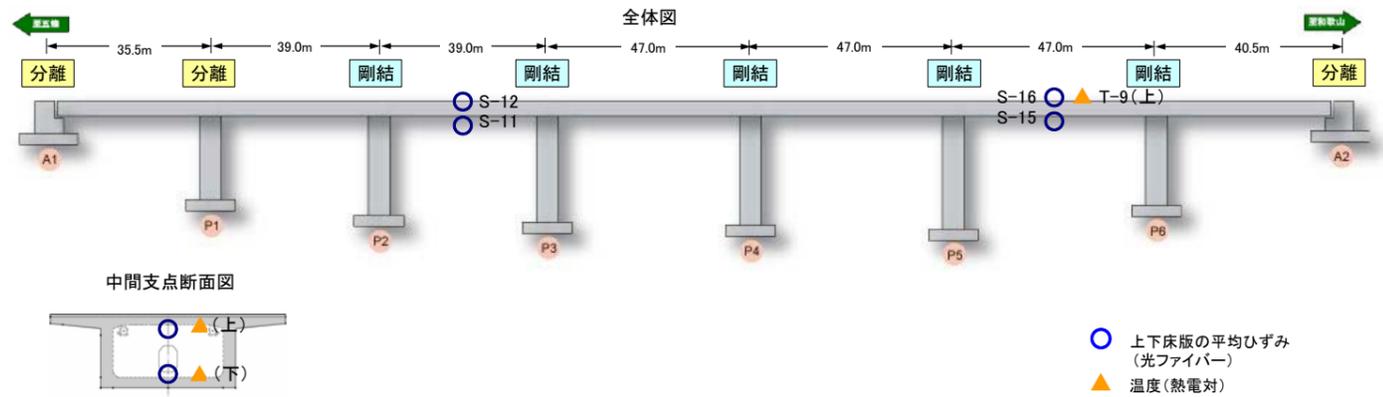
○ 上下床版の平均ひずみ
(光ファイバー)
▲ 温度(熱電対)

グラフ表示: 2009/8/1～2012/5/31 凡例()内数値は供用後経過年

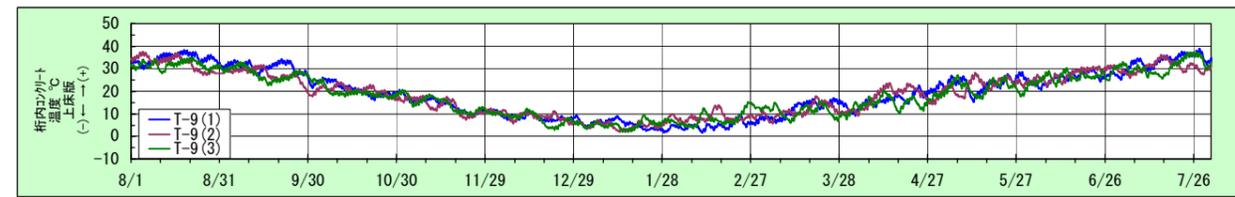
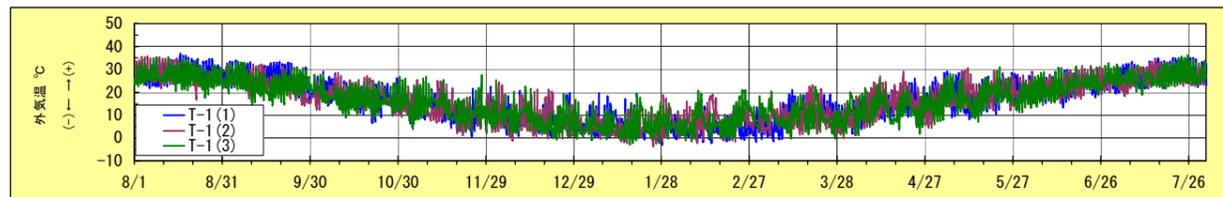
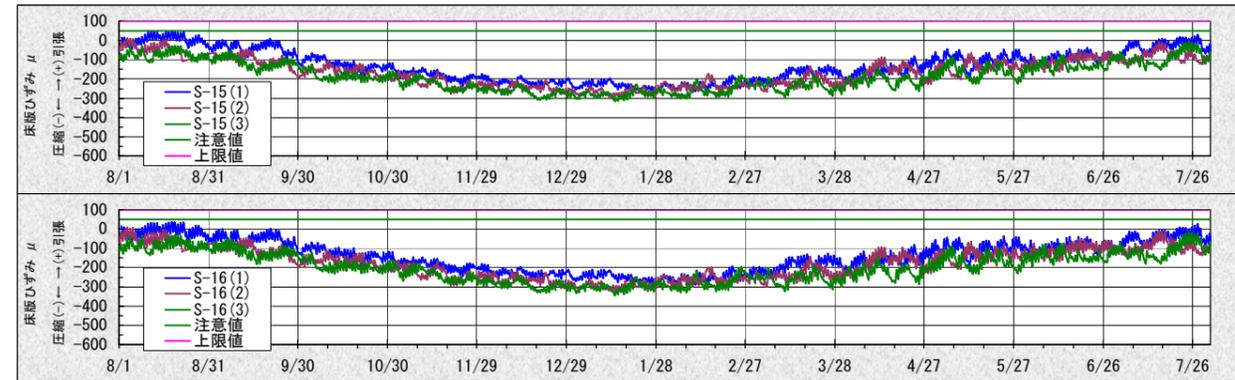
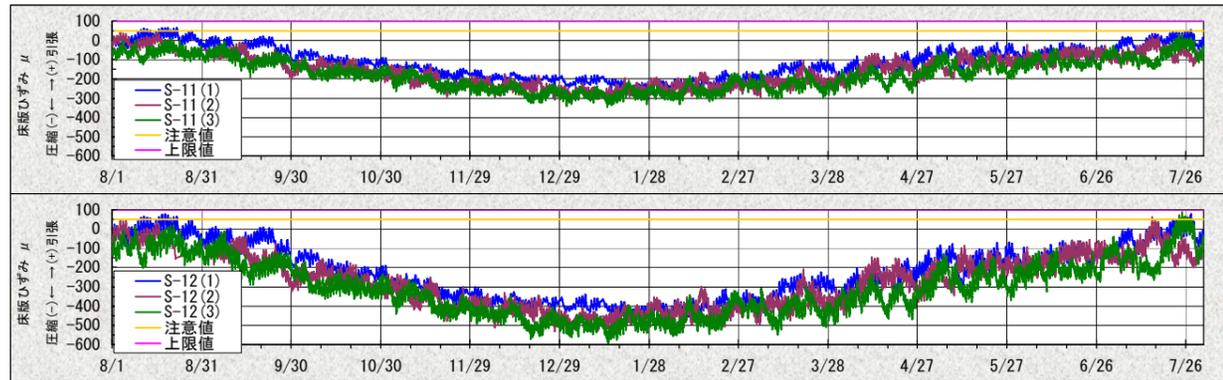


— 供用後3年, — 供用後4年, — 供用後5年

⑤ 垂井高架橋 上下床版平均ひずみ 計測結果



グラフ表示: 2007/8/1~2010/5/31 凡例()内数値は供用後経過年



2008.8.22~2008.9.1期間、全測点欠測

— 供用後1年、— 供用後2年、— 供用後3年

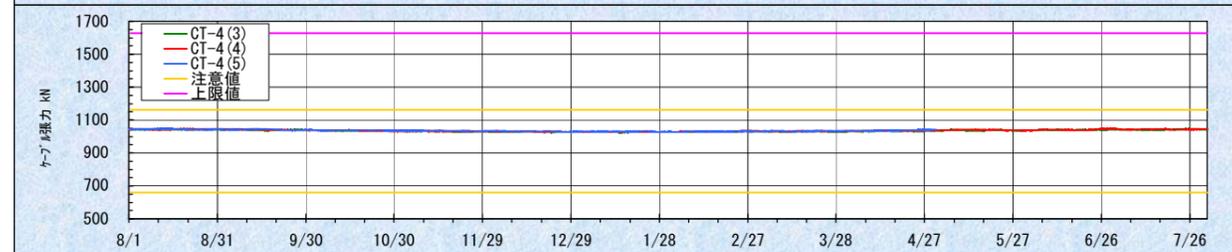
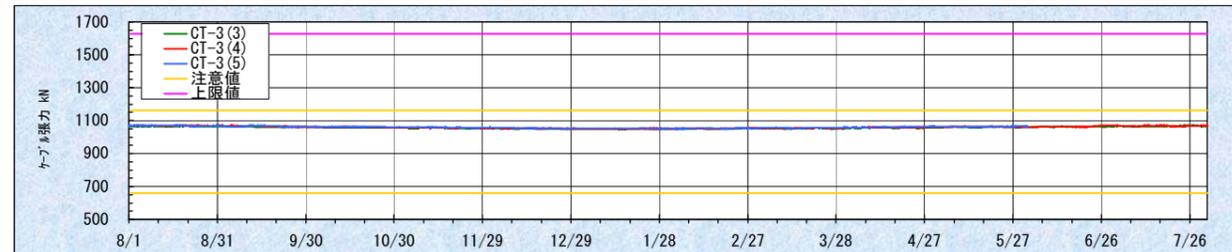
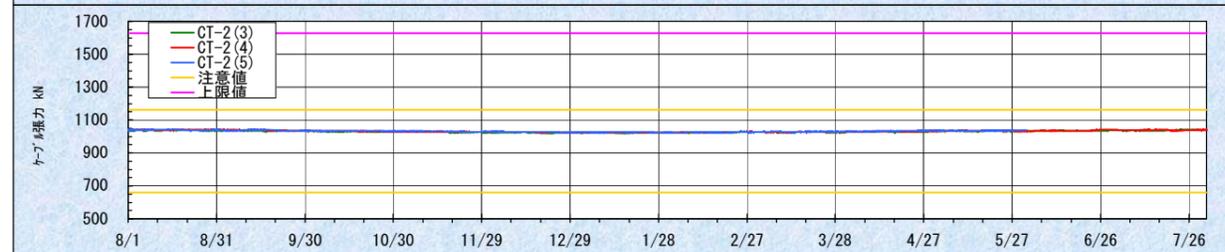
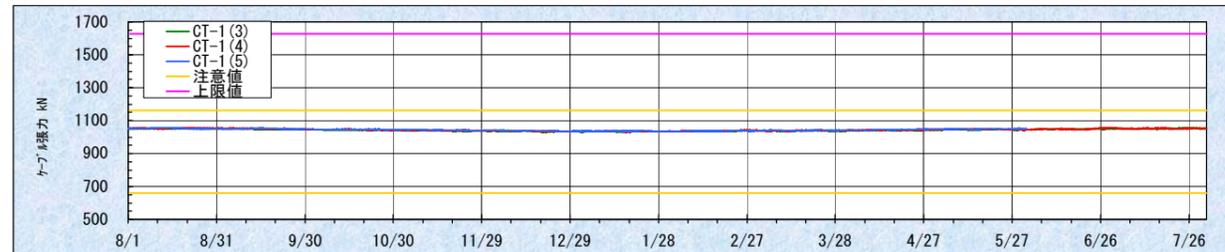
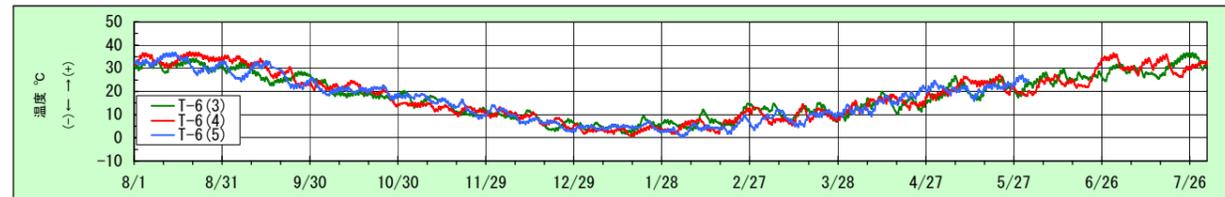
⑥ 垂井高架橋 外ケーブル張力 計測結果

※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値

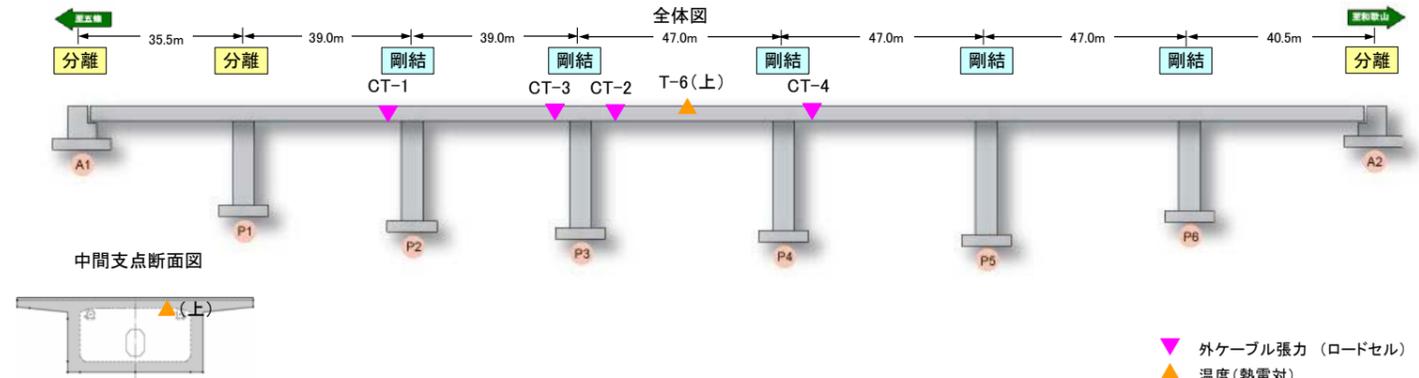
最終計測日時: 2012/5/31 23:00

		計測データ	計測データ			管理値			備考
			最終計測値	最小値※	最大値※	下限注意値	上限注意値	上限値	
外ケーブル張力 (kN) (ロードセル)	P2P3	CT-1	1051	1027	1074	660	1163	1628	
		CT-2	1037	1017	1058				
	P3P4	CT-3	1066	1043	1087				
		CT-4	1041	1024	1066				

グラフ表示: 2009/8/1～2012/5/31 凡例()内数値は供用後経過年

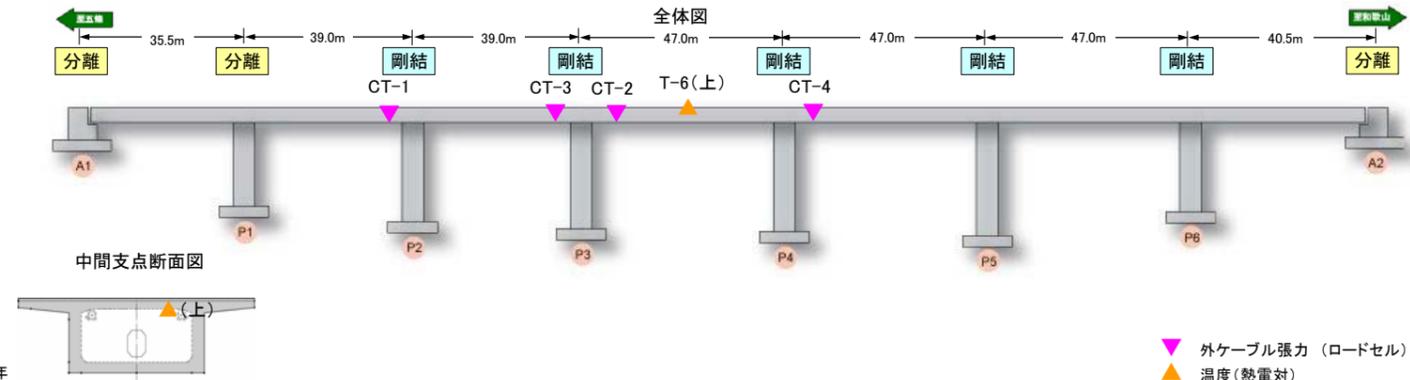


— 供用後3年, — 供用後4年, — 供用後5年

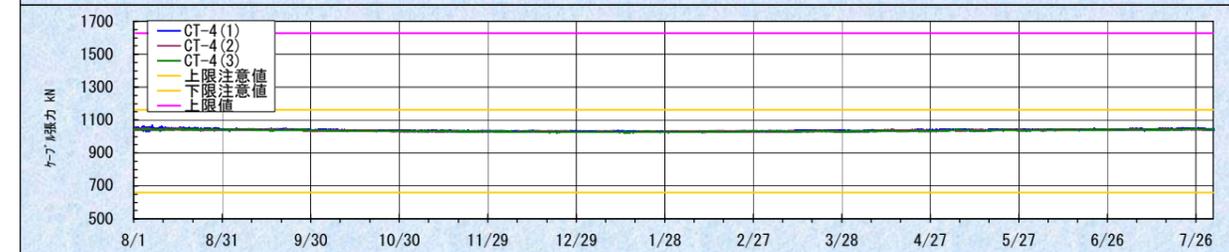
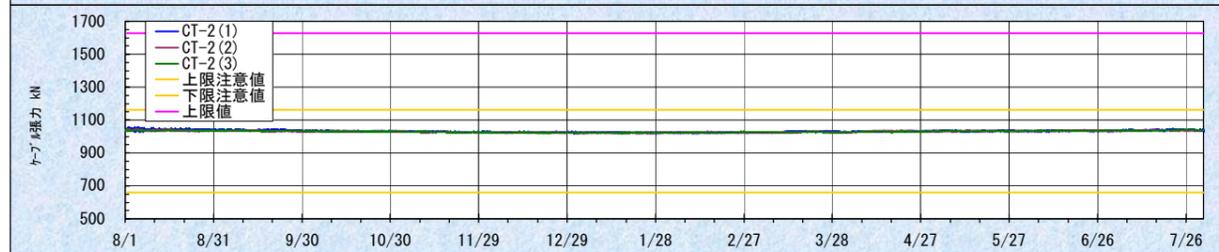
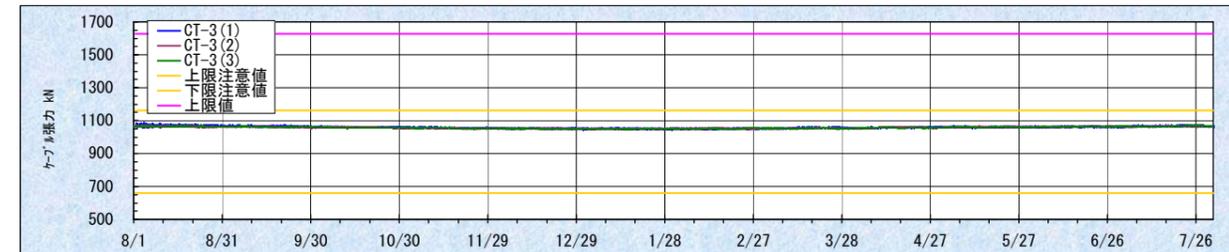
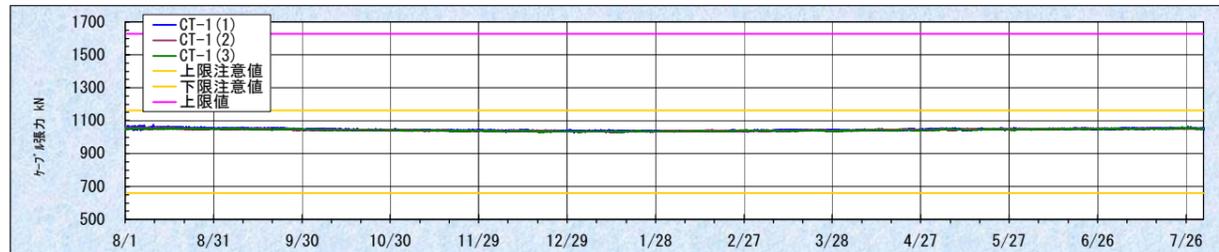
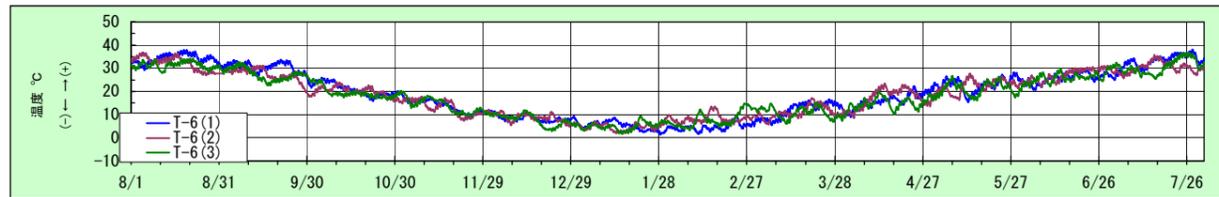


▼ 外ケーブル張力 (ロードセル)
▲ 温度 (熱電対)

⑥ 垂井高架橋 外ケーブル張力 計測結果



グラフ表示: 2007/8/1~2010/5/31 凡例()内数値は供用後経過年



2008.8.29~2008.9.1期間、全測点欠測

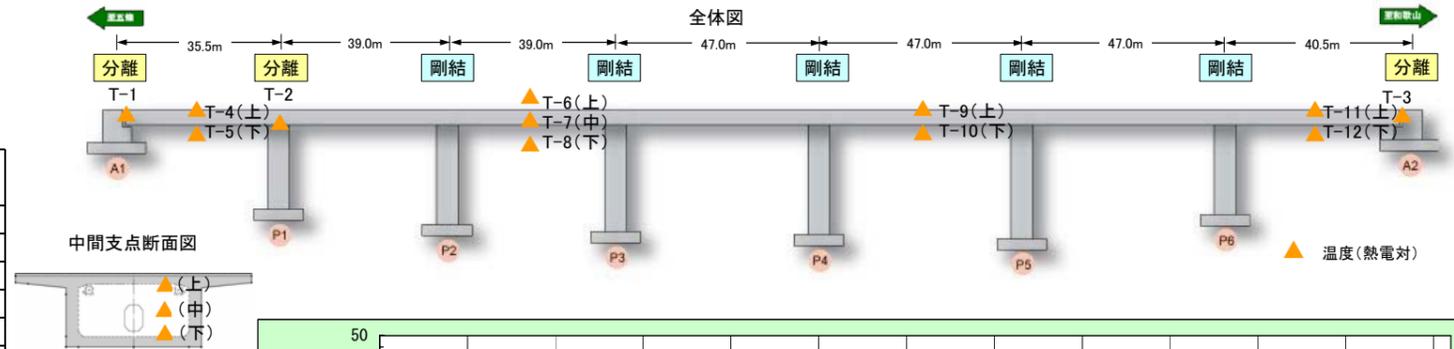
— 供用後1年、— 供用後2年、— 供用後3年

⑦ 垂井高架橋 桁内外の温度 計測結果

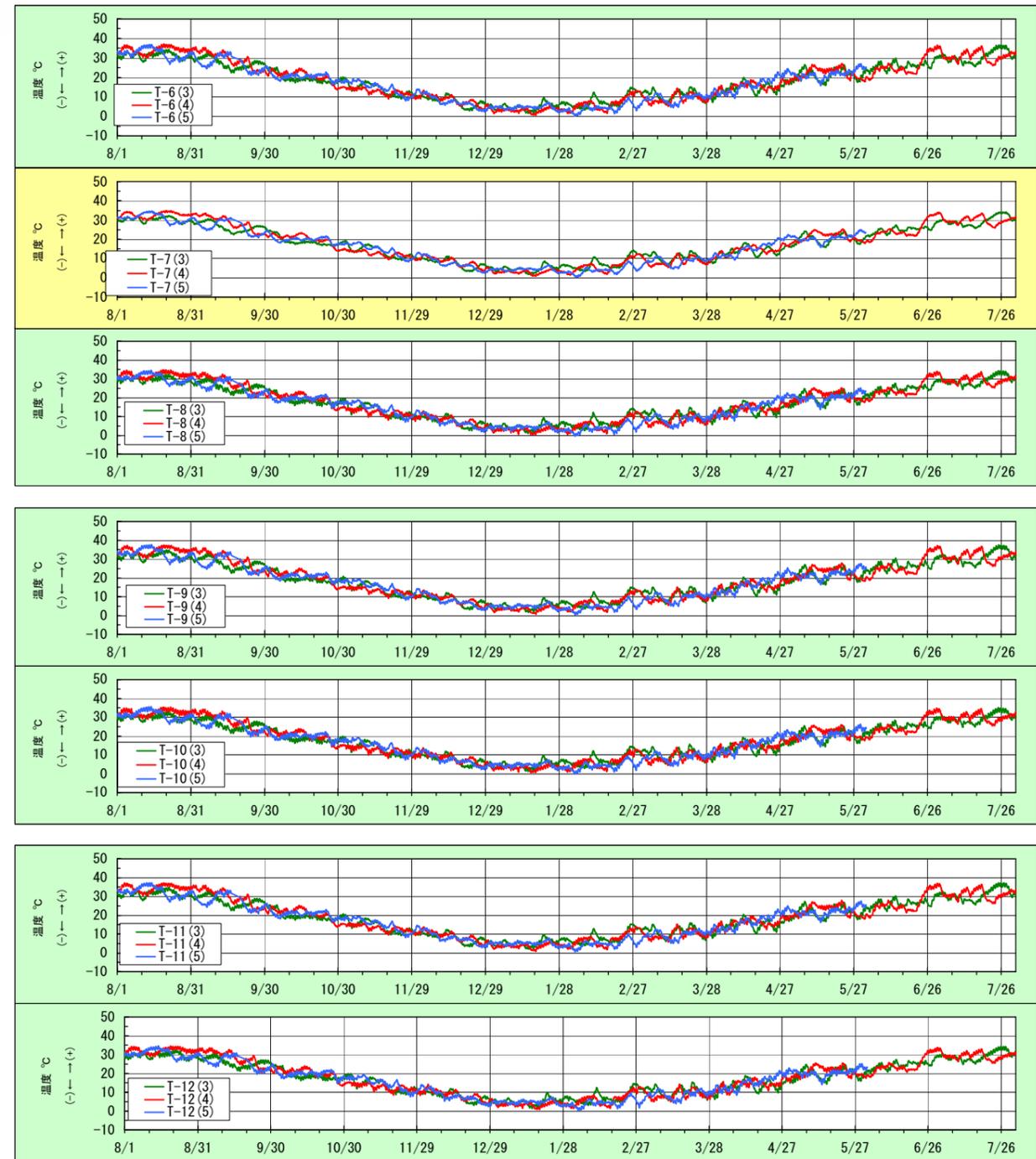
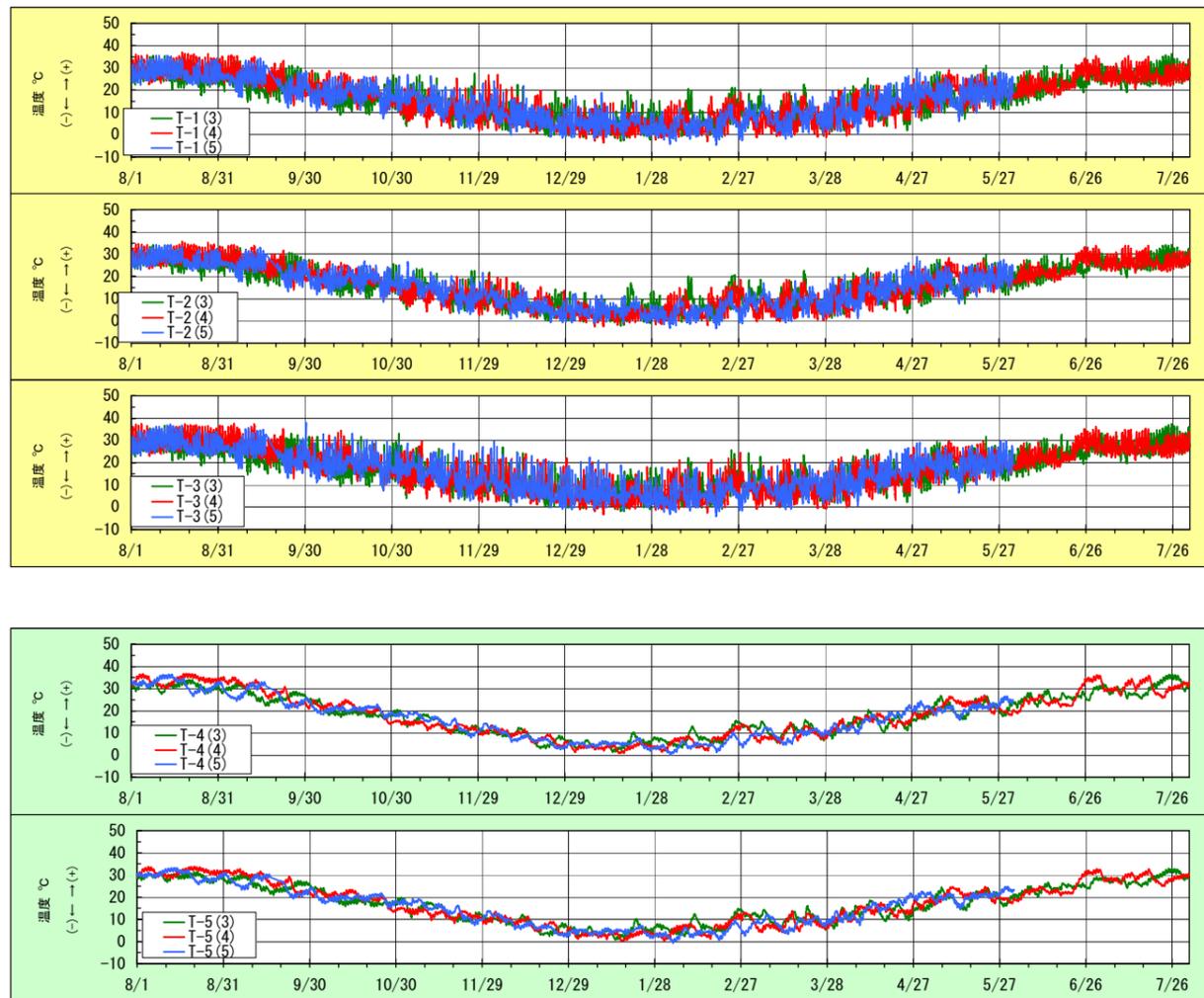
※2007/8/1～2012/5/31の最大値、最小値

最終計測日時: 2012/5/31 23:00

桁内外の温度 (°C)	位置	ID	計測データ			備考	
			最終計測値	最小値	最大値		
桁内外温度	支承温度	T-1	A1	18.4	-4.7	36.9	外気温
		T-2	P1	18.6	-3.3	36.4	外気温
		T-3	A2	18.6	-4.2	38.0	外気温
	桁内温度	T-4	上床版下面	24.8	0.3	37.5	桁内温度
		T-5	下床版上面	23.1	-0.7	34.9	
		T-6	上床版下面	25.2	0.4	38.2	
		T-7	中間隔壁	23.6	0.5	35.6	
		T-8	下床版上面	23.3	-0.5	35.5	
		T-9	上床版下面	25.5	0.5	38.9	
		T-10	下床版上面	24.0	-0.3	36.5	
		T-11	上床版下面	25.2	0.6	38.4	
		T-12	下床版上面	23.0	0.1	35.0	

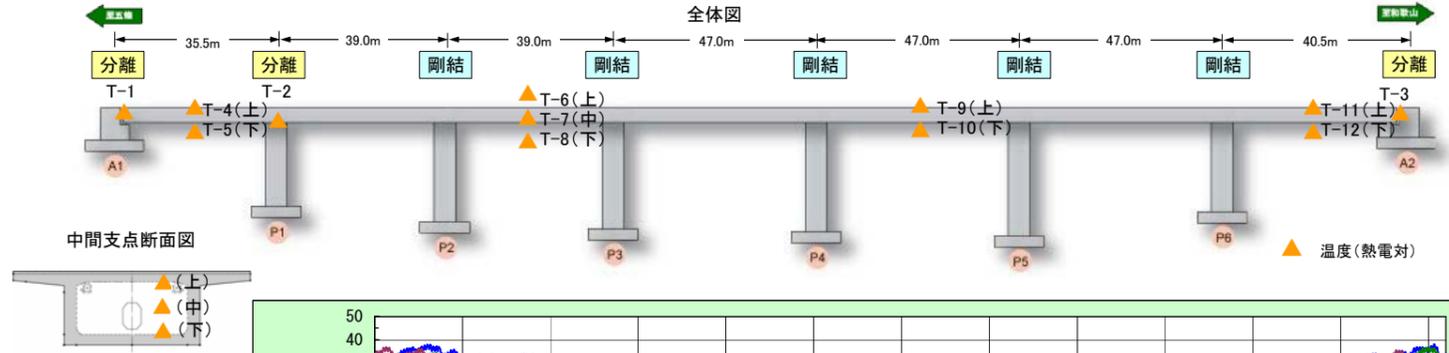


グラフ表示: 2009/8/1～2012/5/31 凡例()内数値は供用後経過年

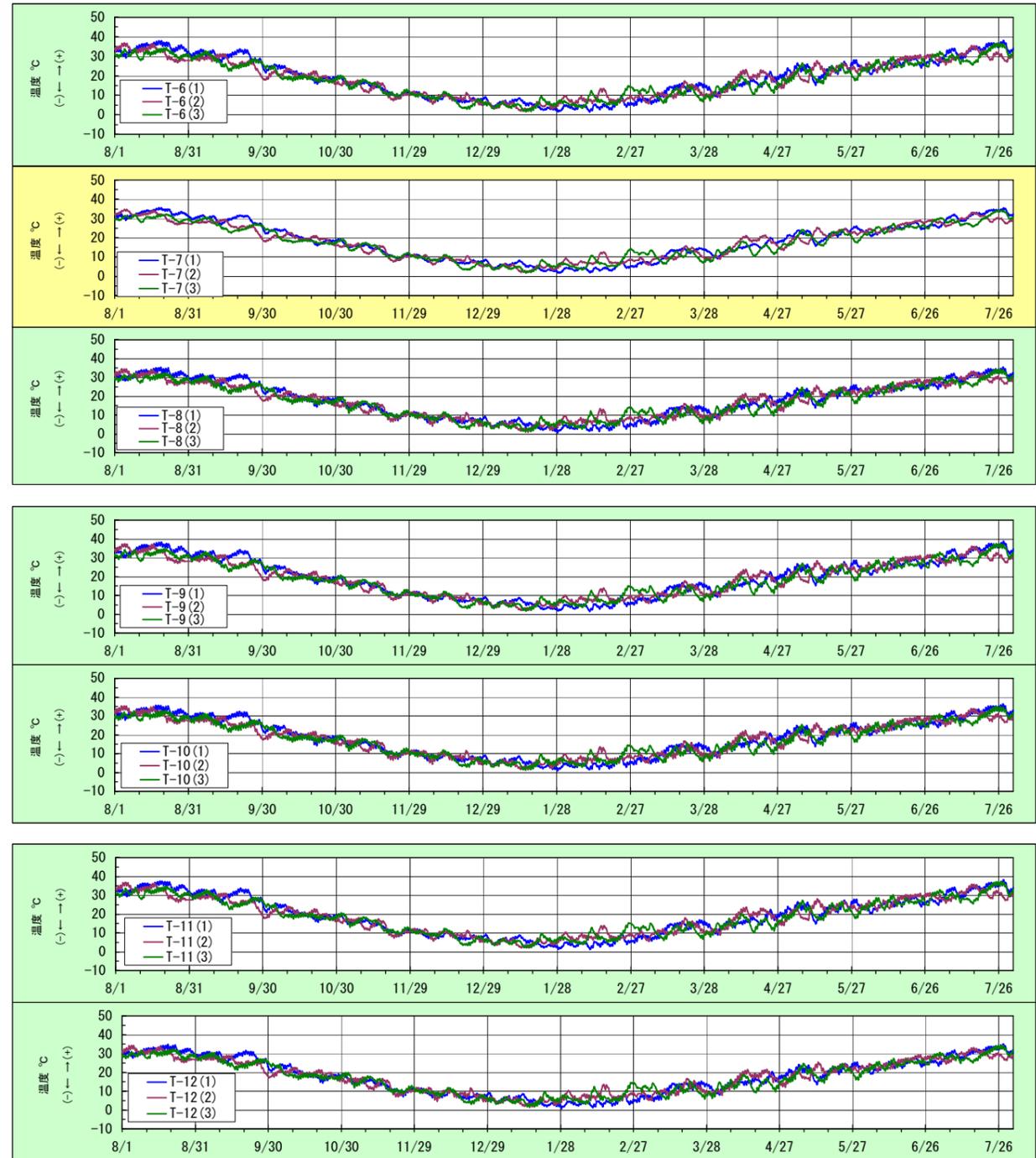
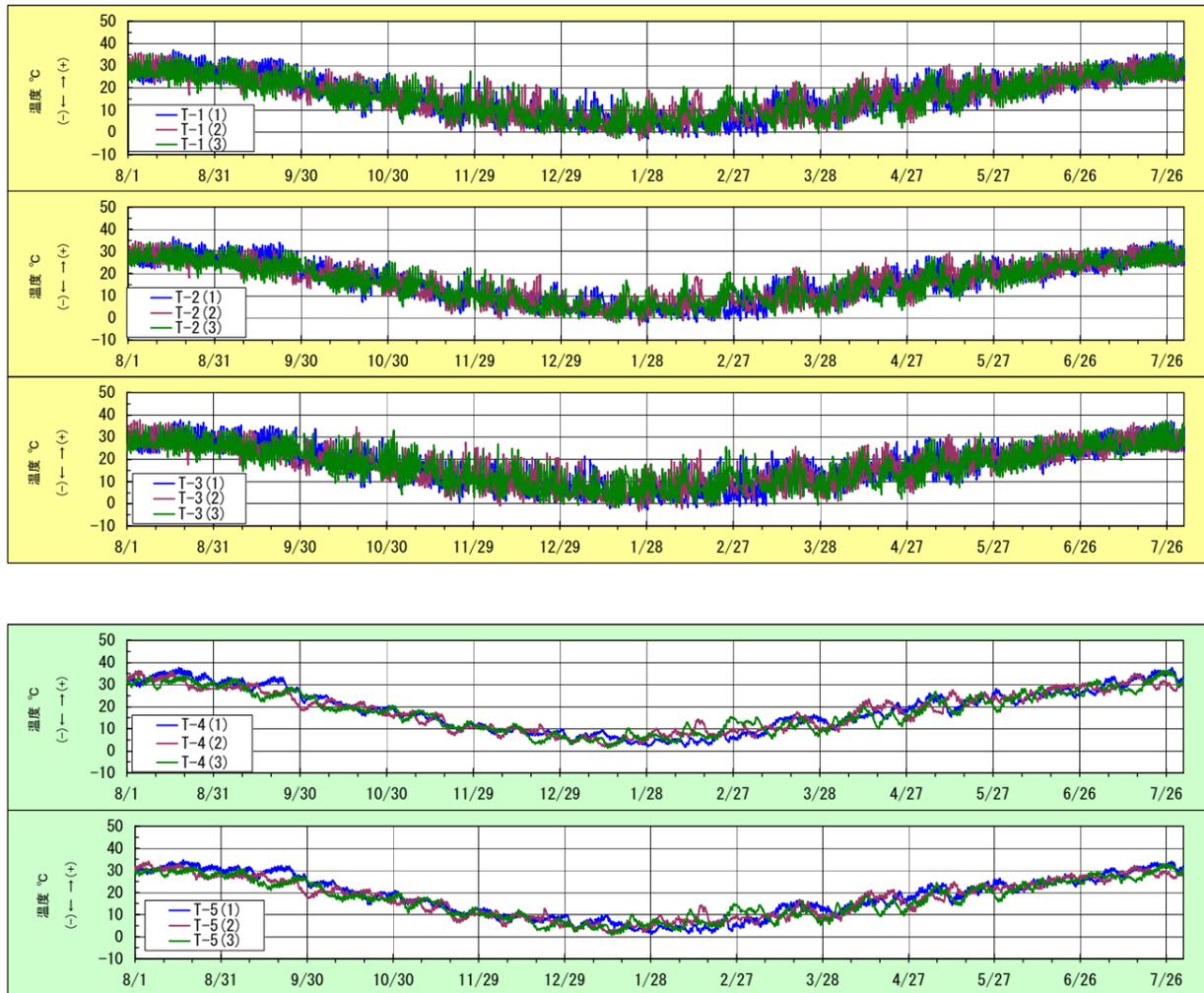


— 供用後3年, — 供用後4年, — 供用後5年

⑦ 垂井高架橋 桁内外の温度 計測結果



グラフ表示: 2007/8/1~2010/5/31 凡例()内数値は供用後経過年



2008.8.29~2008.9.1期間、全測点欠測

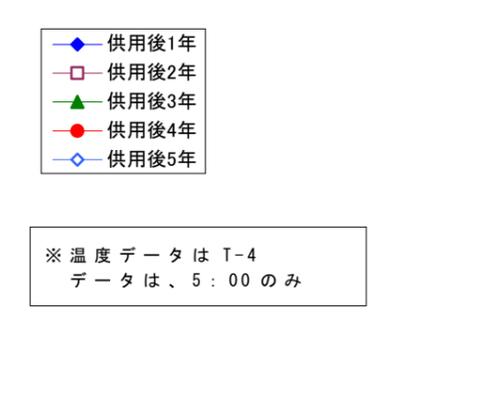
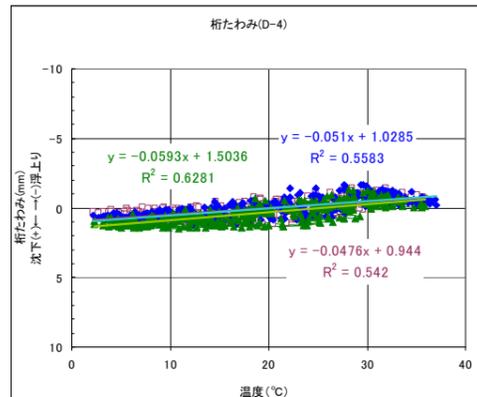
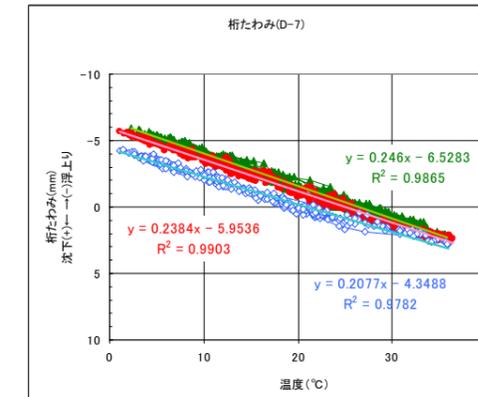
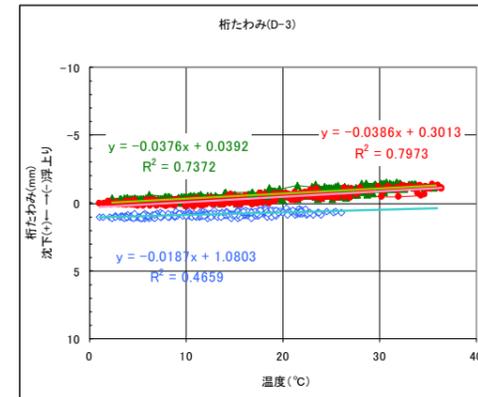
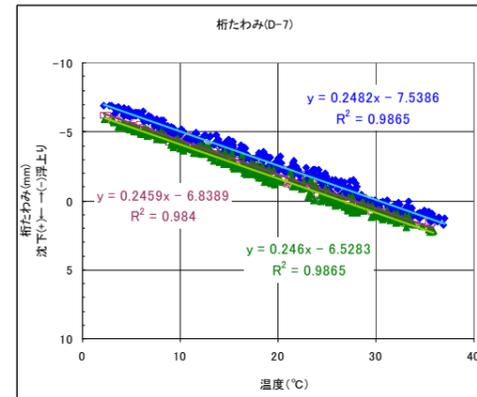
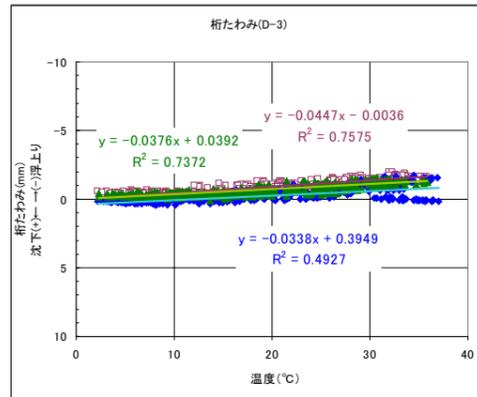
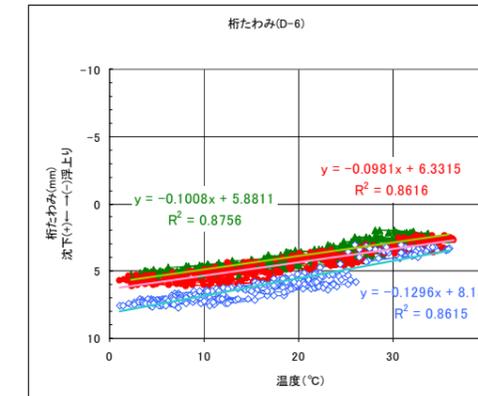
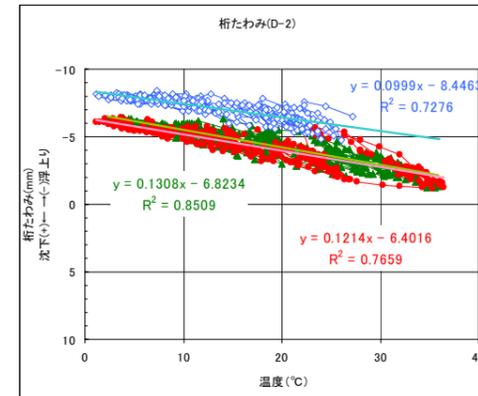
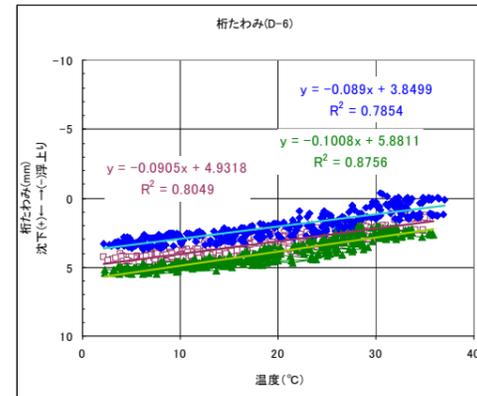
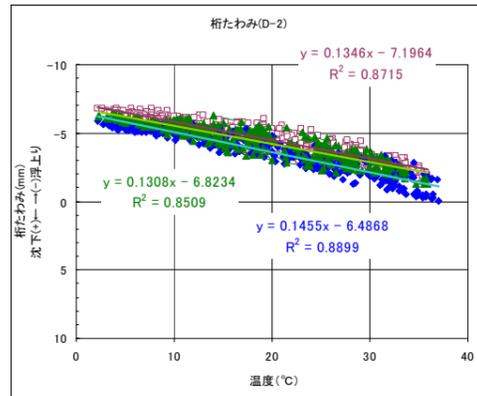
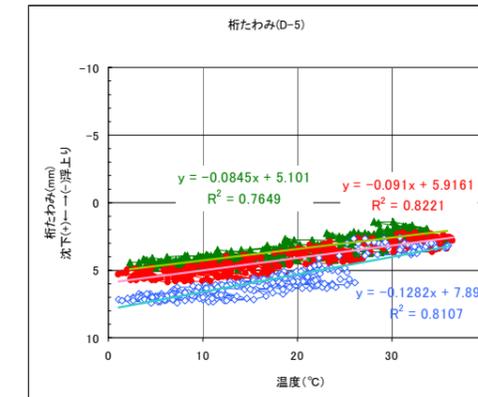
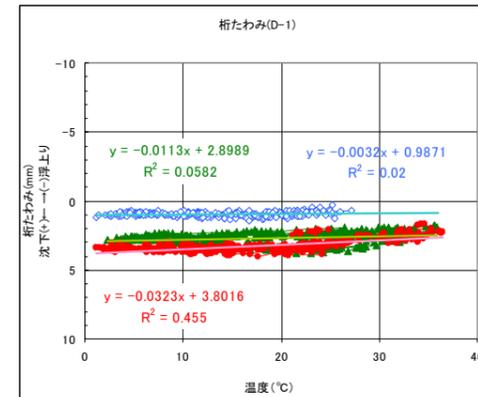
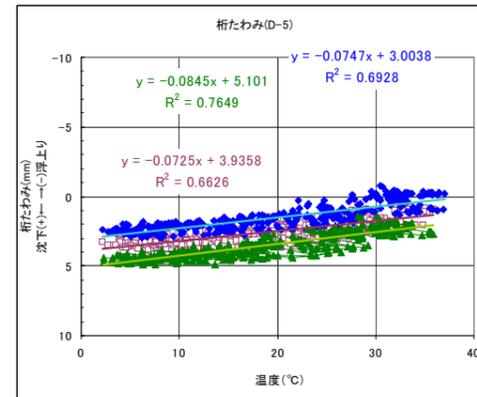
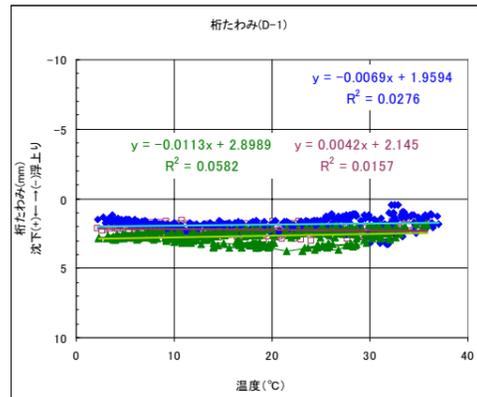
— 供用後1年、— 供用後2年、— 供用後3年

計測データ分析結果

温度－桁たわみ相関関係図

供用後 1 年～3 年 (2007/8/1～2010/7/31)

供用後 3 年～5 年 (2009/8/1～2012/5/31)



- ◆ 供用後1年
- 供用後2年
- ▲ 供用後3年
- 供用後4年
- ◇ 供用後5年

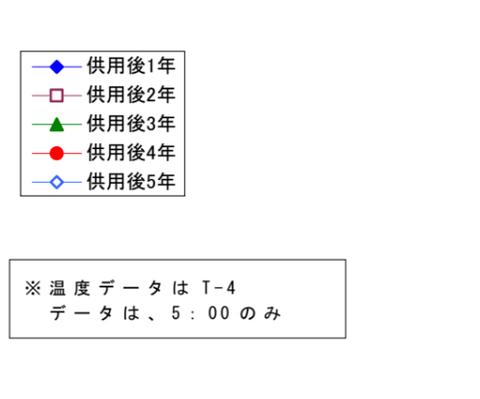
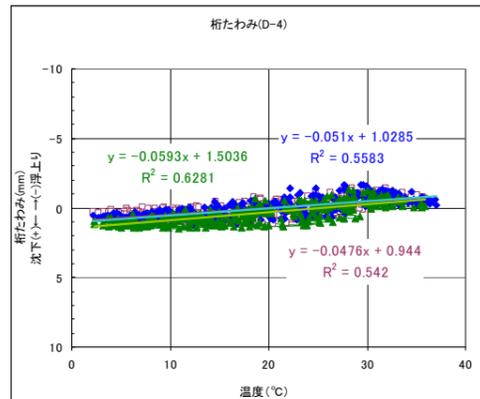
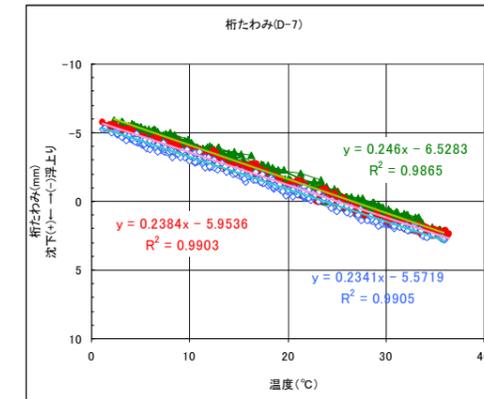
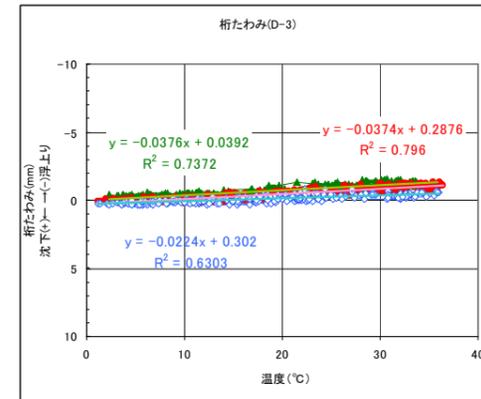
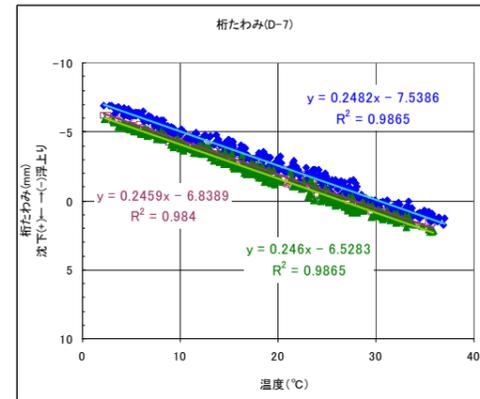
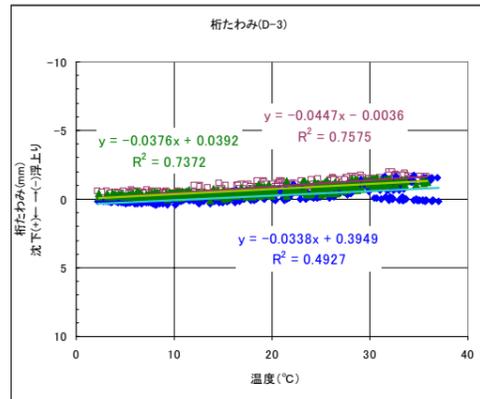
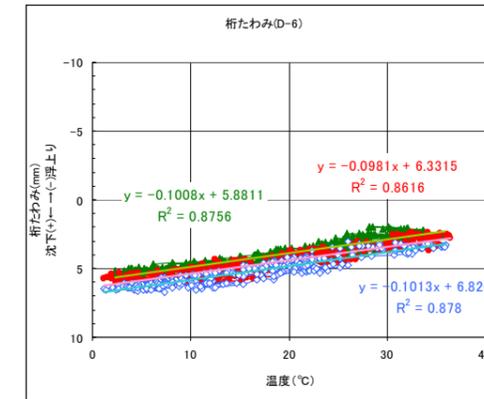
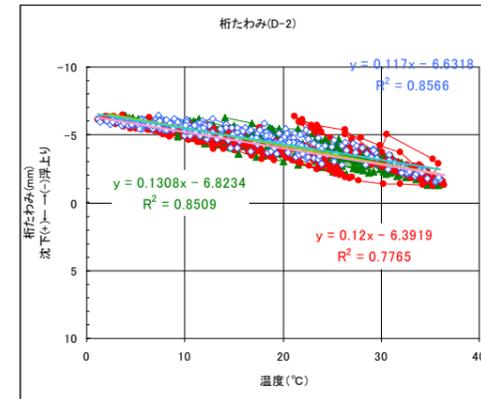
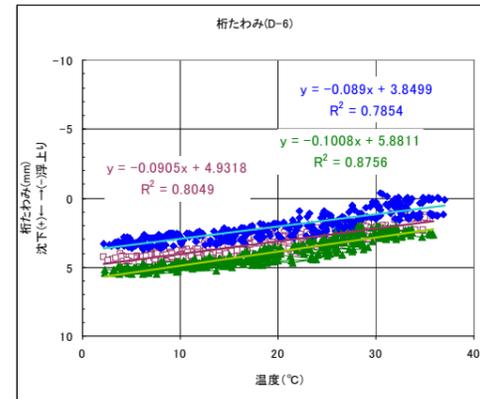
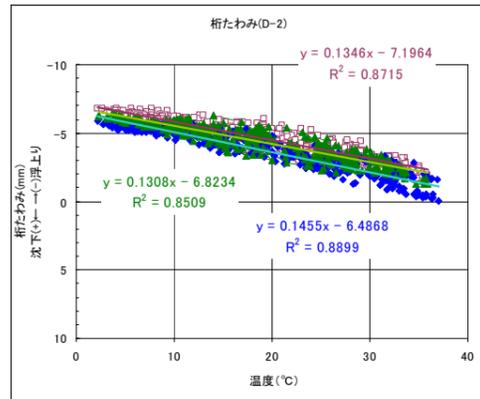
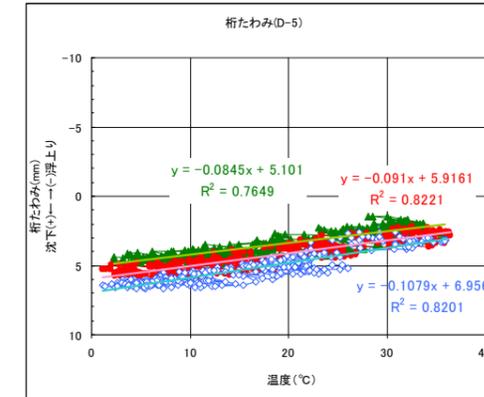
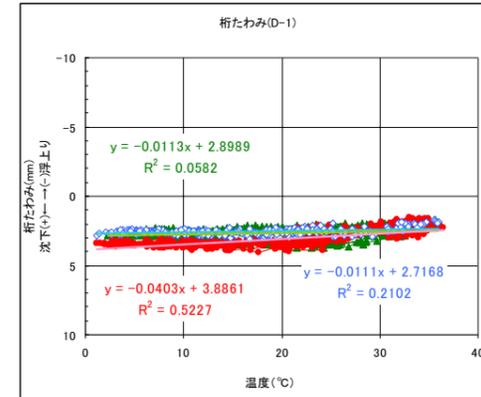
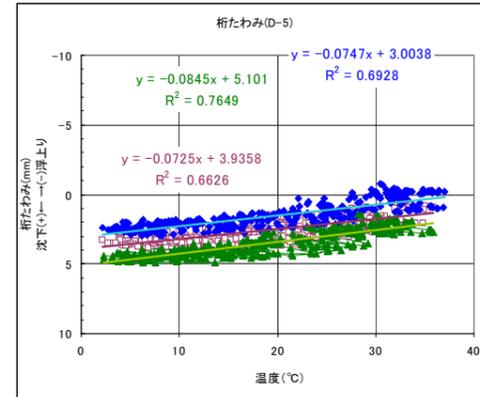
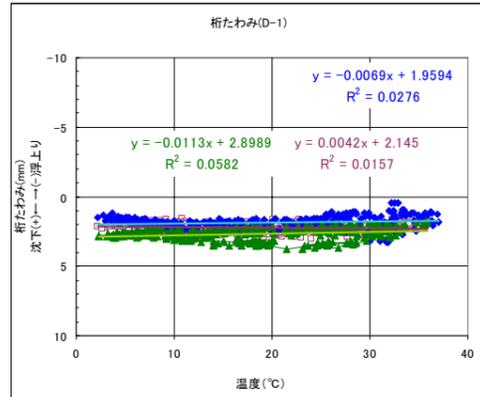
※ 温度データは T-4
データは、5 : 00 のみ

※ 水タンク故障時、計測器メンテナンス時のデータは除く
ポンプを交換した場合、流量に若干違いがでるため、更新後は計測値に 1～2mm 程度の変動がみられた。

温度-桁たわみ相関関係図 (補正後)

供用後 1年～3年 (2007/8/1～2010/7/31)

供用後 3年～5年 (2009/8/1～2012/5/31)



- ◆ 供用後1年
- 供用後2年
- ▲ 供用後3年
- 供用後4年
- ◇ 供用後5年

※ 温度データは T-4
データは、5:00のみ

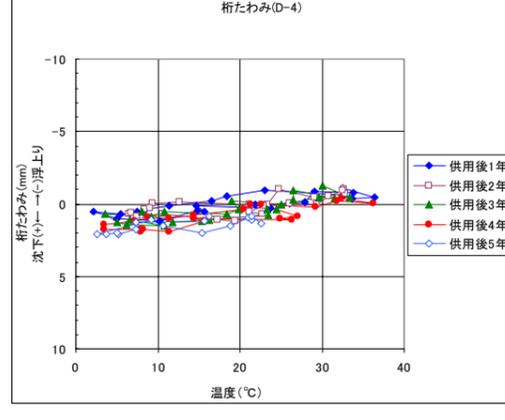
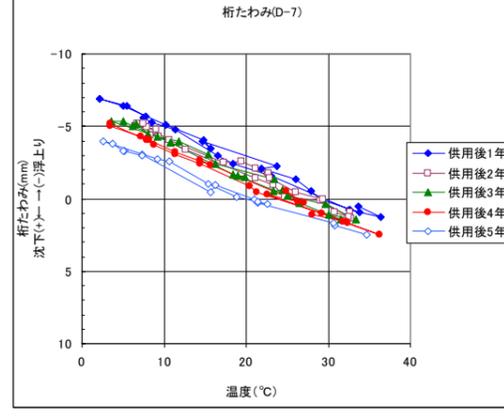
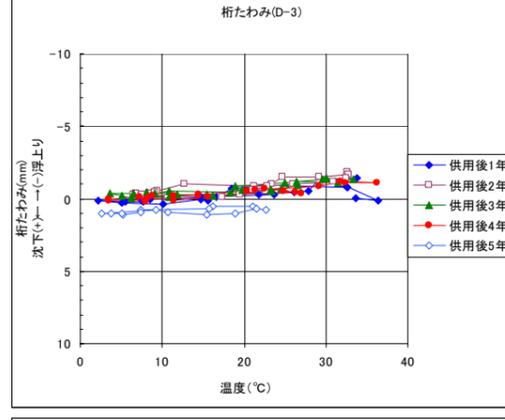
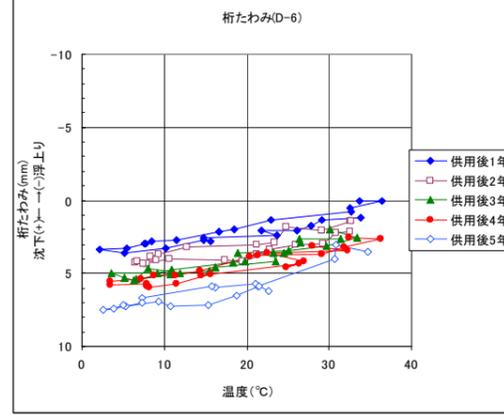
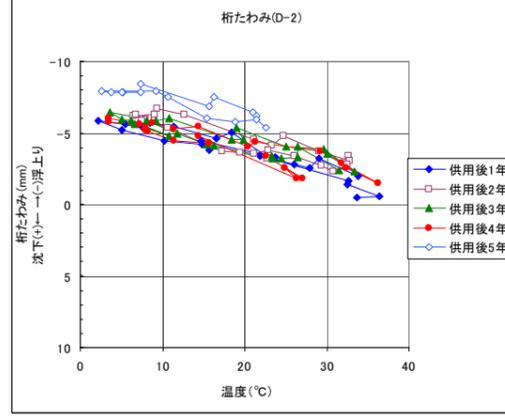
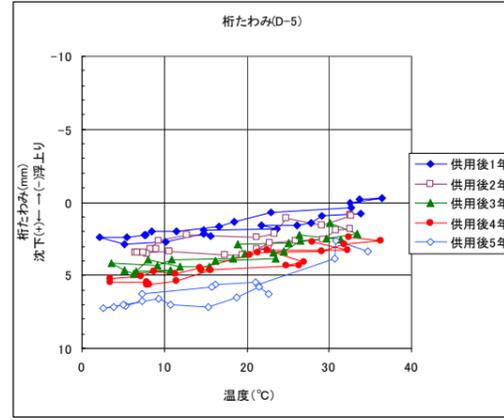
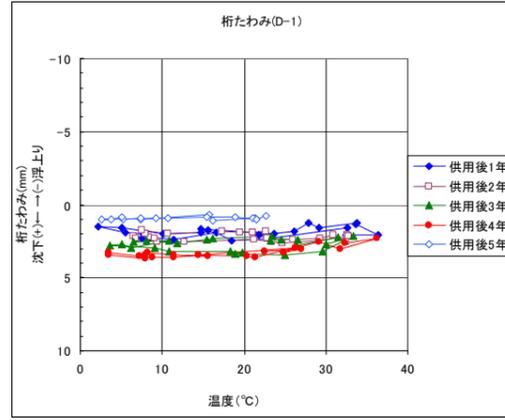
※ 供用後 4年, 5年 は、補正值とする。
補正の方法は、水タンク故障前後等の温度との相関関係を利用して算出した。

温度-桁たわみ 相関係数

	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7
供用後1年	-0.17	0.94	-0.70	-0.75	-0.83	-0.89	0.99
供用後2年	0.13	0.93	-0.87	-0.74	-0.81	-0.90	0.99
供用後3年	-0.24	0.92	-0.86	-0.79	-0.87	-0.94	0.99
供用後4年	-0.72	0.88	-0.89	-0.80	-0.91	-0.93	1.00
供用後5年	-0.46	0.93	-0.79	-0.77	-0.91	-0.94	1.00

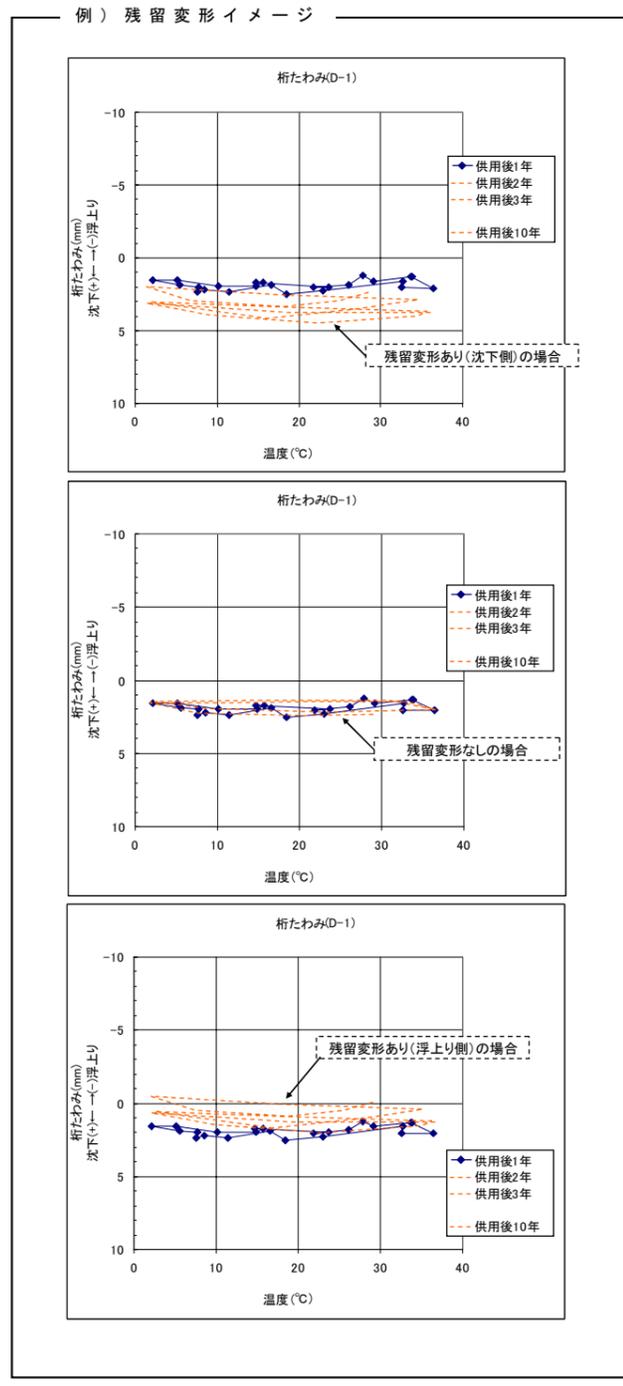
※ 供用後4年, 5年 は桁たわみ補正後の値

温度－桁たわみ分布図（履歴）

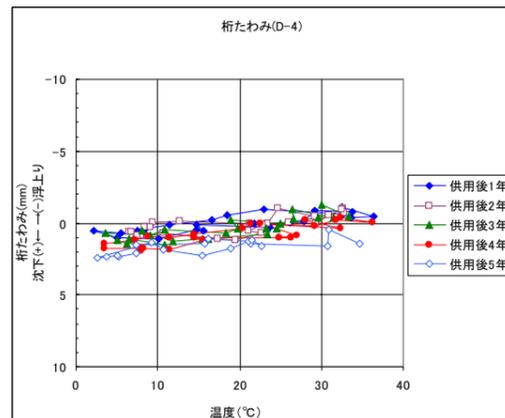
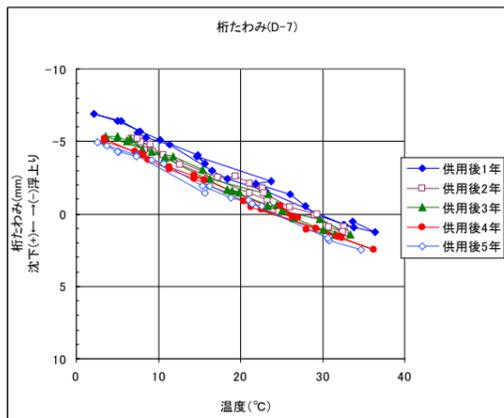
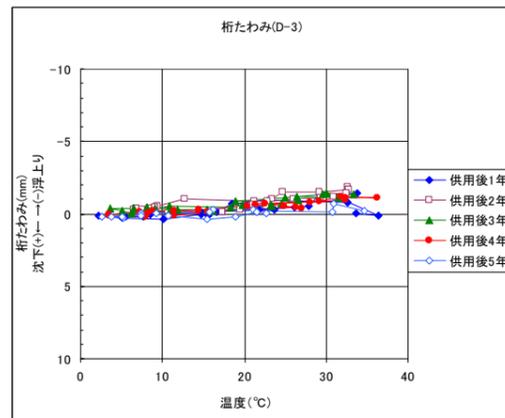
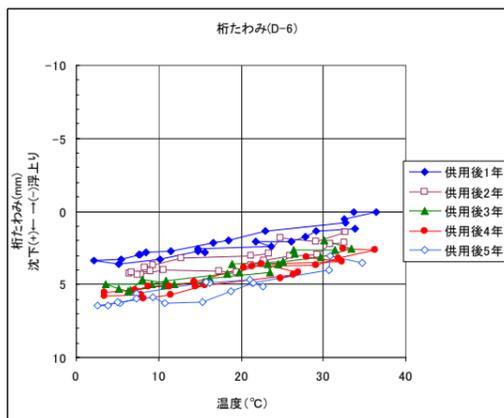
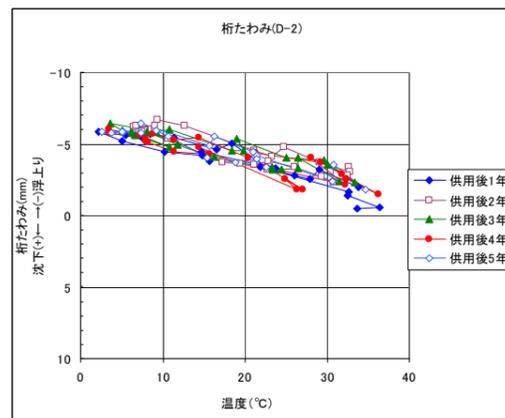
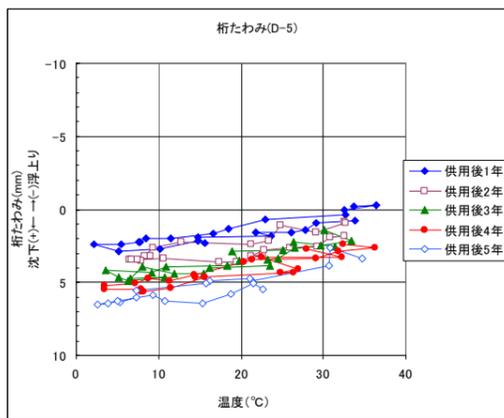
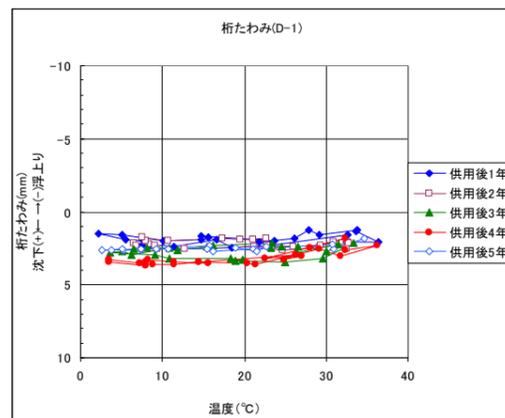


※温度データはT-4を対象とした。
表示データは、2データ/月とした。(10日、20日 5:00のみ)

※水タンク故障時、計測器メンテナンス時のデータは除く
ポンプを交換した場合、流量に若干違いがでてくるため、更新後は計測値に1~2mm程度の変動がみられた。



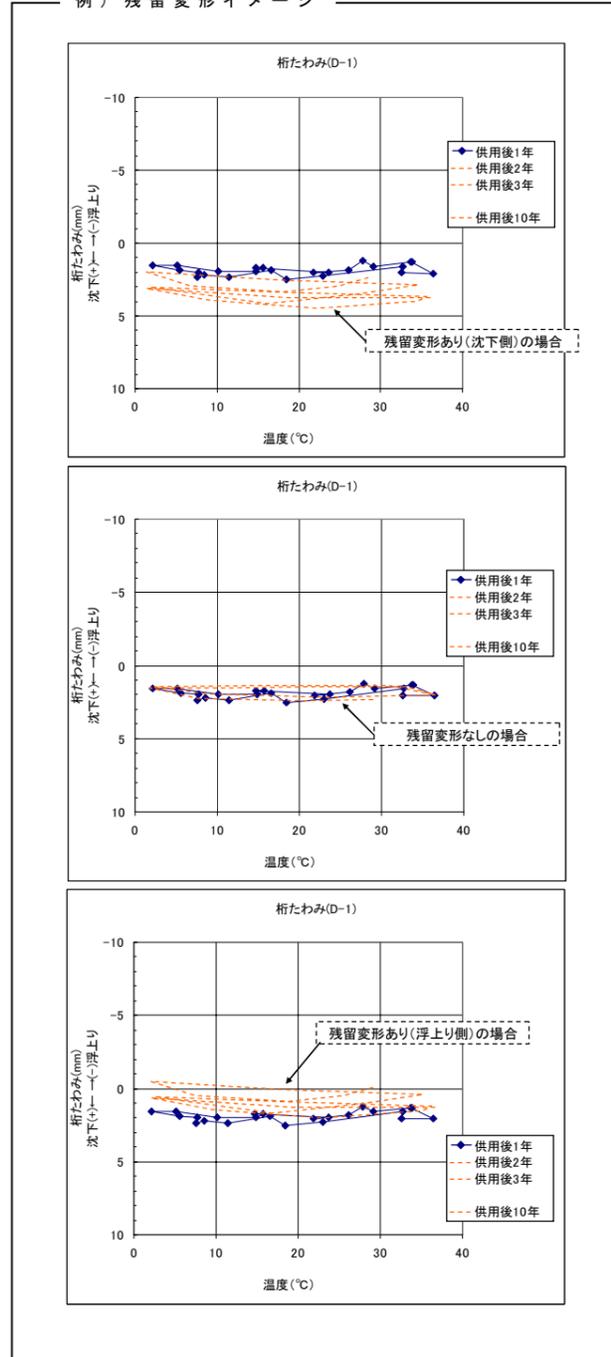
温度－桁たわみ分布図（履歴）補正後



※温度データはT-4を対象とした。
表示データは、2データ/月とした。(10日、20日 5:00のみ)

※供用後4年、5年は、補正值とする。
補正の方法は、水タンク故障前後等の温度との相関関係を利用して算出した。

例) 残留変形イメージ



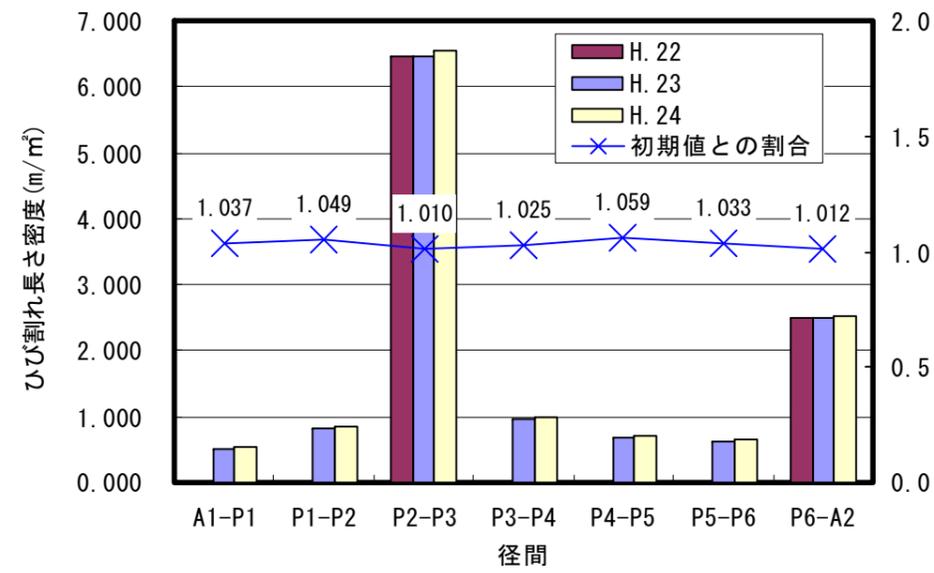
定期点検結果

ひび割れ分析結果

1 径間ごとの比較

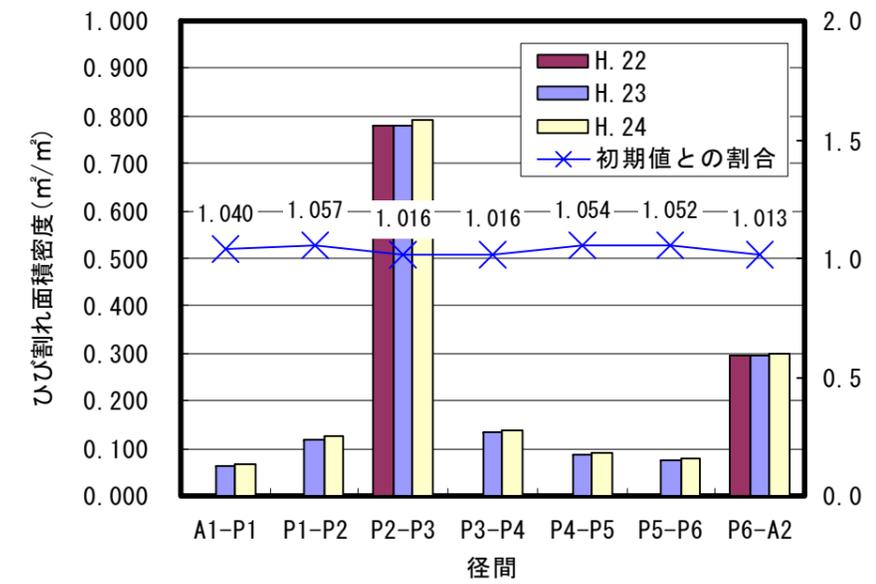
②ひび割れ長さ密度

	ひび割れ長さ密度			初期値との割合	前年度との割合
	H. 22	H. 23	H. 24		
A1-P1	-	0.519	0.538	1.037	1.037
P1-P2	-	0.816	0.856	1.049	1.049
P2-P3	6.474	6.466	6.537	1.010	1.011
P3-P4	-	0.954	0.978	1.025	1.025
P4-P5	-	0.677	0.717	1.059	1.059
P5-P6	-	0.637	0.658	1.033	1.033
P6-A2	2.503	2.502	2.534	1.012	1.013



③ひび割れ面積密度

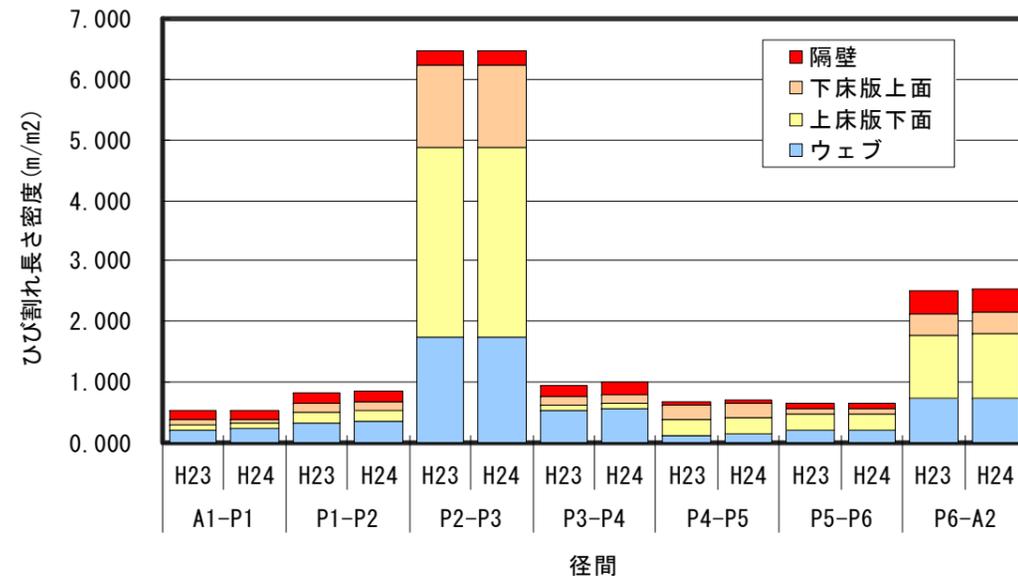
	ひび割れ面積密度			初期値との割合	前年度との割合
	H. 22	H. 23	H. 24		
A1-P1	-	0.063	0.066	1.040	1.040
P1-P2	-	0.118	0.124	1.057	1.057
P2-P3	0.778	0.780	0.791	1.016	1.014
P3-P4	-	0.135	0.137	1.016	1.016
P4-P5	-	0.087	0.092	1.054	1.054
P5-P6	-	0.075	0.079	1.052	1.052
P6-A2	0.296	0.297	0.300	1.013	1.012



2 部位ごとの比較

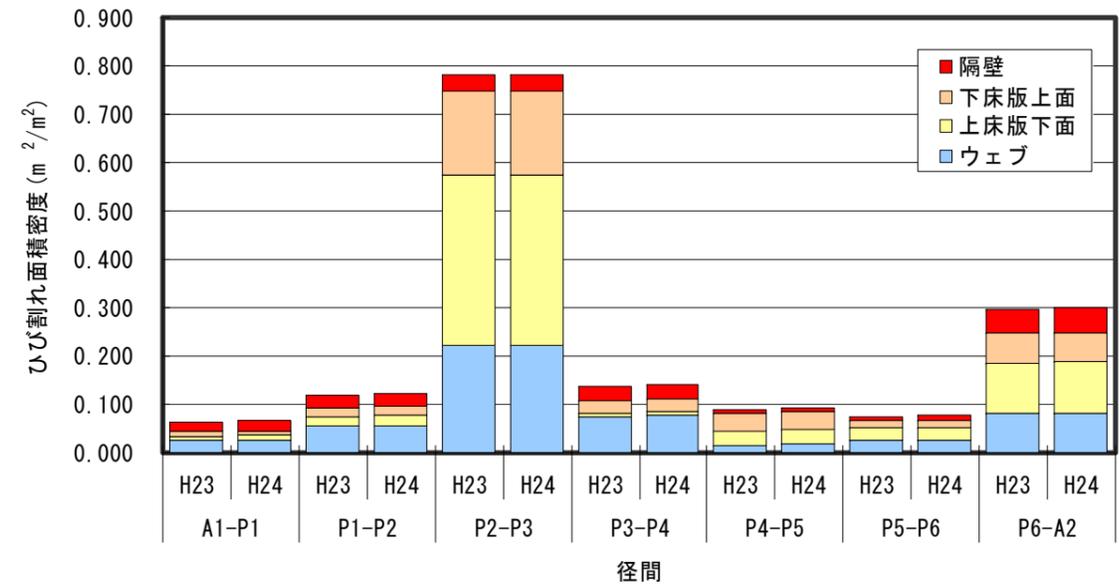
②ひび割れ長さ密度

径間	年度	ウェブ		上床版下面		下床版上面		隔壁		総密度 (m/m ²)
		長さ密度 (m/m ²)	総長さ密度に対する割合%							
A1-P1	H23	0.221	43	0.087	17	0.074	14	0.137	26	0.519
	H24	0.225	42	0.087	16	0.074	14	0.152	28	0.538
	差 (H24-H23)	0.004	21	0.000	0	0.000	0	0.015	79	0.019
P1-P2	H23	0.338	41	0.176	22	0.129	16	0.173	21	0.816
	H24	0.354	42	0.186	22	0.134	16	0.173	20	0.847
	差 (H24-H23)	0.016	52	0.010	32	0.005	16	0.000	0	0.031
P2-P3	H23	1.742	27	3.129	48	1.348	21	0.247	4	6.466
	H24	1.747	27	3.129	48	1.348	21	0.247	4	6.471
	差 (H24-H23)	0.005	100	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.005
P3-P4	H23	0.533	56	0.073	8	0.168	18	0.180	19	0.954
	H24	0.569	57	0.074	7	0.168	17	0.180	18	0.991
	差 (H24-H23)	0.036	97	0.001	3	0.000	0	0.000	0	0.037
P4-P5	H23	0.112	17	0.277	41	0.242	36	0.046	7	0.677
	H24	0.142	20	0.277	39	0.242	34	0.046	7	0.707
	差 (H24-H23)	0.030	100	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.030
P5-P6	H23	0.217	34	0.250	39	0.098	15	0.072	11	0.637
	H24	0.221	35	0.250	39	0.098	15	0.071	11	0.640
	差 (H24-H23)	0.004	133	0.000	0	0.000	0	-0.001	-33	0.003
P6-A2	H23	0.743	30	1.018	41	0.378	15	0.363	15	2.502
	H24	0.744	29	1.046	41	0.378	15	0.363	14	2.531
	差 (H24-H23)	0.001	3	0.028	97	0.000	0	0.000	0	0.029
差の平均		0.0137		0.0056		0.0007		0.0020		



③ひび割れ面積密度

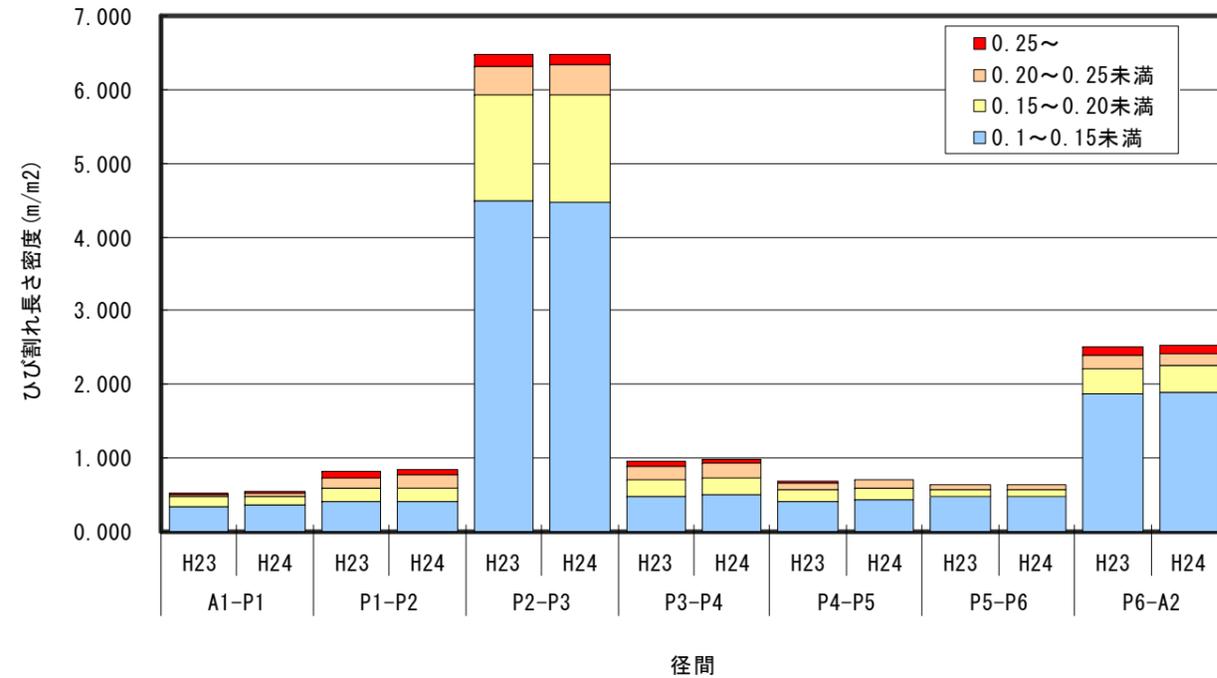
径間	年度	ウェブ		上床版下面		下床版上面		隔壁		総密度 (m ² /m ²)
		面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	
A1-P1	H23	0.026	41	0.009	14	0.009	14	0.020	31	0.063
	H24	0.027	41	0.009	13	0.009	13	0.022	33	0.066
	差 (H24-H23)	0.001	30	0.000	0	0.000	-13	0.002	83	0.003
P1-P2	H23	0.054	46	0.020	17	0.017	15	0.026	22	0.118
	H24	0.057	46	0.021	17	0.018	15	0.026	21	0.123
	差 (H24-H23)	0.003	49	0.002	28	0.001	17	0.000	6	0.006
P2-P3	H23	0.222	28	0.352	45	0.173	22	0.033	4	0.780
	H24	0.223	29	0.352	45	0.173	22	0.033	4	0.781
	差 (H24-H23)	0.001	66	0.000	0	0.000	0	0.000	34	0.001
P3-P4	H23	0.073	54	0.008	6	0.027	20	0.027	20	0.135
	H24	0.077	55	0.008	6	0.027	19	0.027	19	0.140
	差 (H24-H23)	0.004	97	0.000	3	0.000	0	0.000	0	0.004
P4-P5	H23	0.014	16	0.031	36	0.036	41	0.007	8	0.087
	H24	0.018	19	0.031	34	0.036	39	0.007	7	0.091
	差 (H24-H23)	0.004	100	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.004
P5-P6	H23	0.027	36	0.026	35	0.012	16	0.010	14	0.075
	H24	0.028	36	0.026	34	0.012	16	0.011	14	0.076
	差 (H24-H23)	0.001	67	0.000	0	0.000	0	0.000	33	0.001
P6-A2	H23	0.080	27	0.107	36	0.060	20	0.051	17	0.297
	H24	0.080	27	0.109	36	0.060	20	0.051	17	0.300
	差 (H24-H23)	0.000	3	0.003	89	0.000	-6	0.000	15	0.003
差の平均		0.0019		0.0006		0.0001		0.0005		



3 ひび割れ幅ごとの分類

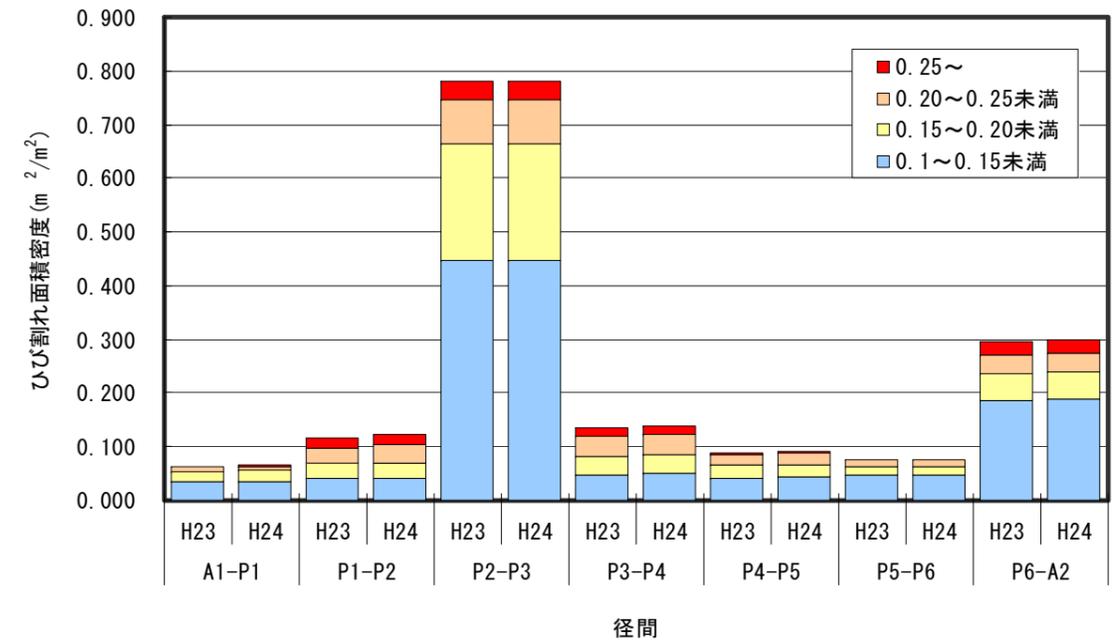
②ひび割れ長さ密度

径間	年度	0.1~0.15未満		0.15~0.20未満		0.20~0.25未満		0.25~		総密度 (m/m ²)
		長さ密度 (m/m ²)	総長さ密度に対する割合%							
A1-P1	H23	0.349	67	0.128	25	0.036	7	0.006	1	0.519
	H24	0.357	66	0.130	24	0.045	8	0.006	1	0.538
	差(H24-H23)	0.008	42	0.002	11	0.009	47	0.000	0	0.019
P1-P2	H23	0.402	49	0.189	23	0.148	18	0.077	9	0.816
	H24	0.407	48	0.196	23	0.163	19	0.081	10	0.847
	差(H24-H23)	0.005	16	0.007	23	0.015	48	0.004	13	0.031
P2-P3	H23	4.484	69	1.437	22	0.406	6	0.138	2	6.466
	H24	4.478	69	1.445	22	0.409	6	0.138	2	6.471
	差(H24-H23)	-0.006	-126	0.008	168	0.003	58	0.000	0	0.005
P3-P4	H23	0.468	49	0.231	24	0.198	21	0.057	6	0.954
	H24	0.504	51	0.231	23	0.189	19	0.067	7	0.991
	差(H24-H23)	0.036	97	0.000	0	-0.009	-24	0.010	27	0.037
P4-P5	H23	0.404	60	0.168	25	0.090	13	0.015	2	0.677
	H24	0.427	60	0.165	23	0.104	15	0.011	2	0.707
	差(H24-H23)	0.023	77	-0.003	-10	0.014	47	-0.004	-13	0.030
P5-P6	H23	0.470	74	0.105	16	0.061	10	0.001	0	0.637
	H24	0.470	73	0.100	16	0.067	10	0.003	0	0.640
	差(H24-H23)	0.000	0	-0.005	-167	0.006	200	0.002	67	0.003
P6-A2	H23	1.867	75	0.351	14	0.174	7	0.110	4	2.502
	H24	1.885	74	0.362	14	0.180	7	0.103	4	2.531
	差(H24-H23)	0.019	65	0.011	38	0.006	21	-0.007	-24	0.029
差の平均		0.0121		0.0029		0.0063		0.0007		

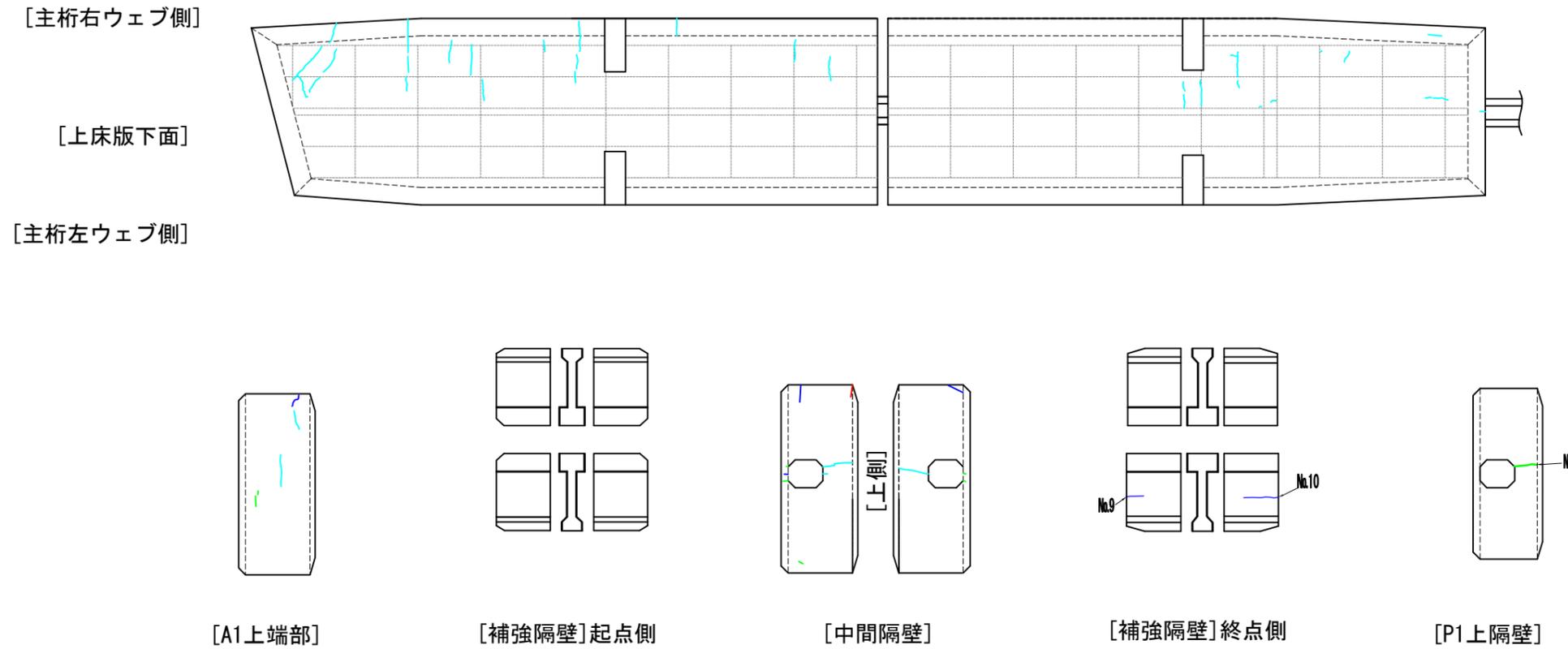


③ひび割れ面積密度

径間	年度	0.1~0.15未満		0.15~0.20未満		0.20~0.25未満		0.25~		総密度 (m ² /m ²)
		面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	面積密度 (m ² /m ²)	総面積密度に対する割合%	
A1-P1	H23	0.035	55	0.019	30	0.007	12	0.002	2	0.063
	H24	0.036	54	0.020	30	0.009	14	0.002	2	0.066
	差(H24-H23)	0.001	28	0.000	12	0.002	60	0.000	0	0.003
P1-P2	H23	0.040	34	0.028	24	0.030	25	0.019	16	0.118
	H24	0.041	33	0.029	24	0.033	27	0.020	17	0.123
	差(H24-H23)	0.000	9	0.001	18	0.003	56	0.001	17	0.006
P2-P3	H23	0.448	57	0.216	28	0.081	10	0.035	4	0.780
	H24	0.448	57	0.217	28	0.082	10	0.035	4	0.781
	差(H24-H23)	-0.001	-51	0.001	103	0.001	48	0.000	0	0.001
P3-P4	H23	0.047	35	0.035	26	0.039	29	0.014	11	0.135
	H24	0.050	36	0.035	25	0.038	27	0.017	12	0.140
	差(H24-H23)	0.004	84	0.000	3	-0.002	-43	0.002	56	0.004
P4-P5	H23	0.040	46	0.025	29	0.018	21	0.004	4	0.087
	H24	0.043	47	0.025	27	0.021	23	0.003	3	0.091
	差(H24-H23)	0.002	60	0.000	-12	0.003	74	-0.001	-22	0.004
P5-P6	H23	0.047	63	0.016	21	0.012	16	0.000	0	0.075
	H24	0.047	62	0.015	19	0.014	18	0.001	1	0.076
	差(H24-H23)	0.000	0	-0.001	-65	0.001	119	0.001	46	0.001
P6-A2	H23	0.186	63	0.051	17	0.034	11	0.026	9	0.297
	H24	0.188	63	0.052	17	0.035	12	0.025	8	0.300
	差(H24-H23)	0.002	61	0.002	48	0.001	36	-0.001	-45	0.003

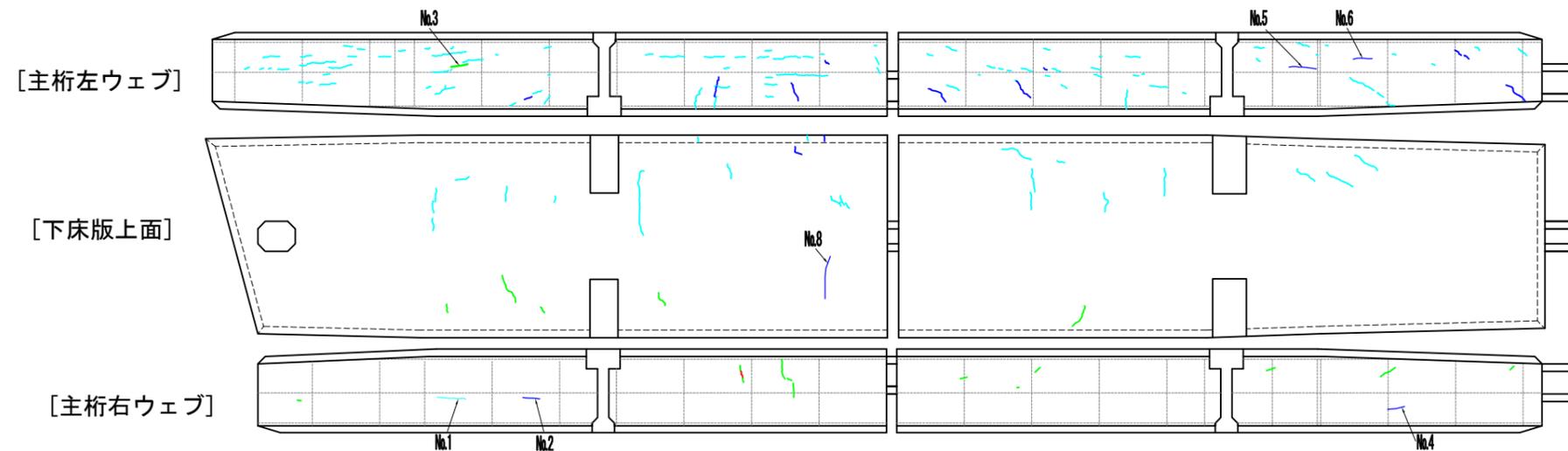


ひび割れ点検結果



A1

P1

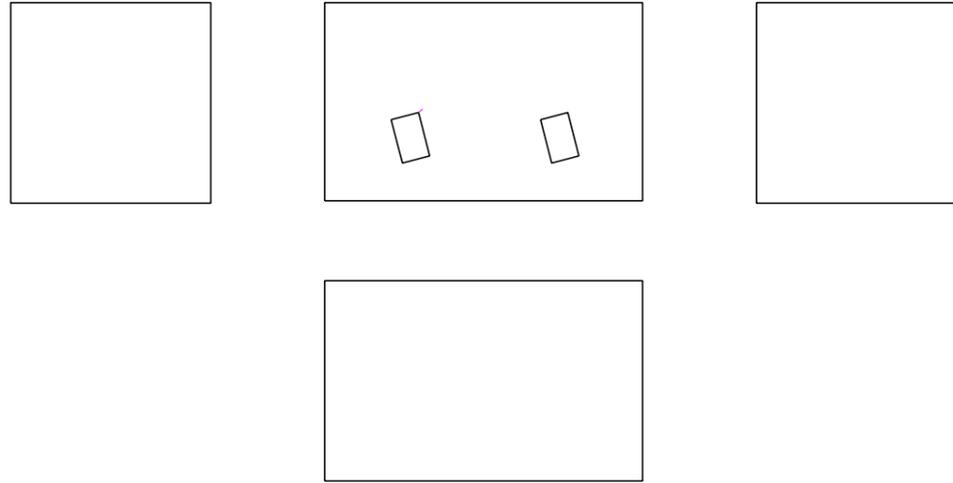


凡 例	
ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

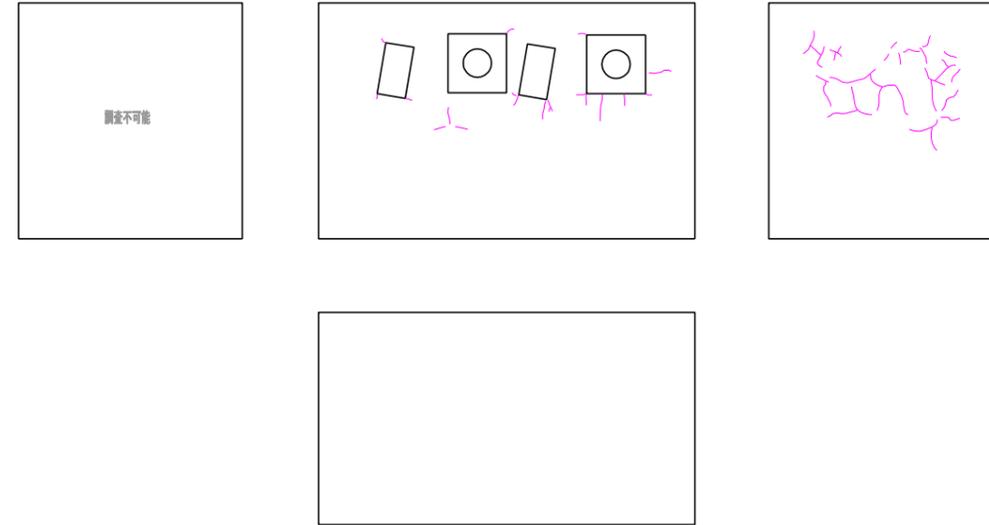
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

A1~P1 (定着部)

A1 L

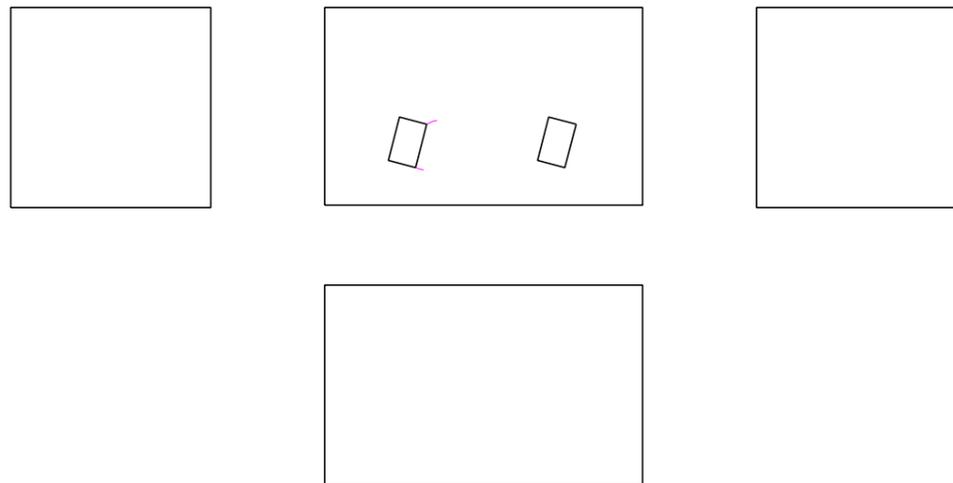


P1起点側L

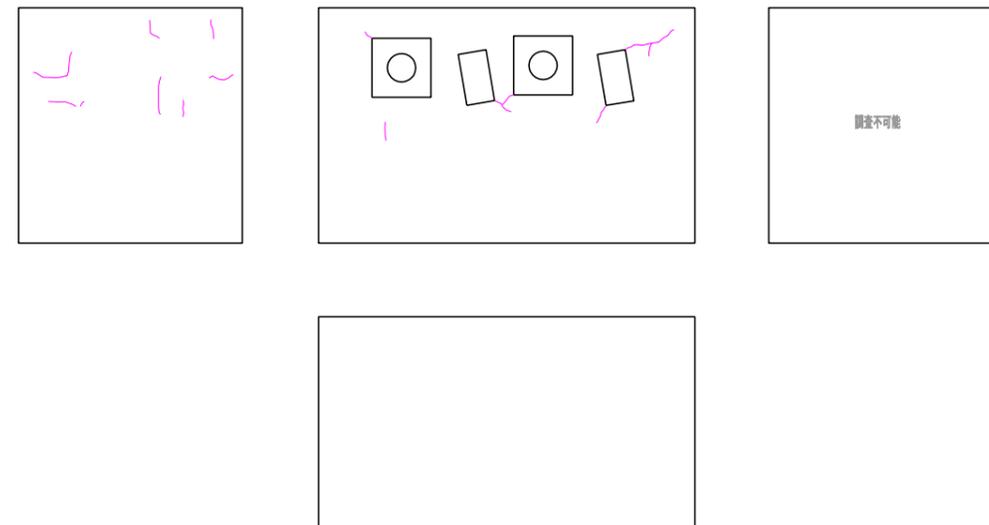


凡例	
ひび割れ (0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05 mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1 mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

A1 R



P1起点側R



測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	870	0.10
H23.2.9	870	0.10
H24.2.8	870	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	540	0.15
H23.2.9	540	0.15
H24.2.8	540	0.15

状況写真



接写

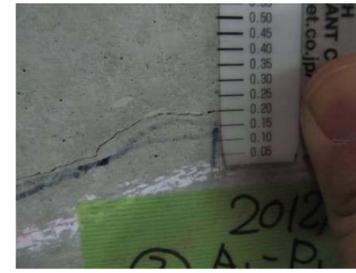


測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	650	0.20
H23.2.9	650	0.20
H24.2.8	650	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	780	0.20
H23.2.9	780	0.15
H24.2.8	780	0.15

状況写真



接写

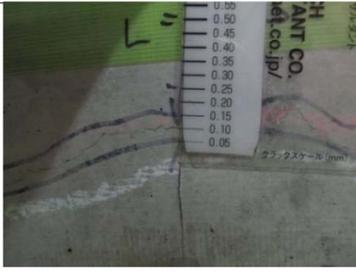


測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	575	0.15
H23.2.9	575	0.10
H24.2.8	575	0.10

状況写真

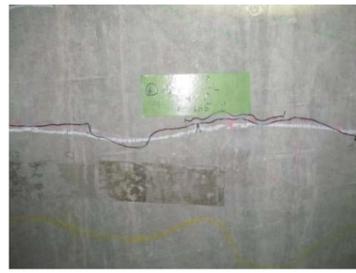


接写

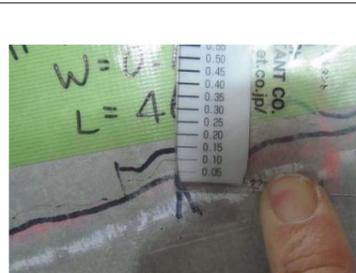


測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	465	0.15
H23.2.9	465	0.10
H24.2.8	465	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	2720	0.20
H23.2.9	2720	0.15
H24.2.8	2720	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	1210	0.15
H23.2.9	1210	0.15
H24.2.8	1210	0.15

状況写真



接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	1025	0.15
H23.2.9	1025	0.15
H24.2.8	1025	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	870	0.15
H23.2.9	870	0.15
H24.2.8	870	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

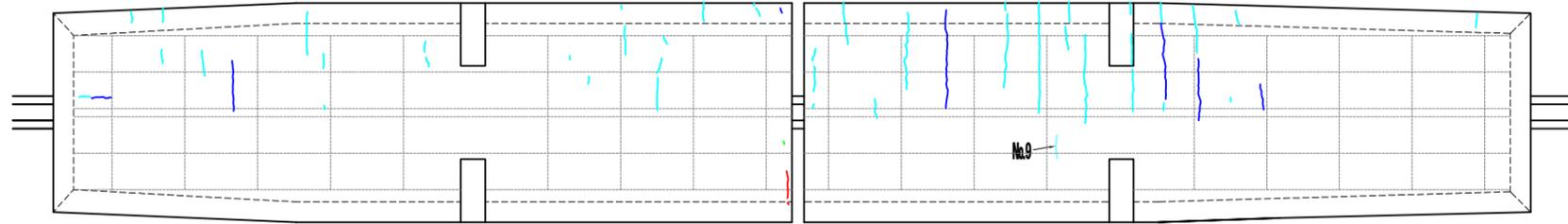
測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

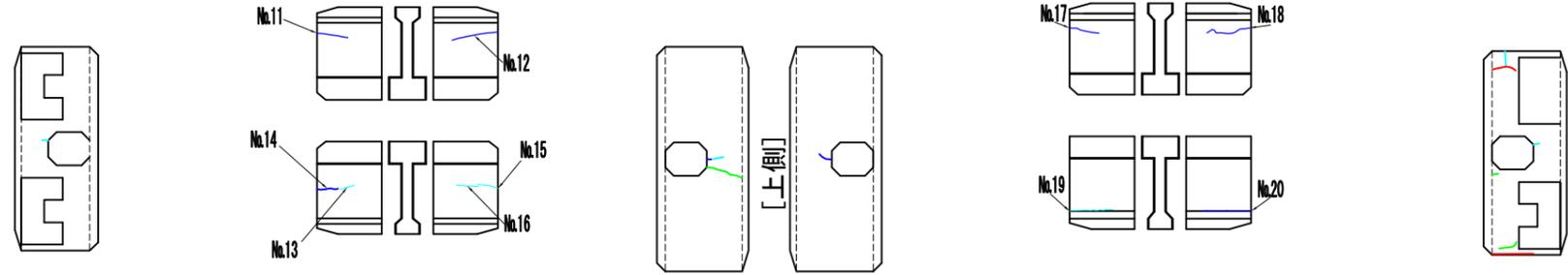
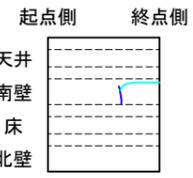
[主桁右ウェブ側]

[上床版下面]

[主桁左ウェブ側]



No.9



[P1橋脚上通路展開図]

[P1上隔壁]

[補強隔壁]起点側

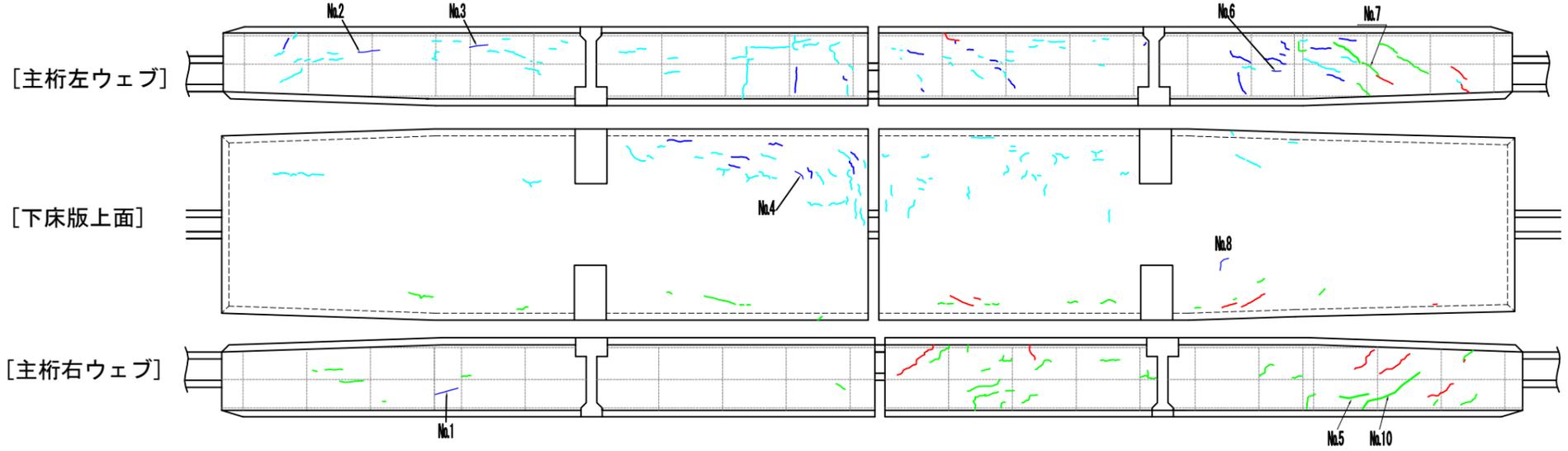
[中間隔壁]

[補強隔壁]終点側

[P2上隔壁]

P1

P2



[主桁左ウェブ]

[下床版上面]

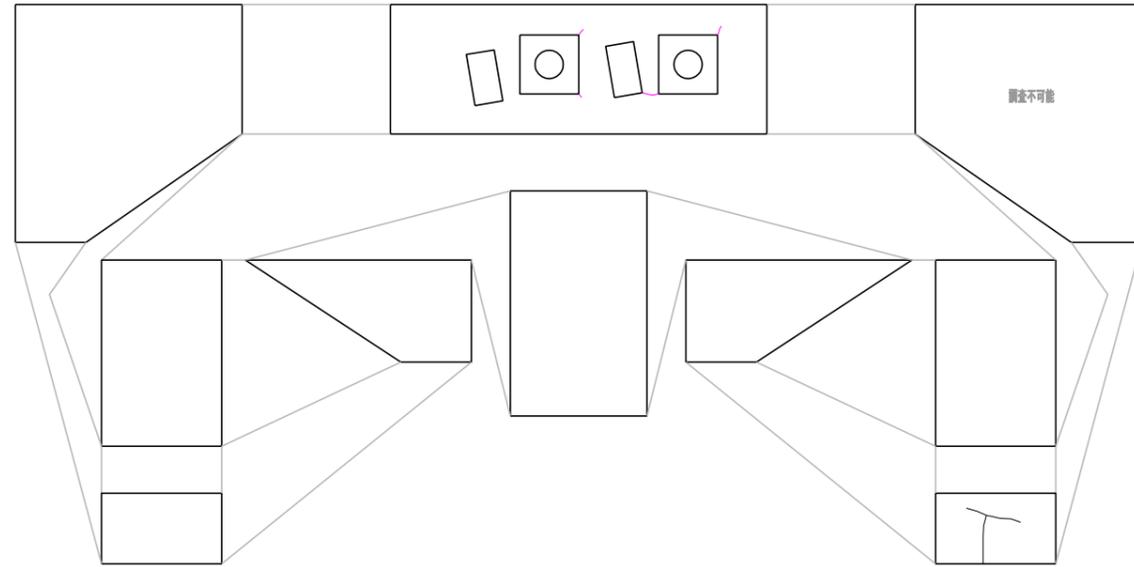
[主桁右ウェブ]

凡例	
ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

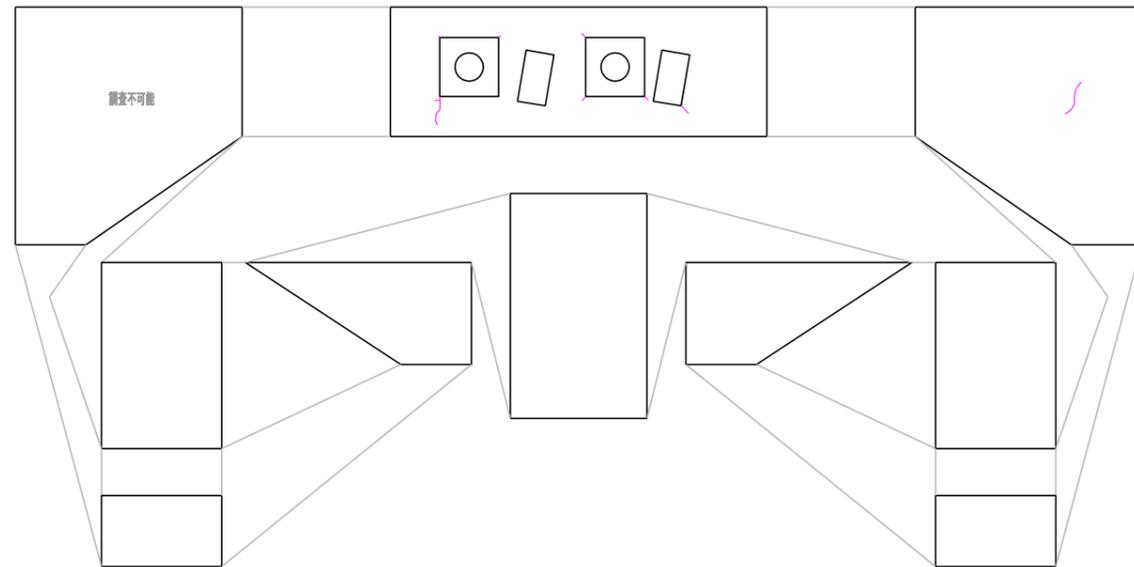
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

P1~P2 (定着部)

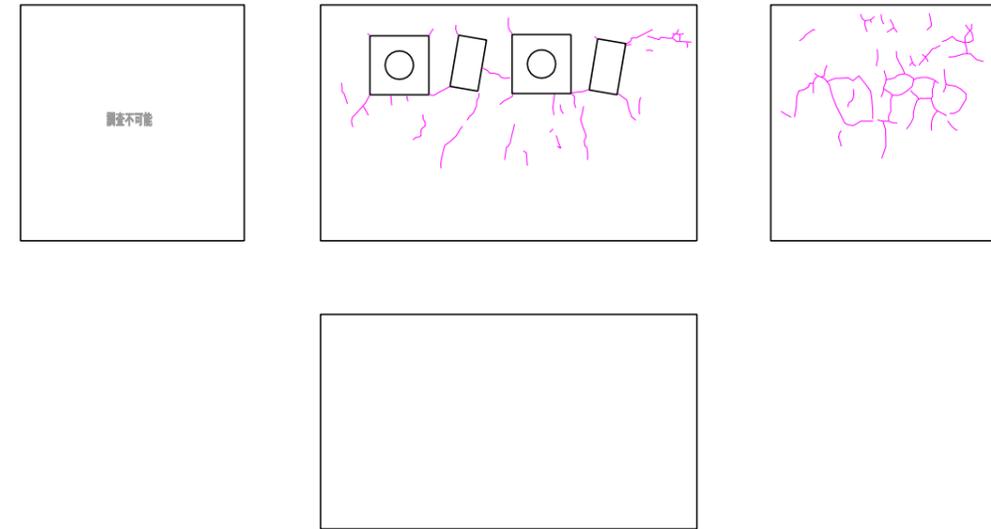
P1終点側L



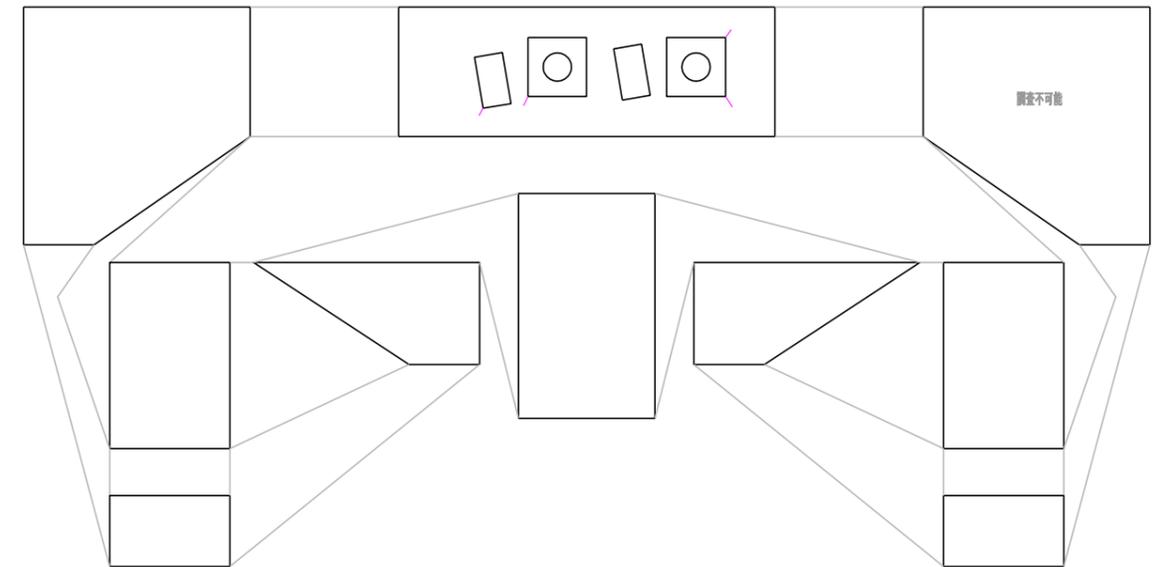
P1終点側R



P2起点側L



P2起点側R



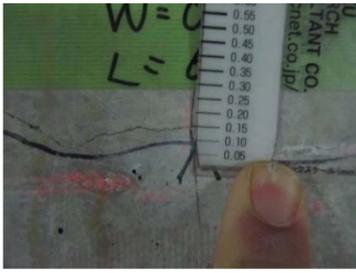
凡例	
ひび割れ (0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05 mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1 mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	625	0.15
H23.2.9	625	0.15
H24.2.8	625	0.15

状況写真



接写

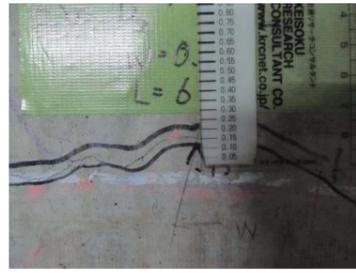


測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	615	0.15
H23.2.9	615	0.15
H24.2.8	615	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	535	0.15
H23.2.9	535	0.15
H24.2.8	535	0.15

状況写真

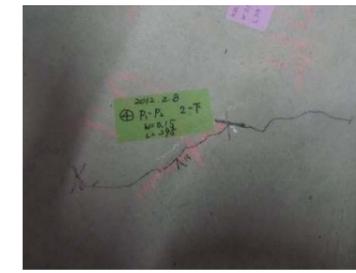


接写

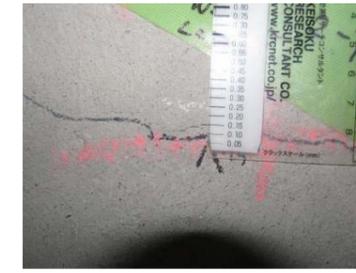


測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	295	0.15
H23.2.9	295	0.15
H24.2.8	295	0.15

状況写真



接写

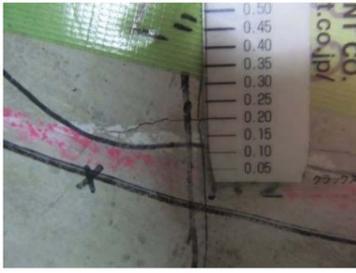


測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	830	0.20
H23.2.9	830	0.20
H24.2.8	830	0.20

状況写真



接写

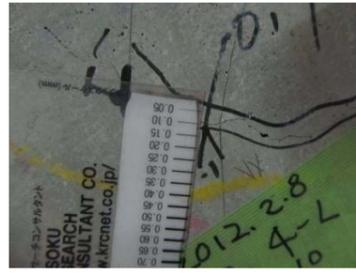


測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	230	0.15
H23.2.9	230	0.10
H24.2.8	230	0.10

状況写真

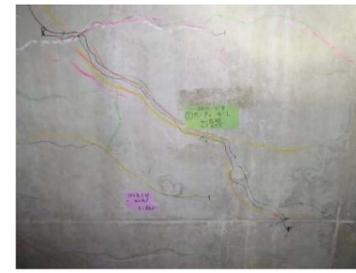


接写



測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	655	0.20
H23.2.9	655	0.20
H24.2.8	655	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	510	0.15
H23.2.9	510	0.15
H24.2.8	510	0.15

状況写真



接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	600	0.10
H23.2.9	600	0.10
H24.2.8	600	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	1930	0.20
H23.2.9	1930	0.20
H24.2.8	1930	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.11	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	800	0.15
H23.2.9	800	0.15
H24.2.8	800	0.15

状況写真

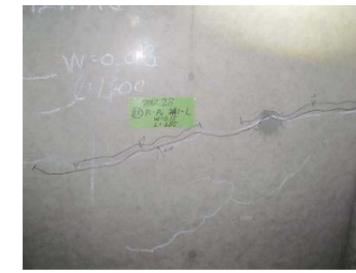


接写

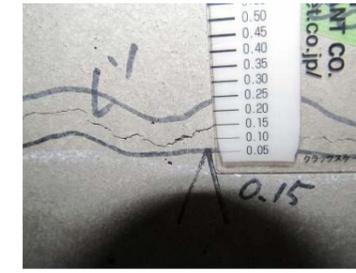


測定箇所No.12	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	685	0.20
H23.2.9	685	0.15
H24.2.8	685	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.13	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	385	0.10
H23.2.9	385	0.10
H24.2.8	385	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.14	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	475	0.10
H23.2.9	475	0.10
H24.2.8	475	0.15

状況写真



接写

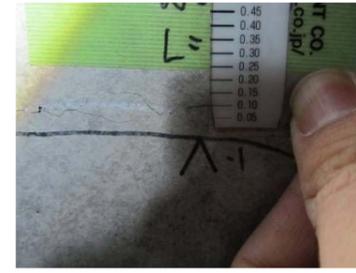


測定箇所No.15	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	510	0.10
H23.2.9	510	0.10
H24.2.8	510	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.16	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	515	0.10
H23.2.9	515	0.10
H24.2.8	515	0.10

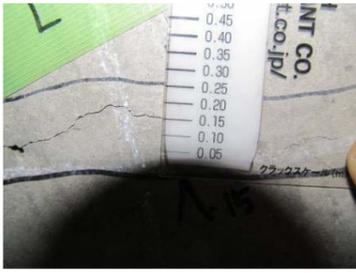
状況写真

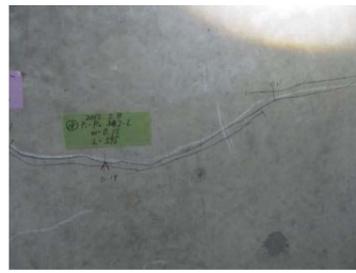
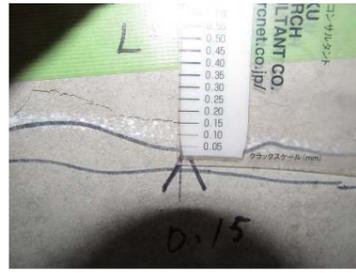


接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.17	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	525	0.15
H23.2.9	525	0.15
H24.2.8	525	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.18	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	595	0.15
H23.2.9	595	0.15
H24.2.8	595	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.19	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	1000	0.10
H23.2.9	1000	0.10
H24.2.8	1000	0.10
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.20	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	1090	0.15
H23.2.9	1090	0.15
H24.2.8	1090	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

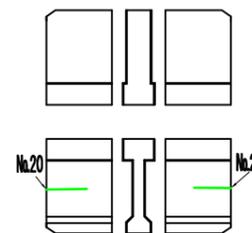
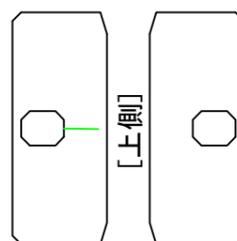
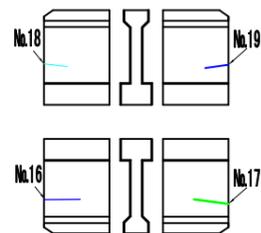
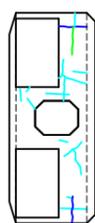
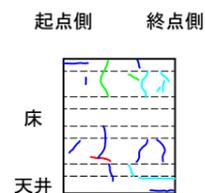
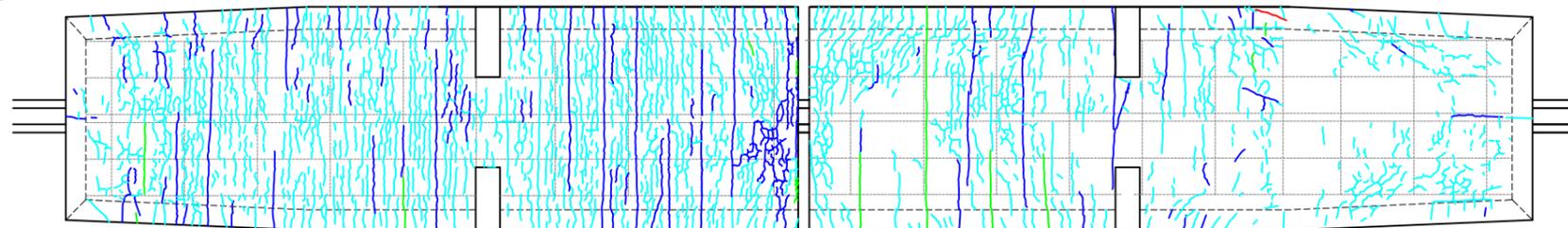
測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

[主桁右ウェブ側]

[上床版下面]

[主桁左ウェブ側]



[P2上隔壁内側展開図]

[P2上隔壁]

[補強隔壁]起点側

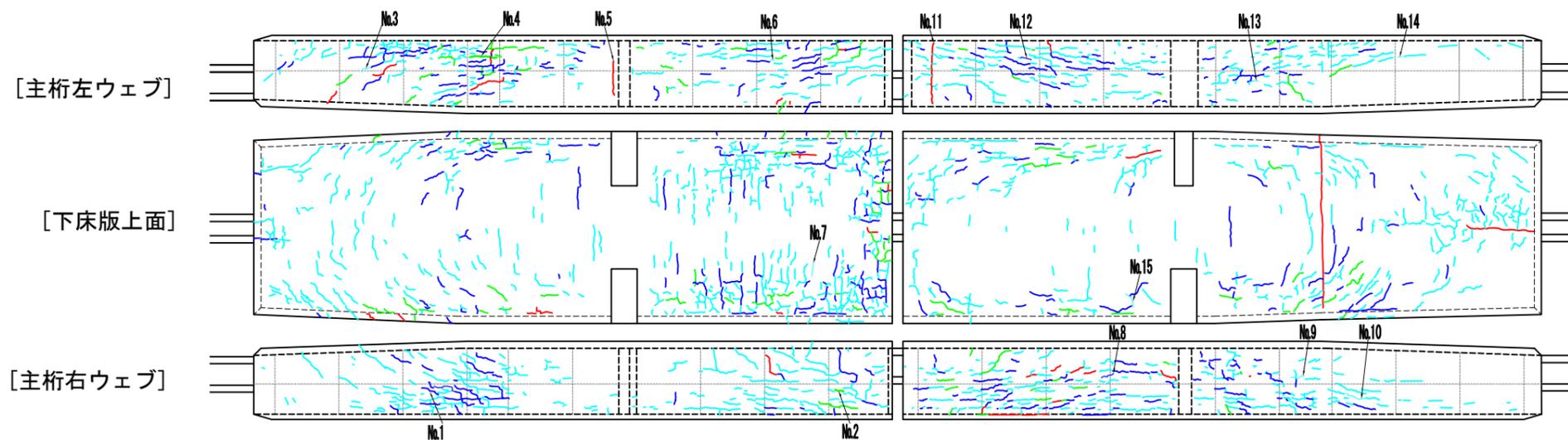
[中間隔壁]

[補強隔壁]終点側

[P3上隔壁]

P2

P3



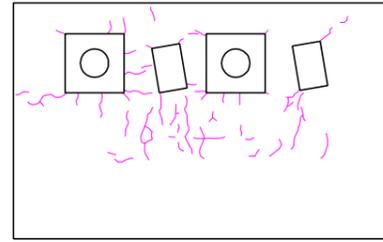
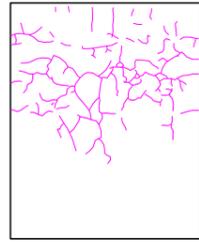
凡例

- ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)
- ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)
- ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)
- ひび割れ (幅0.25mm以上)

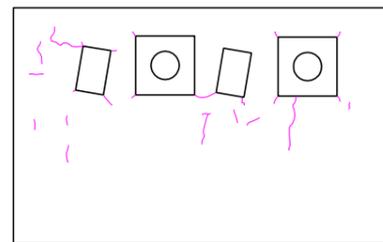
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

P2~P3 (定着部)

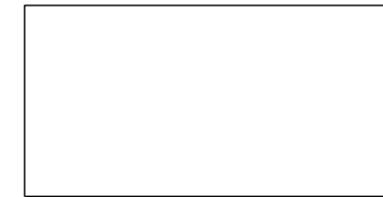
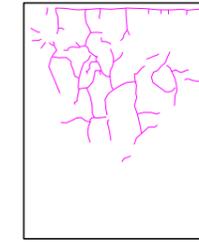
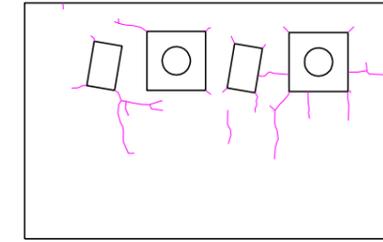
P2終点側L



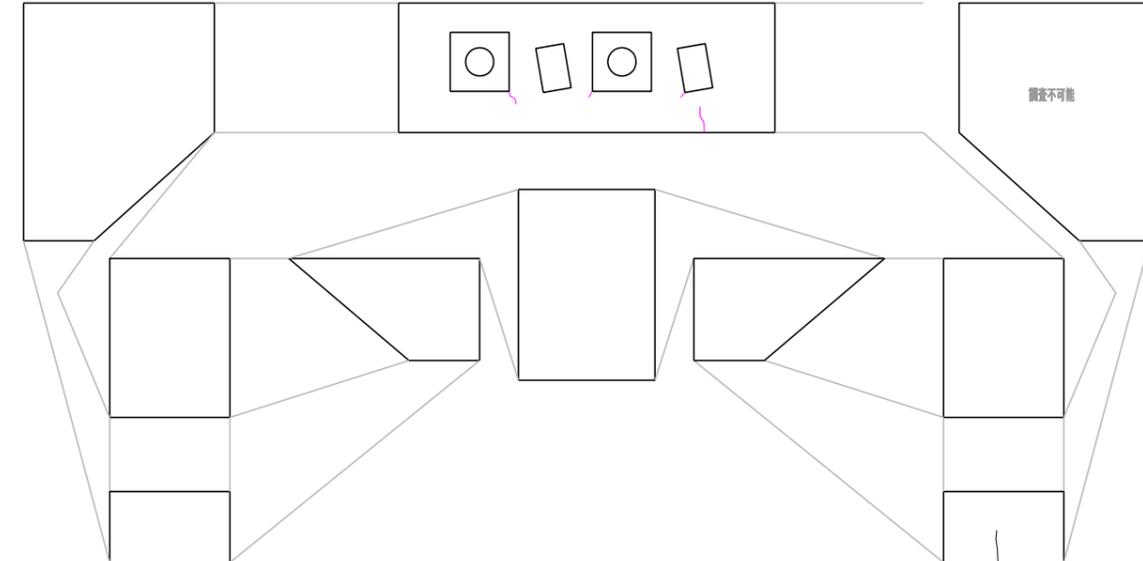
P2終点側R



P3起点側L



P3起点側R



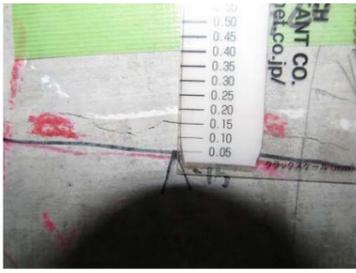
凡例	
ひび割れ (幅0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	520	0.15
H23.2.9	520	0.15
H24.2.8	520	0.15

状況写真

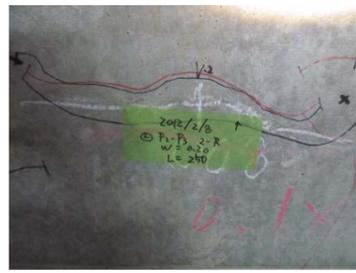


接写

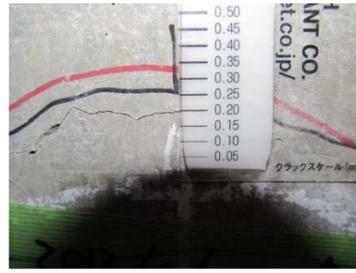


測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	250	0.20
H23.2.9	250	0.20
H24.2.8	250	0.20

状況写真



接写

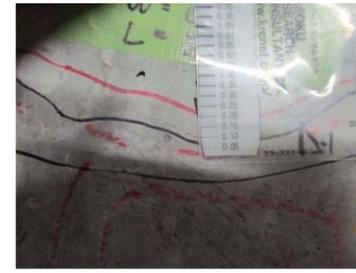


測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	250	0.10
H23.2.9	250	0.10
H24.2.8	250	0.10

状況写真



接写

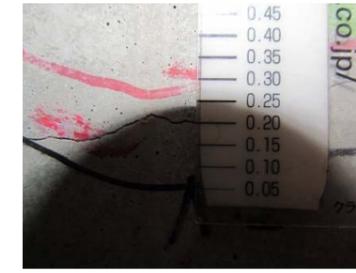


測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	760	0.20
H23.2.9	760	0.20
H24.2.8	760	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	975	0.30
H23.2.9	975	0.30
H24.2.8	975	0.30

状況写真



接写



測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	130	0.10
H23.2.9	130	0.10
H24.2.8	130	0.10

状況写真

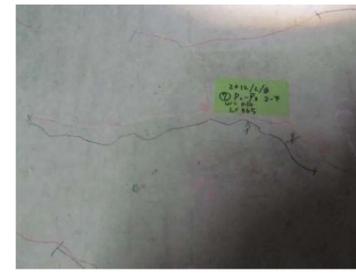


接写

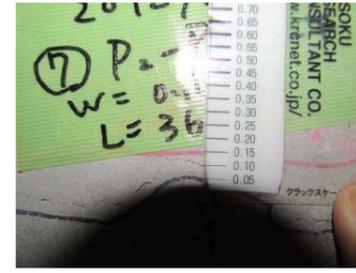


測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	365	0.10
H23.2.9	365	0.10
H24.2.8	365	0.10

状況写真

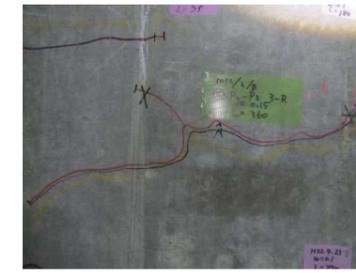


接写

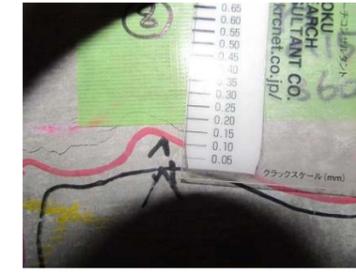


測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	360	0.15
H23.2.9	360	0.15
H24.2.8	360	0.15

状況写真



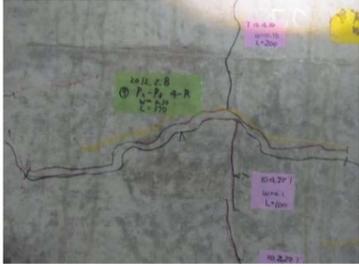
接写



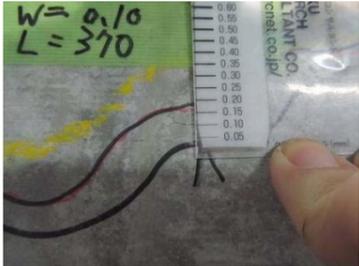
*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	370	0.10
H23.2.9	370	0.10
H24.2.8	370	0.10

状況写真



接写

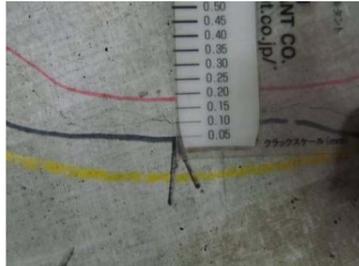


測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	550	0.10
H23.2.9	550	0.10
H24.2.8	550	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.11	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	1760	0.30
H23.2.9	1760	0.30
H24.2.8	1760	0.30

状況写真



接写



測定箇所No.12	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	300	0.15
H23.2.9	300	0.15
H24.2.8	300	0.15

状況写真

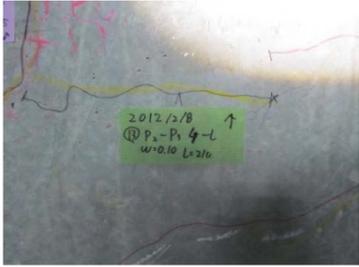


接写

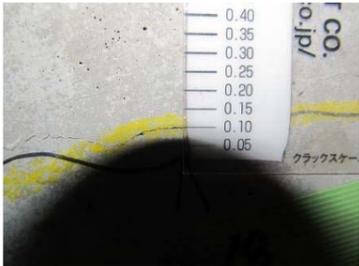


測定箇所No.13	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	210	0.10
H23.2.9	210	0.10
H24.2.8	210	0.10

状況写真

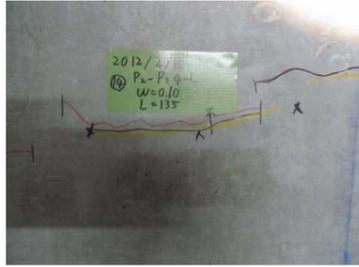


接写

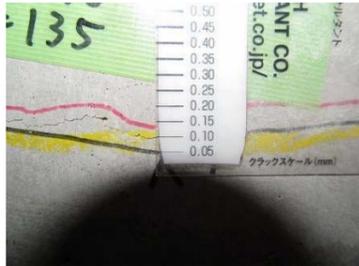


測定箇所No.14	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	135	0.10
H23.2.9	135	0.10
H24.2.8	135	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.15	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	115	0.15
H23.2.9	115	0.15
H24.2.8	115	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.16	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	845	0.20
H23.2.9	845	0.15
H24.2.8	845	0.15

状況写真



接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.17	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	810	0.20
H23.2.9	810	0.20
H24.2.8	810	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.18	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	550	0.10
H23.2.9	550	0.10
H24.2.8	550	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.19	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	550	0.10
H23.2.9	550	0.10
H24.2.8	550	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.20	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	945	0.20
H23.2.9	945	0.20
H24.2.8	945	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.21	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.21)	860	0.20
H23.2.9	860	0.20
H24.2.8	860	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)

状況写真

接写

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)

状況写真

接写

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)

状況写真

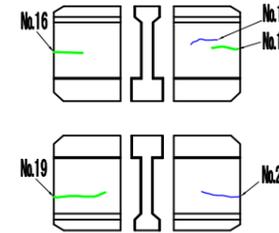
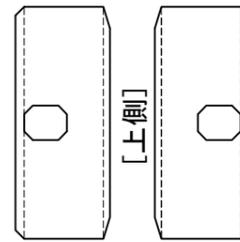
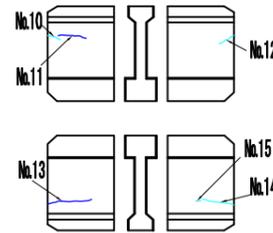
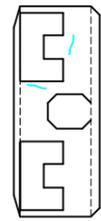
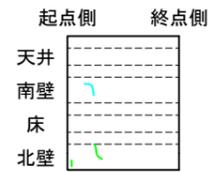
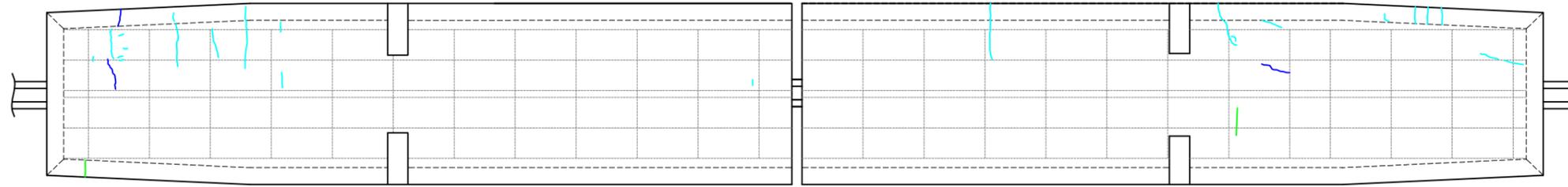
接写

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

[主桁右ウェブ側]

[上床版下面]

[主桁左ウェブ側]



[P3橋脚上通路展開図]

[P3上隔壁]

[補強隔壁]起点側

[中間隔壁]

[補強隔壁]終点側

[P4上隔壁]

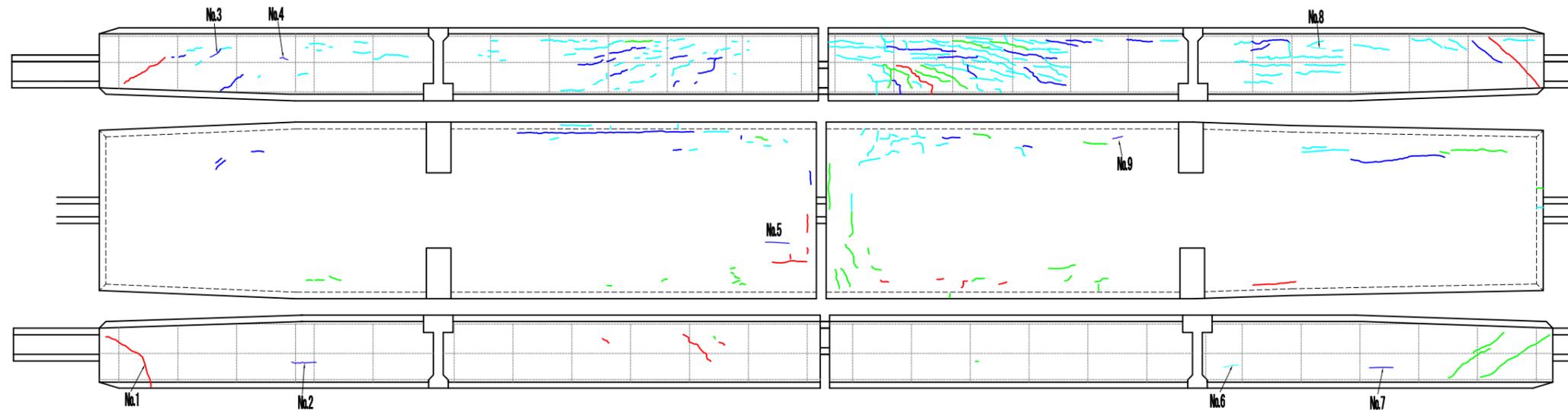
P3

P4

[主桁左ウェブ]

[下床版上面]

[主桁右ウェブ]



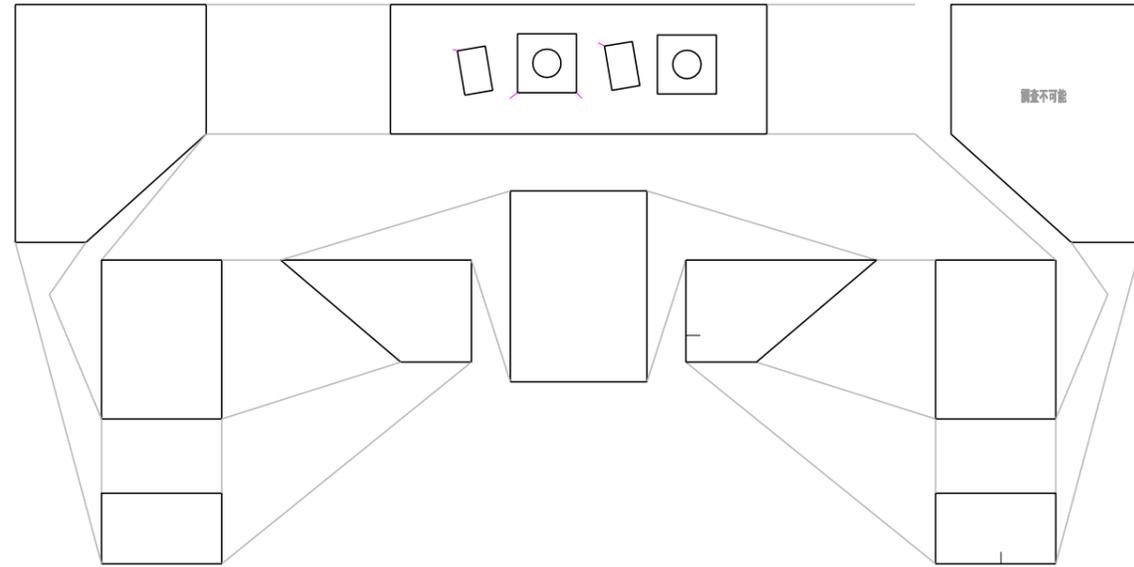
凡例

- ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)
- ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)
- ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)
- ひび割れ (幅0.25mm以上)

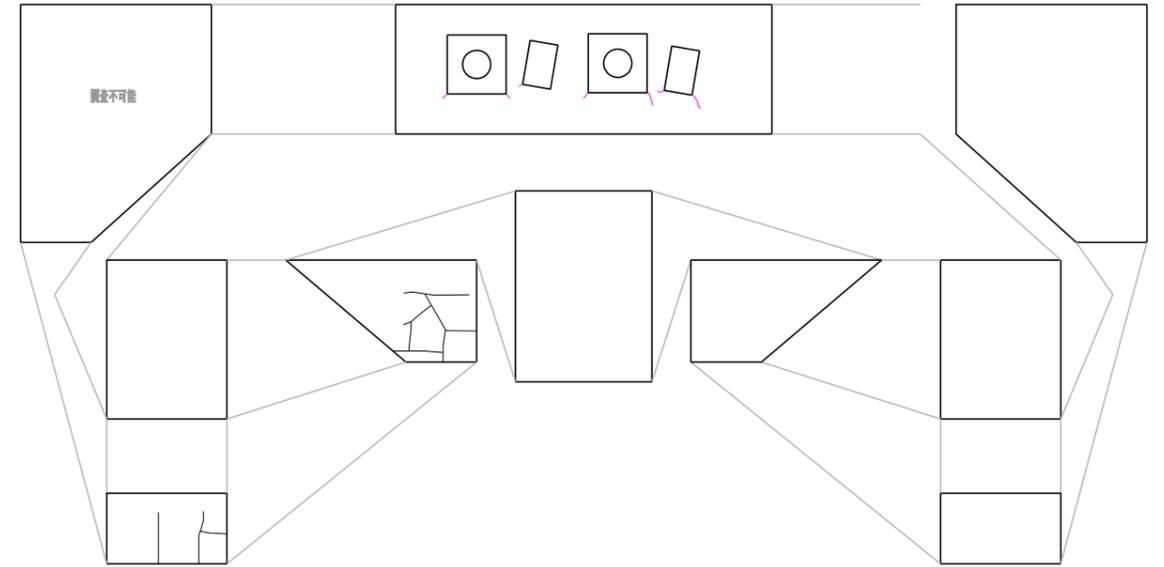
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

P3~P4 (定着部)

P3終点側L

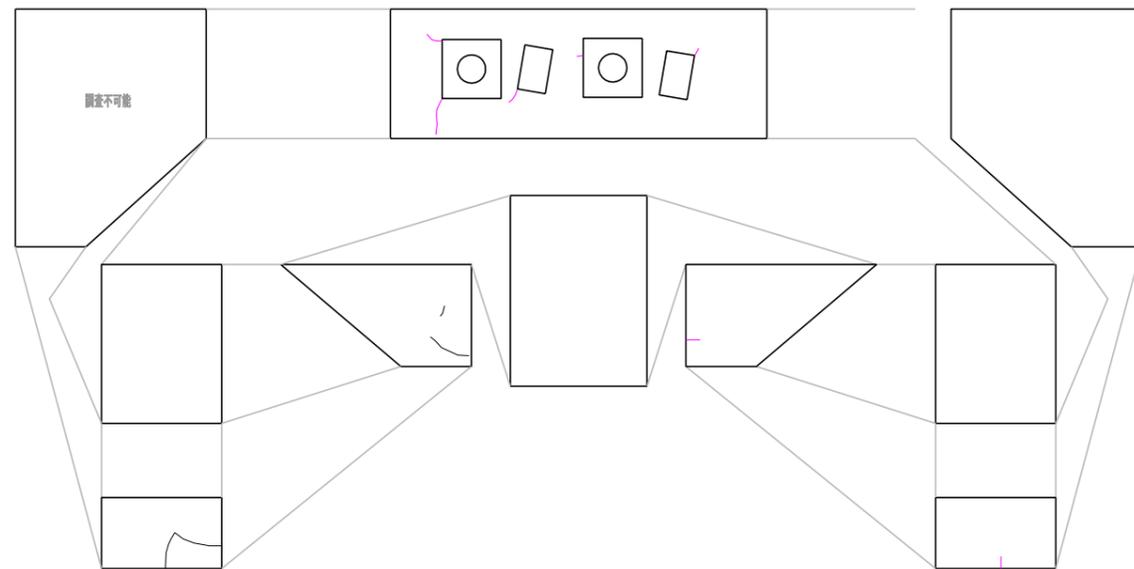


P4起点側L

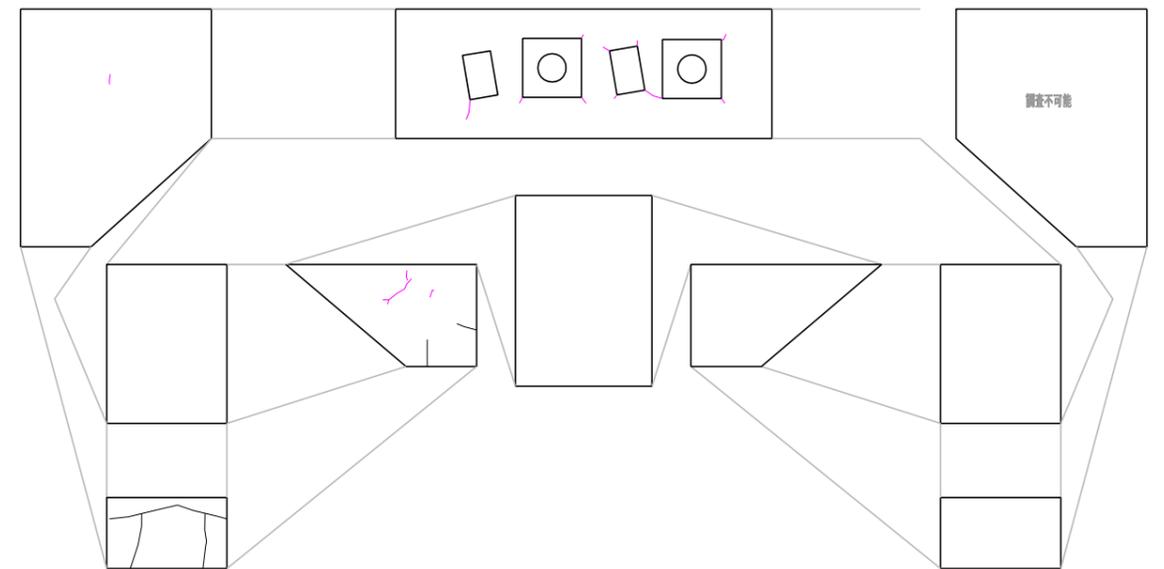


凡例	
ひび割れ (0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05 mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1 mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

P3終点側R



P4起点側R



測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1780	0.20
H23.2.9	1780	0.20
H24.2.8	1780	0.25

状況写真

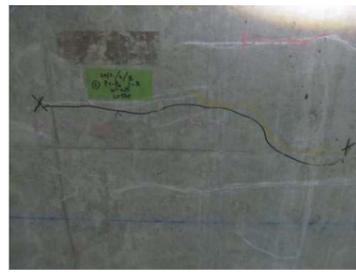


接写



測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	520	0.15
H23.2.9	520	0.15
H24.2.8	520	0.15

状況写真



接写

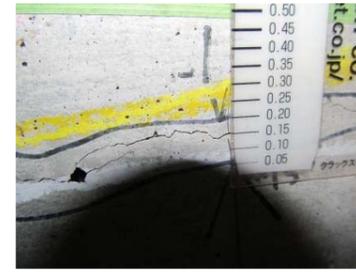


測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	275	0.20
H23.2.9	275	0.15
H24.2.8	275	0.15

状況写真



接写

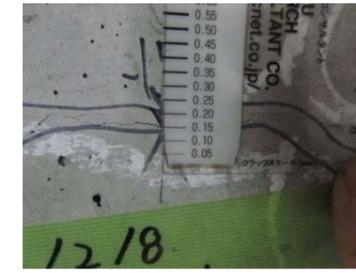


測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	245	0.20
H23.2.9	245	0.15
H24.2.8	245	0.15

状況写真

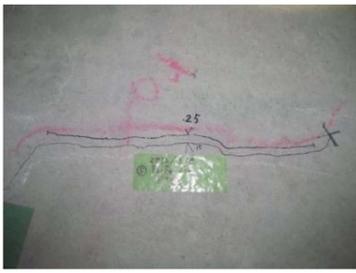


接写



測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	465	0.15
H23.2.9	465	0.15
H24.2.8	465	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	500	0.10
H23.2.9	500	0.10
H24.2.8	500	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	730	0.15
H23.2.9	730	0.15
H24.2.8	730	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	685	0.10
H23.2.9	685	0.10
H24.2.8	685	0.10

状況写真



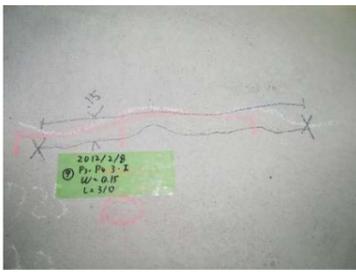
接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	310	0.15
H23.2.9	310	0.15
H24.2.8	310	0.15

状況写真

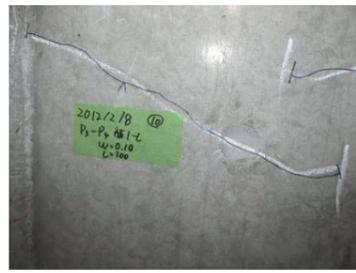


接写



測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	300	0.10
H23.2.9	300	0.10
H24.2.8	300	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.11	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	660	0.15
H23.2.9	660	0.15
H24.2.8	660	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.12	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	425	0.10
H23.2.9	425	0.10
H24.2.8	425	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.13	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1035	0.15
H23.2.9	1035	0.15
H24.2.8	1035	0.15

状況写真



接写

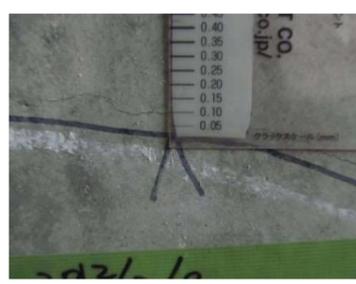


測定箇所No.14	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	750	0.10
H23.2.9	750	0.10
H24.2.8	750	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.15	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	370	0.10
H23.2.9	370	0.10
H24.2.8	370	0.10

状況写真



接写

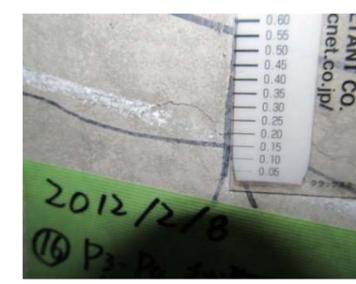


測定箇所No.16	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	670	0.20
H23.2.9	670	0.20
H24.2.8	670	0.20

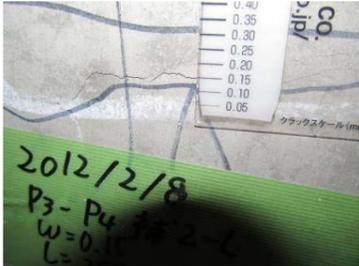
状況写真

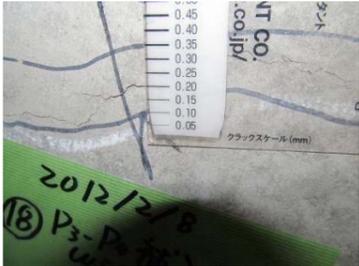


接写

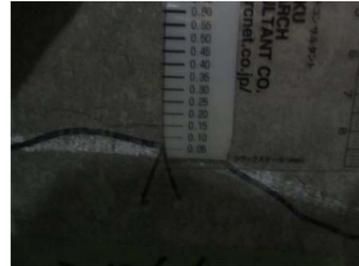


*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.17	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	270	0.15
H23.2.9	270	0.15
H24.2.8	270	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.18	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	540	0.20
H23.2.9	570	0.20
H24.2.8	570	0.20
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.19	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	730	0.20
H23.2.9	730	0.20
H24.2.8	730	0.20
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.20	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	590	0.15
H23.2.9	590	0.15
H24.2.8	590	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

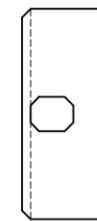
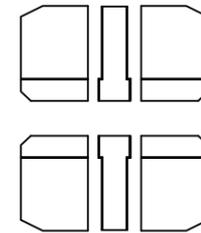
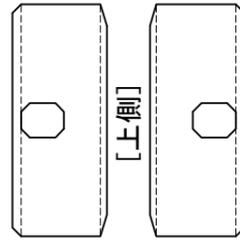
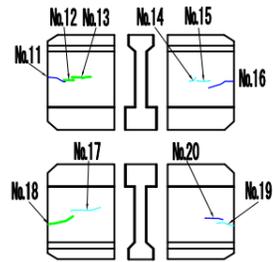
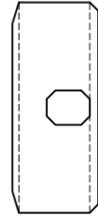
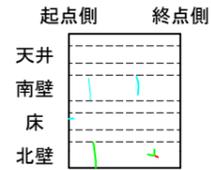
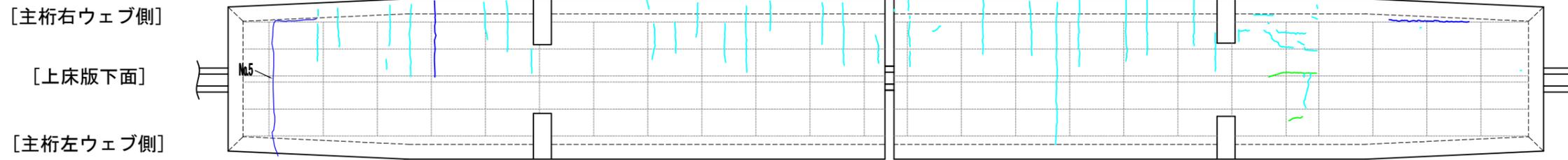
測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

⑤P4~P5 平成24年度 ひび割れ点検結果



[P4橋脚上通路展開図]

[P4上隔壁]

[補強隔壁]起点側

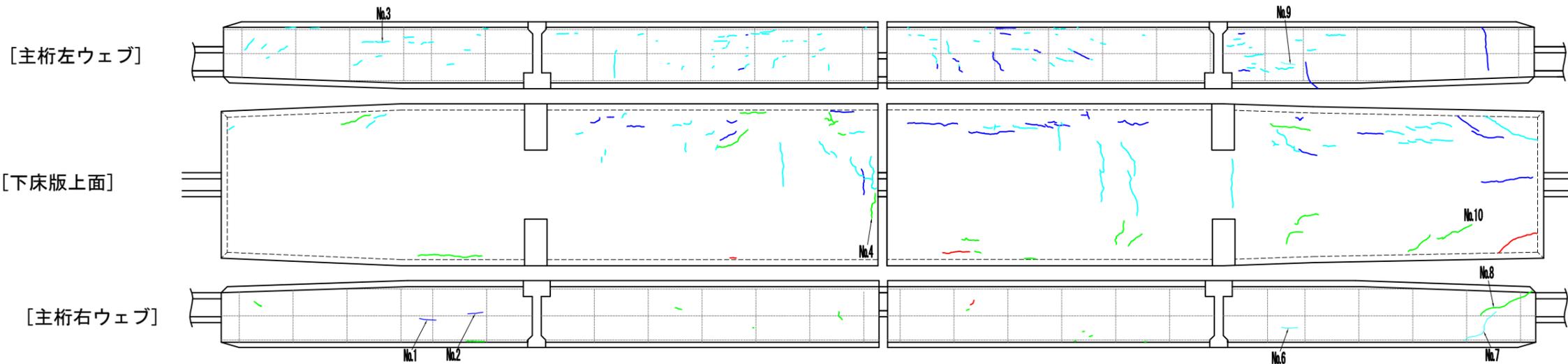
[中間隔壁]

[補強隔壁]終点側

[P5上隔壁]

P4

P5

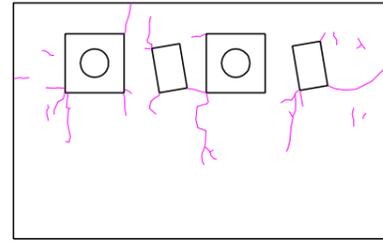
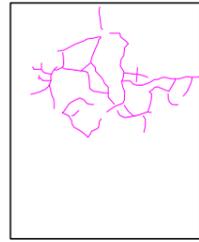


凡例	
ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

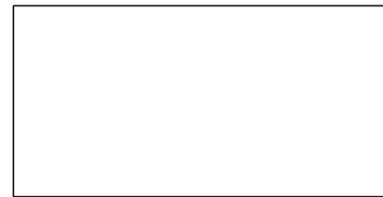
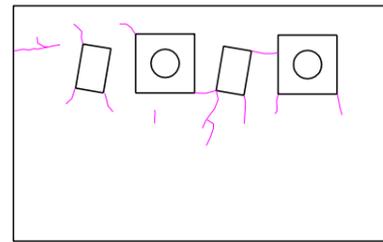
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

P4~P5 (定着部)

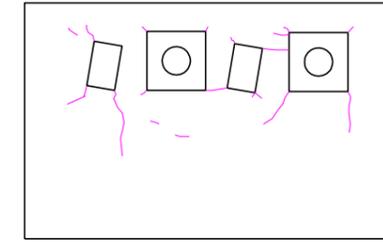
P4終点側L



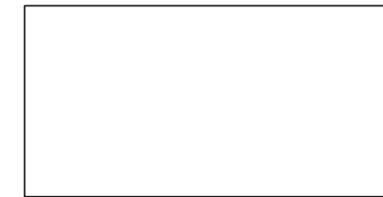
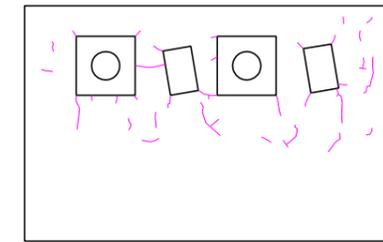
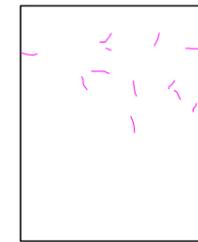
P4終点側R



P5起点側L



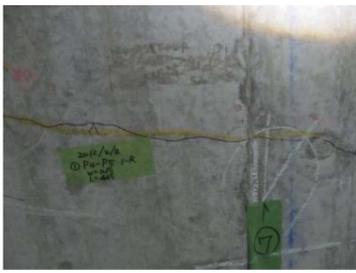
P5起点側R



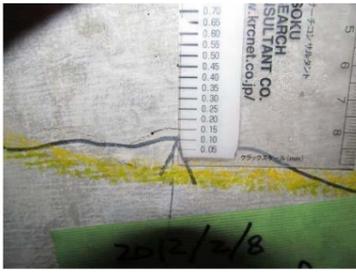
凡例	
ひび割れ (幅0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	445	0.15
H23.2.9	445	0.15
H24.2.8	445	0.15

状況写真



接写

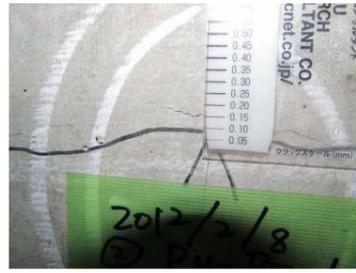


測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	470	0.15
H23.2.9	470	0.15
H24.2.8	470	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	460	0.15
H23.2.9	460	0.10
H24.2.8	460	0.10

状況写真



接写

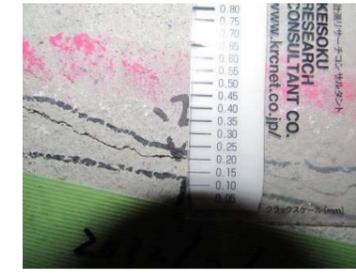


測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	820	0.20
H23.2.9	845	0.20
H24.2.8	845	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	6550	0.10
H23.2.9	6550	0.15
H24.2.8	6550	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	735	0.10
H23.2.9	735	0.10
H24.2.8	735	0.10

状況写真

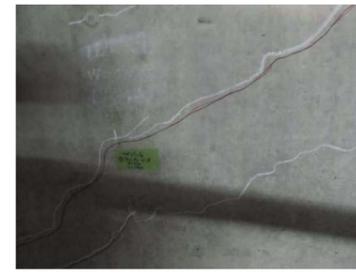


接写



測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1360	0.10
H23.2.9	1360	0.10
H24.2.8	1360	0.10

状況写真



接写

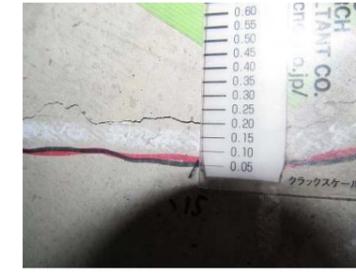


測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1060	0.15
H23.2.9	1060	0.15
H24.2.8	1060	0.20

状況写真



接写



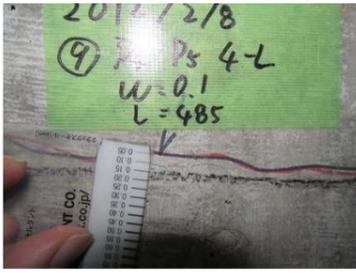
*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	485	0.10
H23.2.9	485	0.10
H24.2.8	485	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1080	0.20
H23.2.9	1080	0.20
H24.2.8	1080	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.11	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	360	0.15
H23.2.9	360	0.15
H24.2.8	360	0.15

状況写真



接写

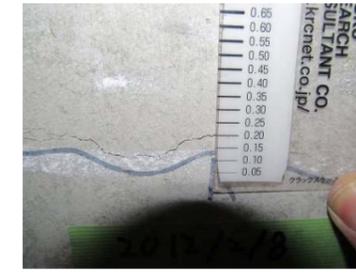


測定箇所No.12	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	175	0.20
H23.2.9	175	0.20
H24.2.8	175	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.13	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	350	0.20
H23.2.9	350	0.20
H24.2.8	350	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.14	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	175	0.10
H23.2.9	175	0.10
H24.2.8	175	0.10

状況写真



接写

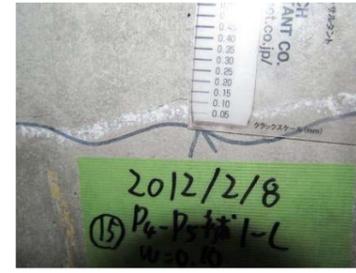


測定箇所No.15	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	270	0.10
H23.2.9	270	0.10
H24.2.8	270	0.10

状況写真



接写

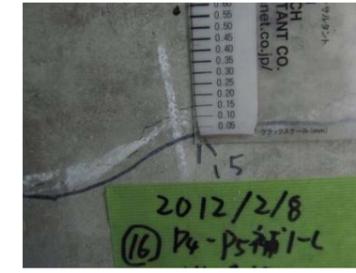


測定箇所No.16	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	530	0.15
H23.2.9	530	0.15
H24.2.8	530	0.15

状況写真



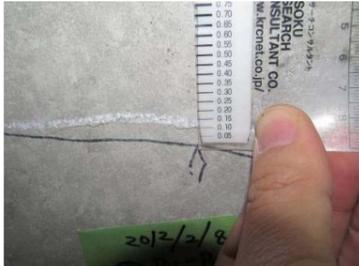
接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.17	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	365	0.10
H23.2.9	365	0.10
H24.2.8	365	0.10
状況写真		
		
接写		
		

測定箇所No.18	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	255	0.20
H23.2.9	255	0.20
H24.2.8	255	0.20
状況写真		
		
接写		
		

測定箇所No.19	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	310	0.10
H23.2.9	310	0.10
H24.2.8	310	0.10
状況写真		
		
接写		
		

測定箇所No.20	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	350	0.15
H23.2.9	350	0.15
H24.2.8	350	0.15
状況写真		
		
接写		
		

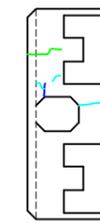
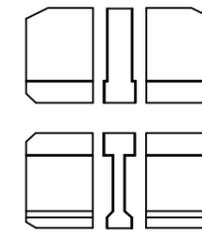
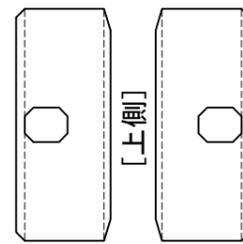
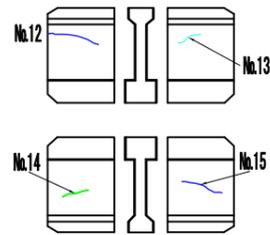
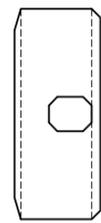
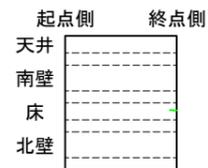
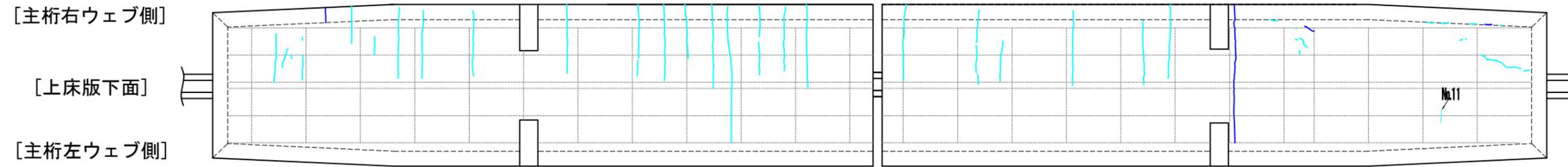
測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。



[P5橋脚上通路展開図]

[P5上隔壁]

[補強隔壁]起点側

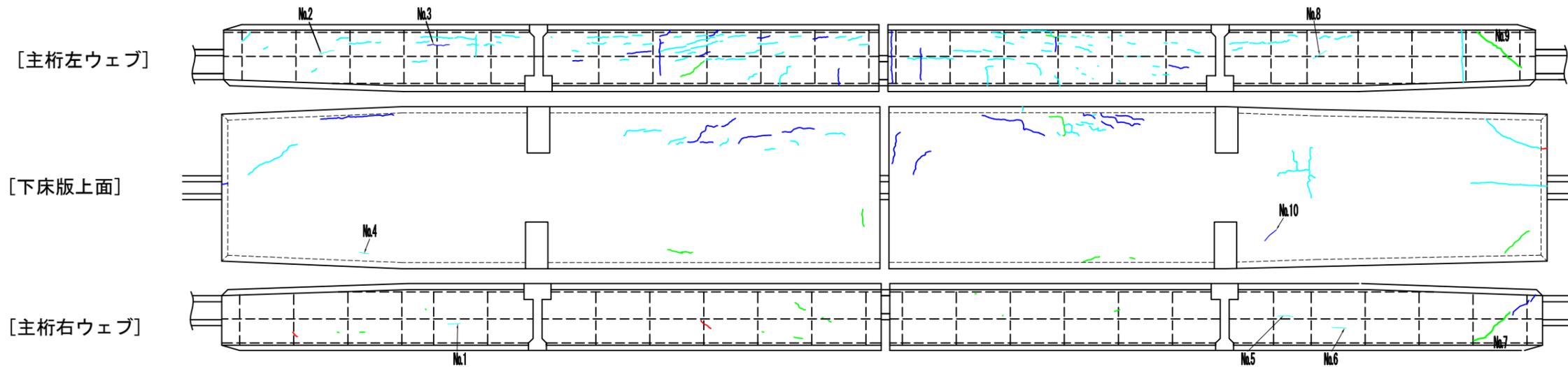
[中間隔壁]

[補強隔壁]起点側

[P6上隔壁]

P5

P6



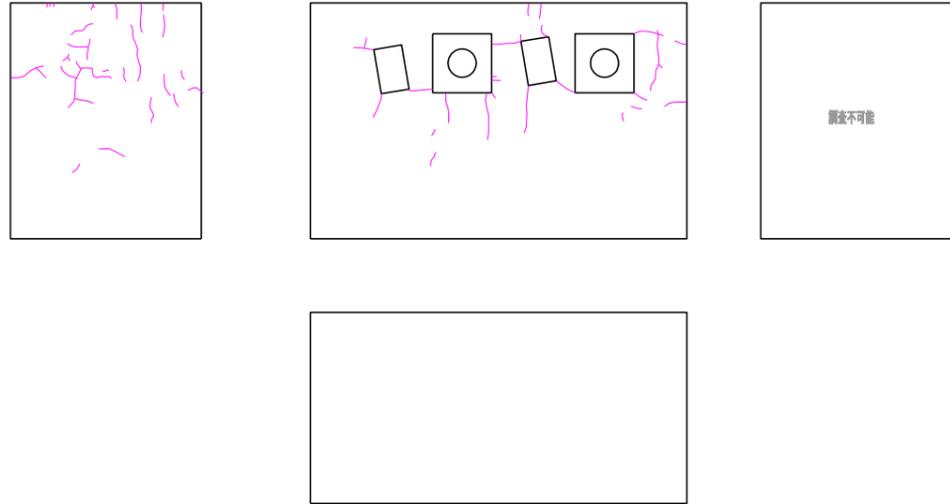
凡例

- ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)
- ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)
- ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)
- ひび割れ (幅0.25mm以上)

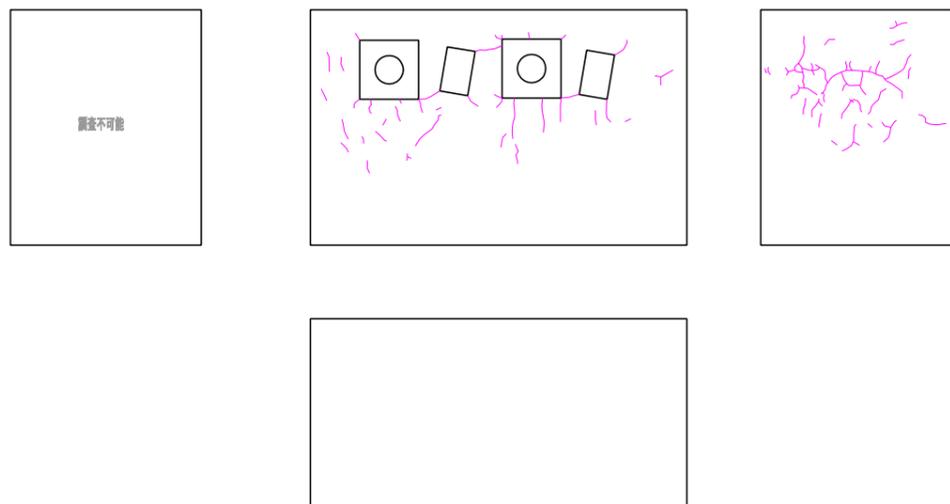
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

P5~P6 (定着部)

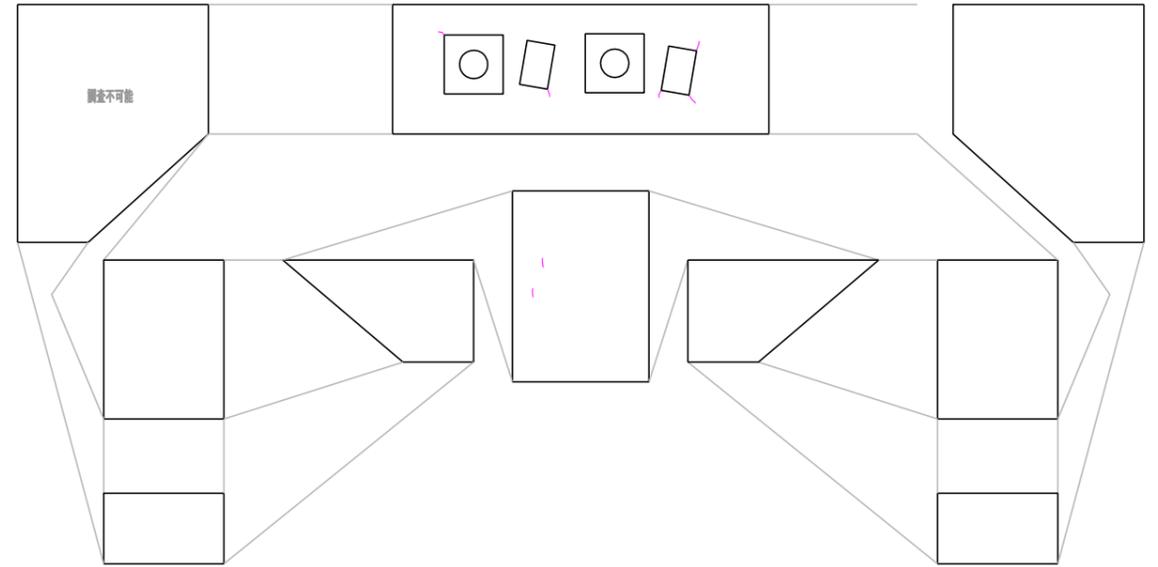
P5終点側L



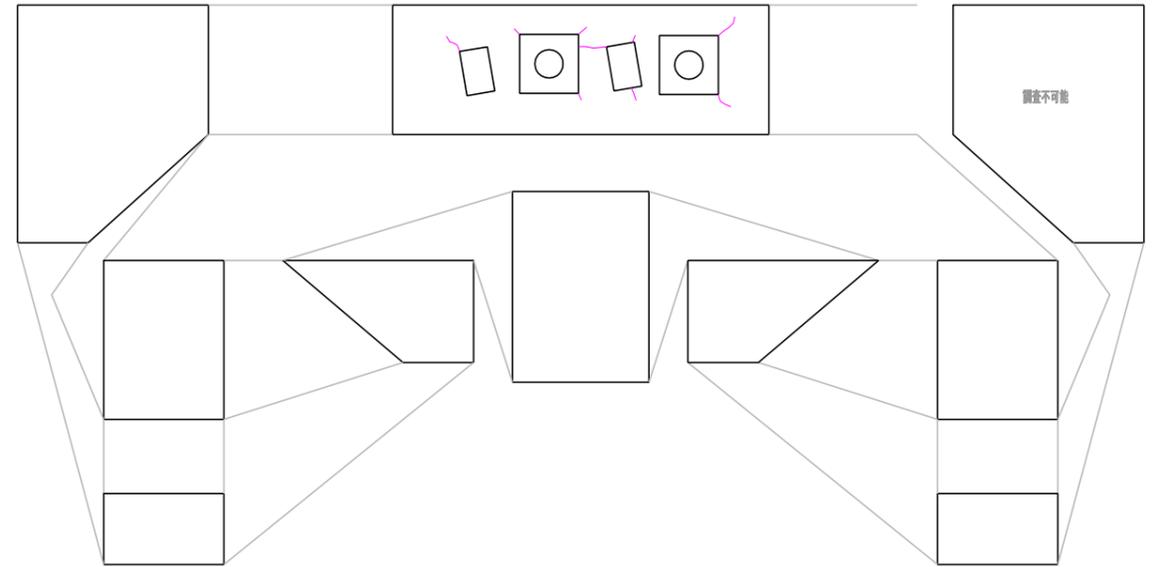
P5終点側R



P6起点側L



P6起点側R



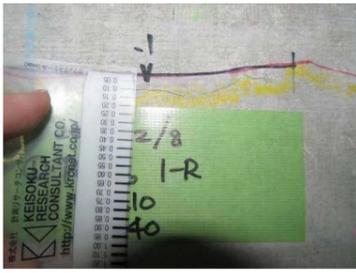
凡例	
ひび割れ (0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05 mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1 mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	440	0.10
H23.2.18	440	0.10
H24.2.8	440	0.10

状況写真



接写

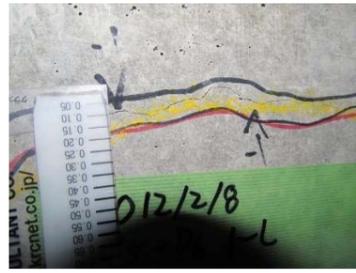


測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	525	0.10
H23.2.18	525	0.10
H24.2.8	525	0.10

状況写真

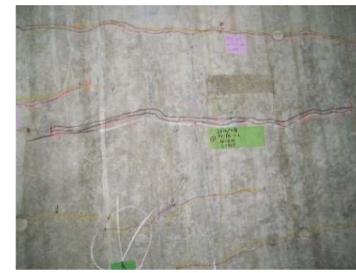


接写



測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	725	0.15
H23.2.18	725	0.15
H24.2.8	725	0.15

状況写真

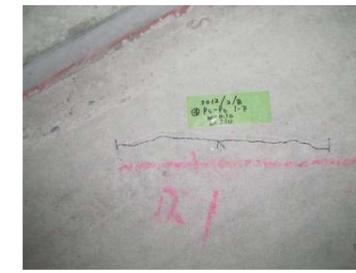


接写

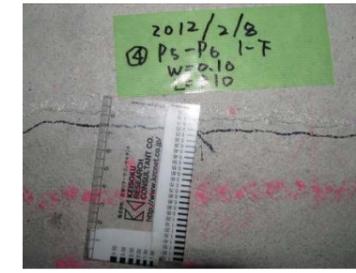


測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	310	0.10
H23.2.18	310	0.10
H24.2.8	310	0.10

状況写真

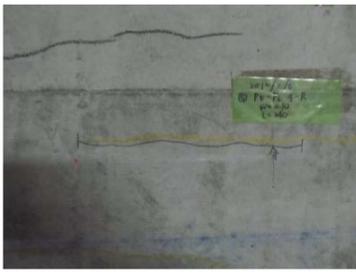


接写

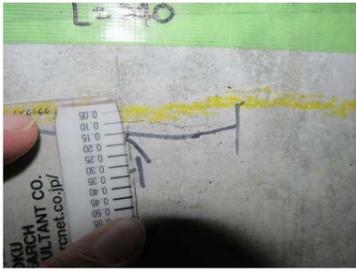


測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	240	0.10
H23.2.18	240	0.10
H24.2.8	240	0.10

状況写真



接写

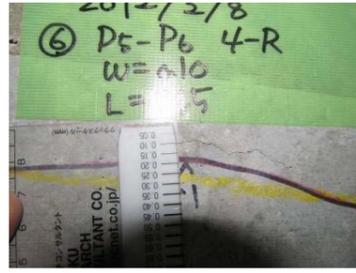


測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	345	0.10
H23.2.18	345	0.10
H24.2.8	345	0.10

状況写真

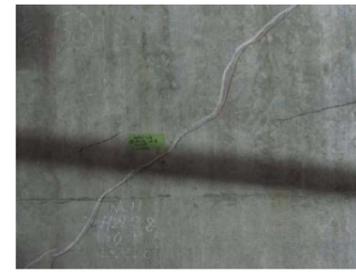


接写

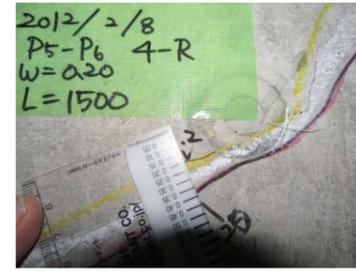


測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1500	0.25
H23.2.18	1500	0.20
H24.2.8	1500	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	405	0.10
H23.2.18	405	0.10
H24.2.8	405	0.10

状況写真



接写



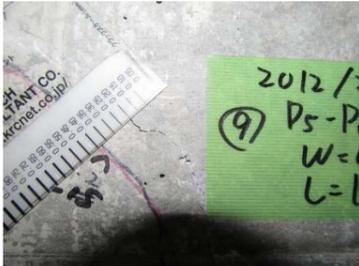
*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1900	0.20
H23.2.18	1900	0.20
H24.2.8	1900	0.20

状況写真



接写

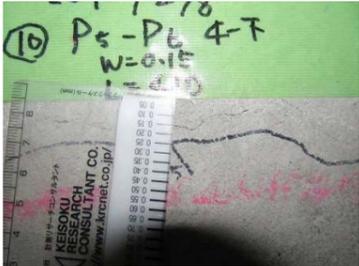


測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	410	0.15
H23.2.18	410	0.15
H24.2.8	410	0.15

状況写真



接写

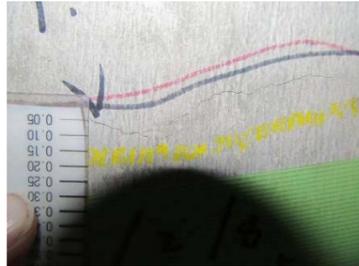


測定箇所No.11	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	330	0.10
H23.2.18	330	0.05
H24.2.8	330	0.05

状況写真



接写

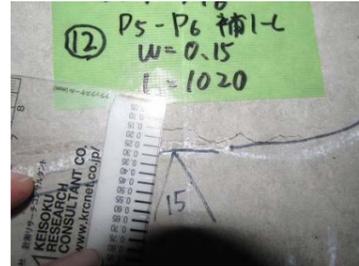


測定箇所No.12	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1020	0.15
H23.2.18	1020	0.15
H24.2.8	1020	0.15

状況写真

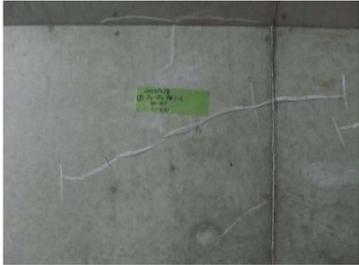


接写



測定箇所No.13	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	450	0.10
H23.2.18	450	0.10
H24.2.8	450	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.14	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	540	0.20
H23.2.18	540	0.15
H24.2.8	540	0.20

状況写真



接写



測定箇所No.15	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	665	0.15
H23.2.18	665	0.15
H24.2.8	665	0.15

状況写真



接写



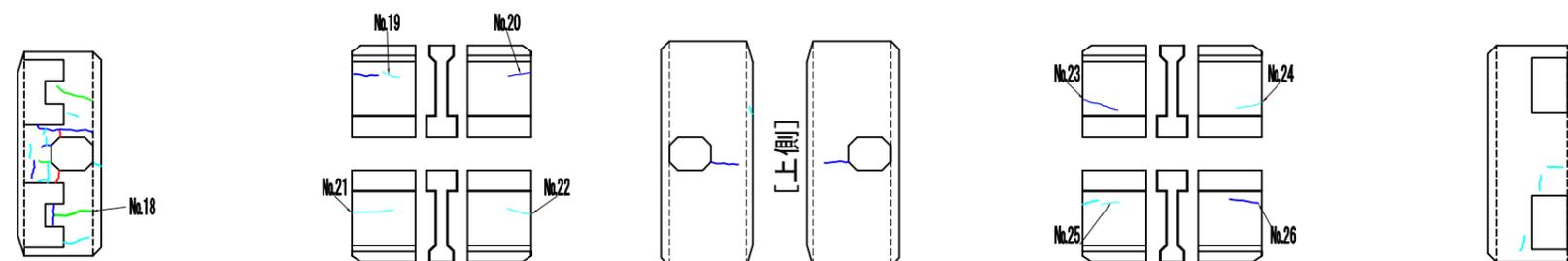
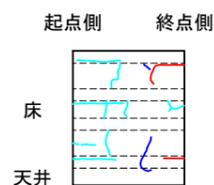
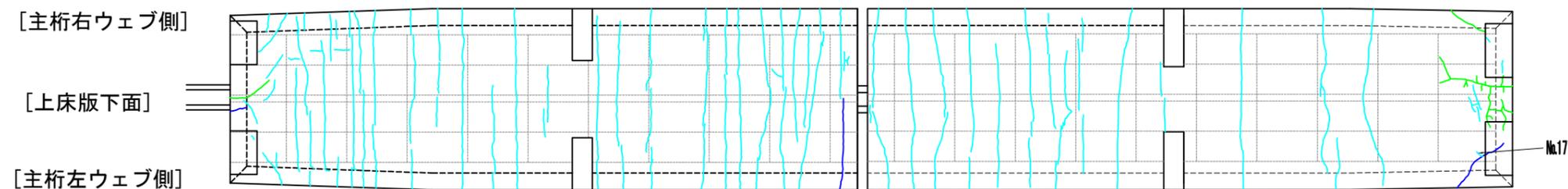
測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)

状況写真

接写

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

⑦P6~A2 平成24年度 ひび割れ点検結果



[P6上隔壁内側展開図]

[P6上隔壁]

[補強隔壁] 起点側

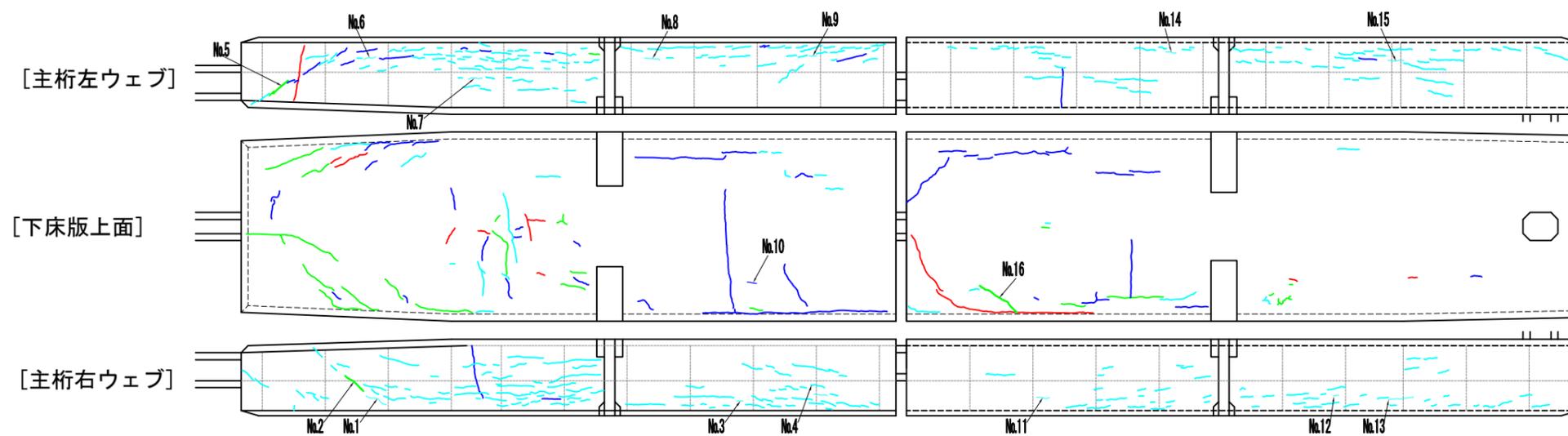
[中間隔壁]

[補強隔壁] 終点側

[A2上端部]

P6

A2

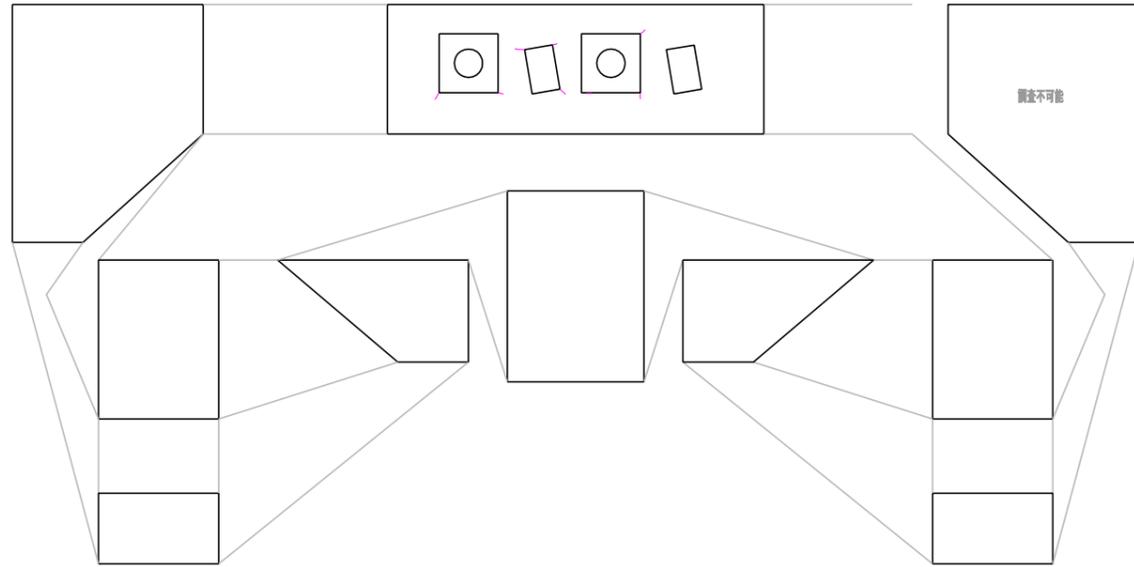


凡例	
ひび割れ (幅0.1mm以上 0.15mm未満)	
ひび割れ (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

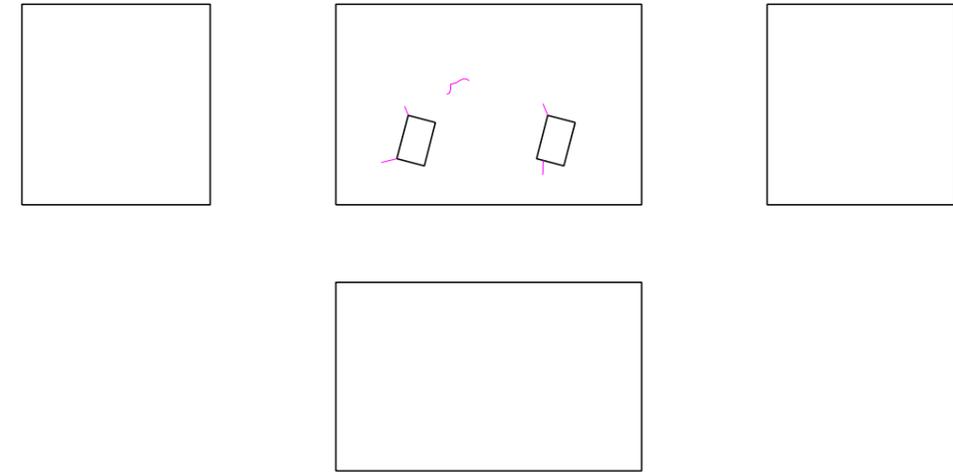
※ 図面上の数字はひび割れ番号を示す。

P6~A2 (定着部)

P6終点側L

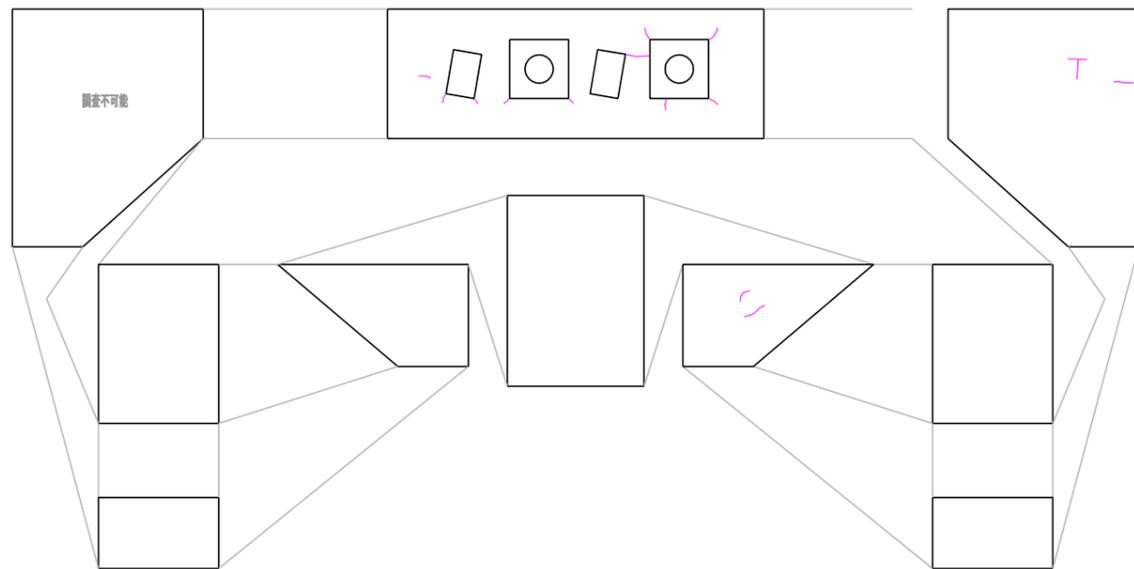


A2 L

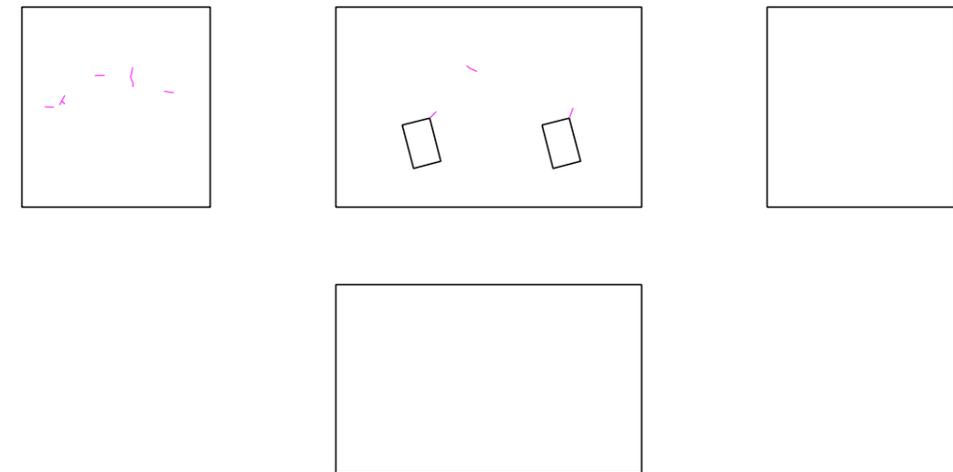


凡例	
ひび割れ (0.05mm未満)	
ひび割れ (幅0.05 mm以上 0.1mm未満)	
ひび割れ (幅0.1 mm以上 0.15mm未満)	
ひび crack (幅0.15mm以上 0.2mm未満)	
ひび割れ (幅0.2mm以上 0.25mm未満)	
ひび割れ (幅0.25mm以上)	

P6終点側R



A2 R

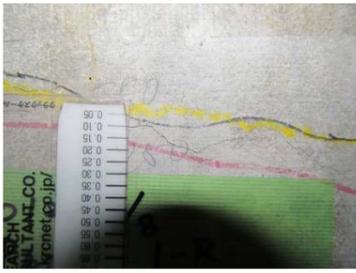


測定箇所No.1	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	750	0.10
H23.2.18	750	0.10
H24.2.8	750	0.10

状況写真

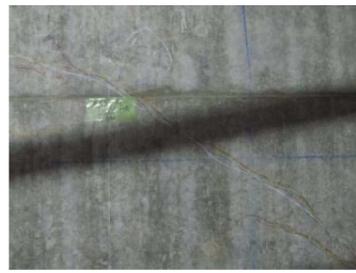


接写

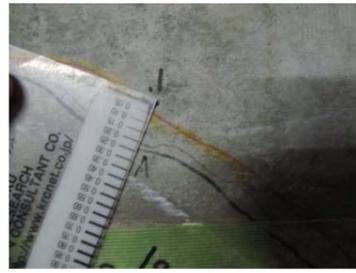


測定箇所No.2	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	840	0.10
H23.2.18	840	0.20
H24.2.8	840	0.20

状況写真



接写

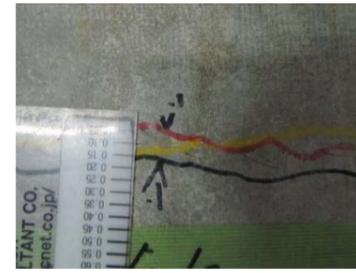


測定箇所No.3	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	180	0.10
H23.2.18	180	0.10
H24.2.8	180	0.10

状況写真



接写

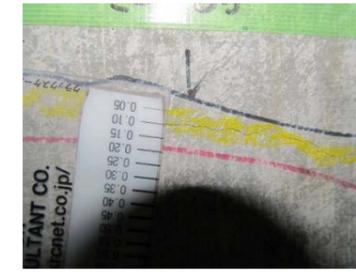


測定箇所No.4	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	285	0.10
H23.2.18	285	0.10
H24.2.8	285	0.10

状況写真

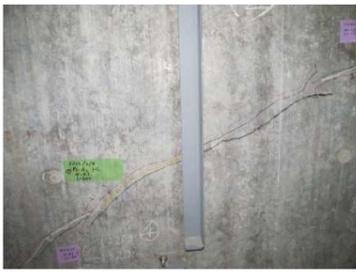


接写



測定箇所No.5	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	600	0.20
H23.2.18	600	0.20
H24.2.8	600	0.20

状況写真

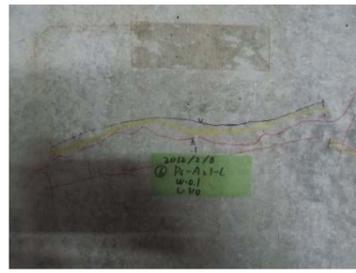


接写

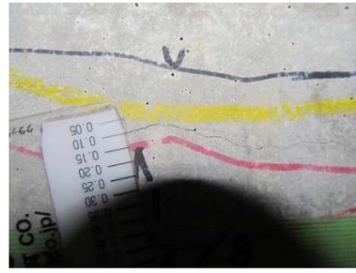


測定箇所No.6	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	310	0.10
H23.2.18	310	0.10
H24.2.8	310	0.10

状況写真

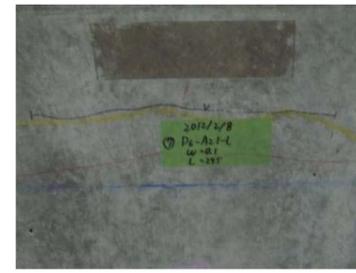


接写

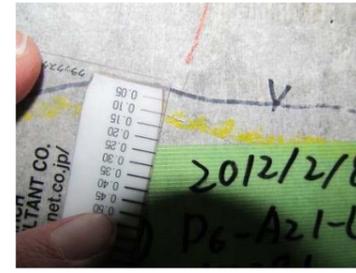


測定箇所No.7	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	295	0.10
H23.2.18	295	0.10
H24.2.8	295	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.8	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	330	0.10
H23.2.18	330	0.10
H24.2.8	330	0.10

状況写真



接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.9	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	185	0.10
H23.2.18	185	0.10
H24.2.8	185	0.10

状況写真

接写

測定箇所No.10	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	145	0.15
H23.2.18	145	0.15
H24.2.8	145	0.15

状況写真

接写

測定箇所No.11	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	325	0.10
H23.2.18	325	0.10
H24.2.8	325	0.10

状況写真

接写

測定箇所No.12	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	170	0.10
H23.2.18	170	0.10
H24.2.8	170	0.10

状況写真

接写

測定箇所No.13	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	595	0.10
H23.2.18	595	0.10
H24.2.8	595	0.10

状況写真

接写

測定箇所No.14	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	330	0.10
H23.2.18	330	0.10
H24.2.8	330	0.10

状況写真

接写

測定箇所No.15	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	340	0.10
H23.2.18	340	0.10
H24.2.8	340	0.10

状況写真

接写

測定箇所No.16	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	1320	0.20
H23.2.18	1320	0.20
H24.2.8	1320	0.20

状況写真

接写

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.17	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	220	0.10
H23.2.18	220	0.10
H24.2.8	220	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.18	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	825	0.20
H23.2.18	825	0.20
H24.2.8	825	0.20

状況写真

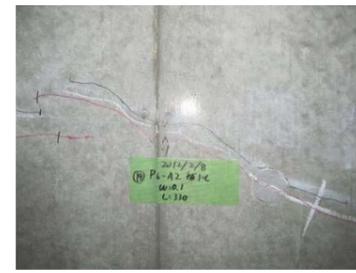


接写

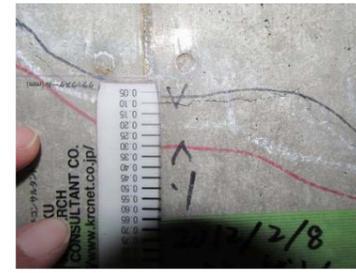


測定箇所No.19	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	330	0.10
H23.2.18	330	0.10
H24.2.8	330	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.20	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	535	0.15
H23.2.18	535	0.15
H24.2.8	535	0.15

状況写真



接写

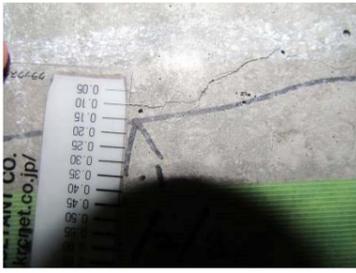


測定箇所No.21	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	770	0.10
H23.2.18	770	0.10
H24.2.8	770	0.10

状況写真



接写

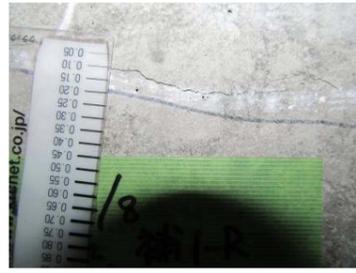


測定箇所No.22	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	590	0.10
H23.2.18	590	0.10
H24.2.8	590	0.10

状況写真



接写



測定箇所No.23	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	745	0.15
H23.2.18	745	0.15
H24.2.8	745	0.15

状況写真



接写



測定箇所No.24	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	590	0.10
H23.2.18	590	0.15
H24.2.8	590	0.15

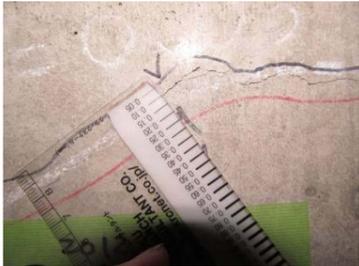
状況写真

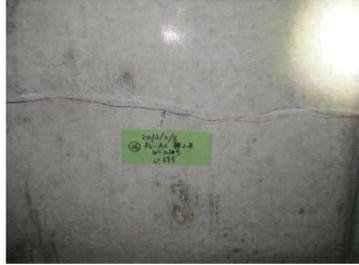
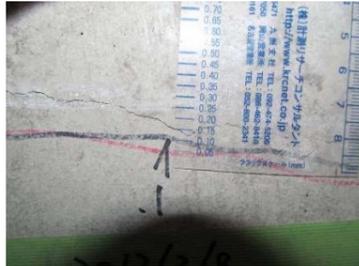


接写



*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

測定箇所No.25	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	345	0.10
H23.2.18	345	0.10
H24.2.8	345	0.10
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.26	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
初期値(H22.4.27)	695	0.10
H23.2.18	695	0.10
H24.2.8	695	0.15
状況写真 		
接写 		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

測定箇所No.	ひび割れ長(mm)	幅(mm)
状況写真		
接写		

*注) 黒字は前回同様、青字は前回より減ったもの、赤字は増えたものを示す。

沓座点検結果（写真）

写真No.	1	沓座	写真No.	2	沓座
		A1 R側			A1 L側



写真No.	3	沓座	写真No.	4	沓座
		P1 R側			P1 L側

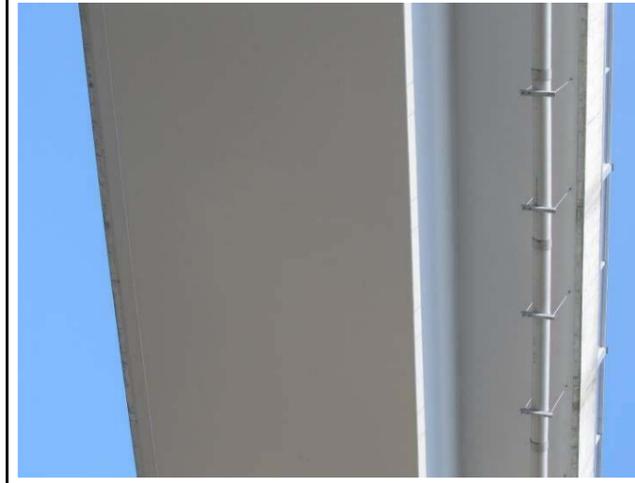


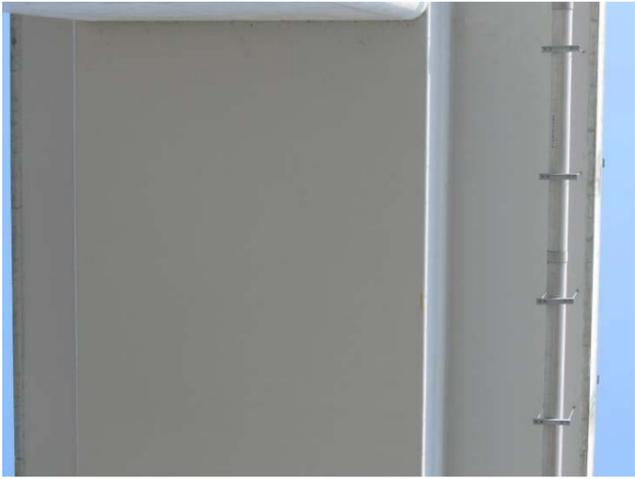
写真No.	5	沓座	写真No.	6	沓座
		A2 R側			A2 L側

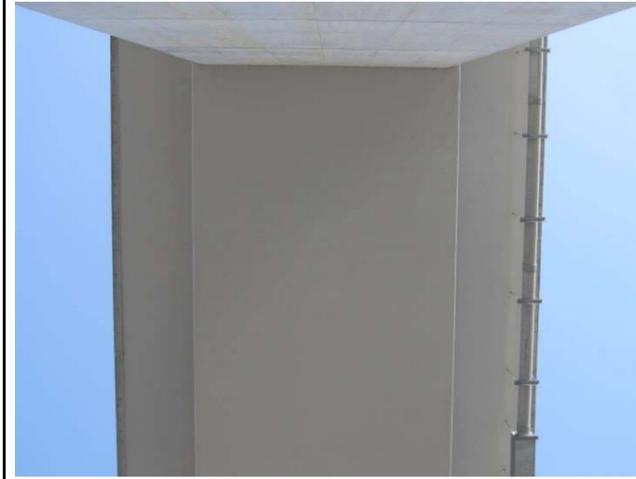


外観点検結果（写真）

写真No.	1	A1~P1 側面R側	写真No.	2	A1~P1 下面
					
写真No.	3	A1~P1 下面	写真No.	4	A1~P1 下面
					
写真No.	5	A1~P1 下面	写真No.	6	A1~P1 側面L側
					

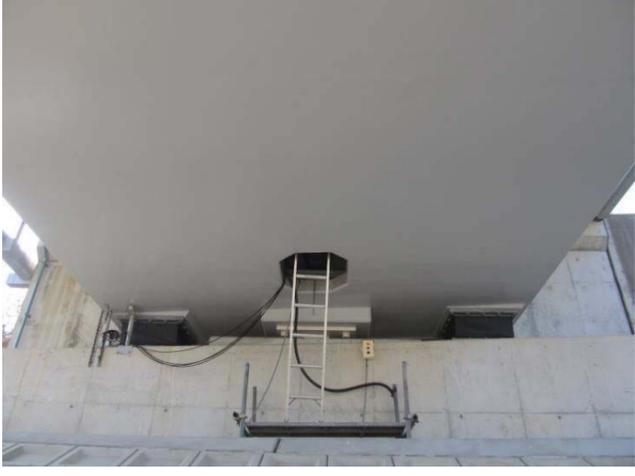
写真No.	1	P1~P2 側面R側	写真No.	2	P1~P2 下面
					
写真No.	3	P1~P2 下面	写真No.	4	P1~P2 下面
					
写真No.	5	P1~P2 下面	写真No.	6	P1~P2 側面L側
					

写真No.	1	P2～P3 側面R側	写真No.	2	P2～P3 下面
					
写真No.	3	P2～P3 下面	写真No.	4	P2～P3 下面
					
写真No.	5	P2～P3 下面	写真No.	6	P2～P3 側面L側
					

写真No.	1	P3～P4 側面R側	写真No.	2	P3～P4 下面
					
写真No.	3	P3～P4 下面	写真No.	4	P3～P4 下面
					
写真No.	5	P3～P4 下面	写真No.	6	P3～P4 側面L側
					

写真No.	1	P4～P5 側面R側	写真No.	2	P4～P5 下面
					
写真No.	3	P4～P5 下面	写真No.	4	P4～P5 下面
					
写真No.	5	P4～P5 下面	写真No.	6	P4～P5 側面L側
					

写真No.	1	P5～P6 側面R側	写真No.	2	P5～P6 下面
					
写真No.	3	P5～P6 下面	写真No.	4	P5～P6 下面
					
写真No.	5	P5～P6 下面	写真No.	6	P5～P6 側面L側
					

写真No.	1	P6～A2 側面R側	写真No.	2	P6～A2 下面
					
写真No.	3	P6～A2 下面	写真No.	4	P6～A2 側面L側
					
写真No.	5		写真No.	6	